

**MAX**

## 取扱説明書

# のし紙ライター

**NW-120**

- ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。
- この取扱説明書と保証書は必ず保管してください。
- この取扱説明書の内容を無断で転載することは禁じられています。
- 本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

## はじめに

この度は、NW-120シリーズを購入いただきまして誠にありがとうございました。  
 本機は、のし紙名入れ作業の省力化と品質向上を目指し開発されたスタンドアロンタイプののし紙名前入力機です。本機は名入れ専用の標準レイアウトを搭載し、どなたにでも最初から簡単なキー操作で品質の高い文字でのし紙がスピーディーに作成できます。  
 のし紙作成作業の効率化を図り、また良きパートナーとして末永くご愛用いただくために、当取扱説明書にしたがってお取り扱いいただきますようお願い申し上げます。

## ご使用上の注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報処理装置です。この装置は、家庭環境で使用する事を目的にしていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に接近して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。  
 取扱説明書に従って正しく取り扱いをして下さい。

### ■表示について

この取扱説明書および製品は、製品を安全に正しくお使いいただくためにいろいろな表示を使用しています。その表示と意味は次のようになっています。



**警告**：取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定され、絶対に行ってはいけない事が書いてあります。



**注意**：取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性が想定され、絶対に行ってはいけないことや、物的損害のみの発生が想定され、絶対に行ってはいけないことが書いてあります。  
 また作成したデータが消失する可能性があり、絶対に行ってはいけないことが書いてあります。



機械が故障し修理が必要になることが想定される操作や、現状復帰するためにリセットなどの操作が必要になるので絶対に行ってはいけないことが書いてあります。



操作上のポイント、および知っていると便利なことが書いてあります。



説明のページが異なる場合に参照するところが書いてあります。

### ■絵表示について



は「気をつけるべきこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は、具体的な注意内容です。






















は「してはいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は、具体的な禁止内容です。



は「しなければいけないこと」を意味しています。この記号の中の表示は、具体的な指示内容です。

## NW-120 ご使用上の注意

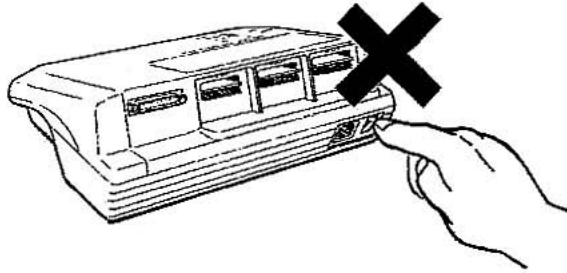
 警 告	
	・本機は絶対に <u>分解または改造しない</u> でください。火災、感電、故障の原因になります。
	・本機の内部に指、ペン、針金、などの異物を <u>差し込まない</u> でください。本機が故障したり、火災、感電の原因になります。
	・電源はAC100V専用コンセントを使用してください。100V以外の電源を使用すると本機が故障したり、火災、感電の原因になります。
	・電源は直接コンセントからとり <u>タコ足配線はしない</u> でください。火災の原因になります。
	・電源コードの上に重いものを絶対に <u>のせない</u> でください。コードに傷が付いて火災や感電の原因になります。
	・濡れた手で電源プラグを <u>抜き差ししない</u> でください。感電の恐れがあります。
	・水、薬品などが機械に <u>かからない</u> ようにしてください。万一内部に水などが入った場合は、電源プラグをコンセントからすぐに抜いて、販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると本機が故障したり、火災、感電の原因になります。
 	・故障のまま機械を <u>使わない</u> でください。煙が出ている、変な音やにおいがするなど、故障状態のまま使用すると火災、感電の原因になります。すぐに電源プラグを <u>コンセントから抜いて</u> 販売店に修理をご依頼ください。
	・リチウム電池（ボタン型電池）は、お子様の手の届かないところに保管してください。本機内部には、リチウム電池が使われています。万一誤ってリチウム電池を飲み込んでしまった時は、すぐに医師の指示を受けてください。

 注 意	
	・大きな容量を必要とする機器（冷暖房機器、冷蔵庫、電子レンジ、OA機器等）と、 <u>コンセントは共用しない</u> でください。電圧が下がり、機械が誤動作する可能性があります。
	・紙や布を、本機の上にかぶせたり置いたり <u>しない</u> でください。火災や故障の原因になります。
	・連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のために必ず電源プラグを <u>コンセントから抜いて</u> ください。
	・コードの接続、書体パックの装着脱は、必ず <u>電源OFFの状態で行ってください</u> 。電源ONのまま接続および装着脱すると、けがや故障の原因となります。
	・電源プラグは定期的に <u>清掃</u> してください。長い間にホコリなどがたまり、火災や故障の原因になります。
	・電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに、必ず <u>電源プラグを持って抜いて</u> ください。コードが破損して火災や感電の原因になります。
	・内部メモリに保存した内容や保存した文章は、 <u>永久的な保存はできません</u> 。電池消耗・故障・修理などに起因するデータ消失による損害、ならびに逸失利益については、責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

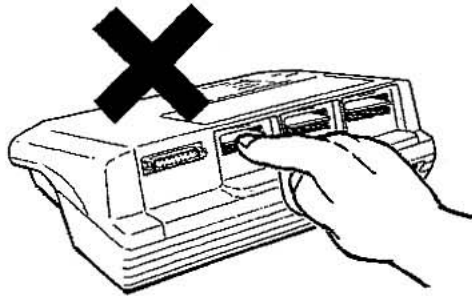
## ■ご使用上のお願い

**お願い** 機械のトラブルを避け本機の故障を未然に防止するために、下記の事項を必ず守ってください。

①印刷中に電源を切らないでください。



②接続コネクタ及び装着端子には手で直接触れないでください。静電気により故障の原因になります。



③ディスプレイ部を強く押さないでください。割れることがあります。

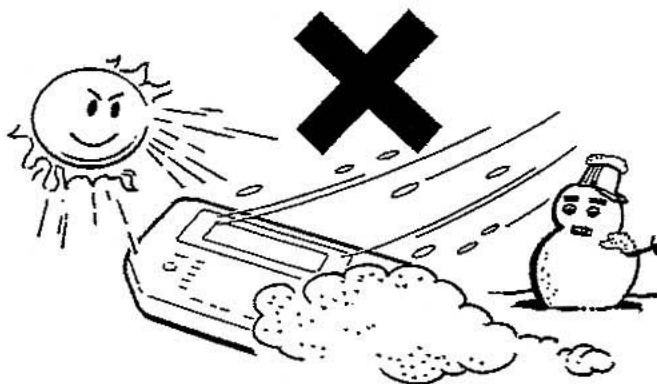


④本機の汚れを落とす際には乾いた柔らかい布でふいてください。  
有機溶媒（アルコール、ベンジン、シンナーなど）や濡れ雑巾などは使用しないでください。  
機械が変形したり、変色することがあります。

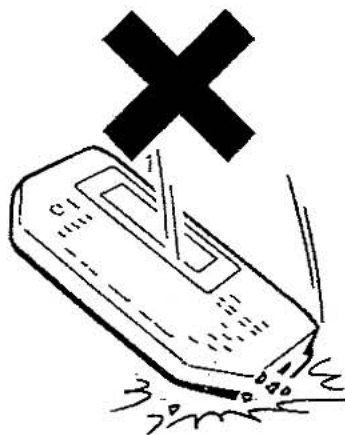



⑤トラブルの原因になりますので、次のような場所では使用及び保管をしないでください。

- a. 直射日光の当たる場所やヒーター等の熱源に近い場所での使用や保管
- b. ほこりや湿度の多い場所での使用や保管
- c. 振動や衝撃の加わる場所での使用や保管
- d. 温度が10℃以下、35℃以上になる場所で使用しないでください。
- e. 温度が0℃以下、40℃以上になる場所で保管しないでください。



⑥落としたり、ぶつけたりして、強いショックを与えないでください。



 オプション品については、第I章を参照ください。

⑦出力機として使用できるインクジェットプリンタについては、販売店お問い合わせください。

また、取り扱いにつきましてはそれぞれの機器に付属の取り扱い説明書をご覧ください。

# 目 次

## 第Ⅰ章 お使いになる前の準備

■目次	I-1頁
■同梱内容の確認	I-2頁
■消耗品／オプションの紹介	I-3頁
■お使いになる前に	I-4頁
■出力機の種類	I-6頁

## 第Ⅱ章 基本操作

■目次	II-1頁
■主なキーの役割とディスプレイの見かた	II-2頁
■用紙の登録と選択	II-7頁
■レイアウトの選択	II-10頁
■文字入力	II-12頁
■印刷処理	II-26頁

## 第Ⅲ章 パラメータの設定

■目次	III-1頁
■パラメータの設定	III-2頁
■諸設定	III-8頁

## 第Ⅳ章 レイアウト修正

■目次	IV-1頁
■レイアウトの修正	IV-2頁
■レイアウトの削除	IV-4頁
■レイアウトの登録	IV-6頁

## 第Ⅴ章 付録

■目次	V-1頁
■異常時の診断	V-2頁
■エラー表示	V-2頁
■JISコード表の見方	V-4頁
■製品仕様	V-4頁
■ローマ字入力規則表	V-5頁
■文字一覧	V-6頁
■短冊ガイド取扱説明	V-49頁

「はじめに」

第 I 章	お使いになる前の準備
-------	------------

この章では、「のし紙ライタ」NW-120を、ご使用になる前の準備について説明してあります。

基本となるところですので良く読んでからご使用ください。

また、出力機（インクジェットプリンタ）についてはそれぞれの出力機に付属している取扱説明書をご覧ください。

■同梱品の確認	2頁
■消耗品／オプションの紹介	3頁
■お使いになる前に	
・本体各部の名前とはたらき	4頁
・機器の接続と起動	5頁
■出力機を選択	
・出力機を選択	6頁

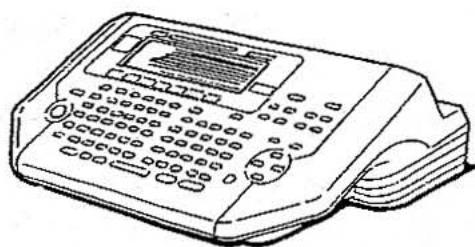


## ■ 同梱品の確認

各機種種の梱包を解いて、次のものが揃っていることを確認してください。

NW-120

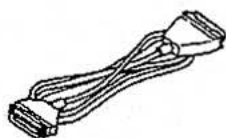
① 本体



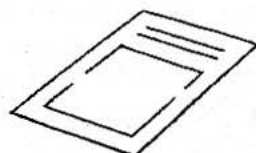
② 電源コード



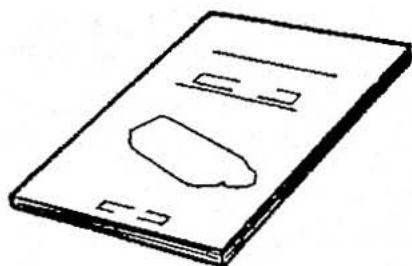
③ プリンタケーブル



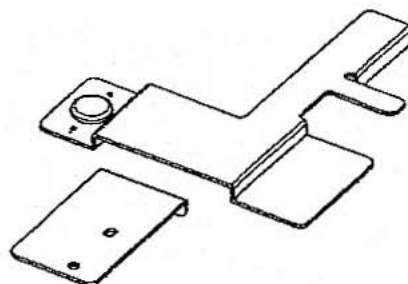
④ お客様登録カード



⑤ 取扱説明書（本書）



⑥ 短冊用アダプタ



出力機については、それぞれの機器の取扱説明書をご覧の上ご確認ください。

## ■ 消耗品・オプションの紹介

NW-120ではお客様の用途に合わせて、オプションとして専用紙と書体パックを取り揃えています。

### (1) 消耗品

プリンタ印刷に適した厚手の専用のし紙です。詳しくは販売店にてご確認ください。

	反物判	みの判	半紙判	切手判	短冊
サイズ	318×444	270×391	226×300	196×270	55×270
花結び	NW-N114	NW-N113	NW-N112	NW-N111	—
10本結び切り	NW-N314	NW-N313	NW-N312	NW-N311	—
5本結び切り	NW-N214	NW-N213	NW-N212	NW-N211	—
仏事用	NW-N414	NW-N413	NW-N412	NW-N411	—
短冊(熨し付き)	—	—	—	—	NW-T511

### (2) 書体

#### ①標準書体

それぞれ書体により入っている文字数がちがいます。詳しくは販売店にてご確認ください。

書体名	商品名	JIS第一	JIS第二	厳選漢字	変体かな
のし紙楷書体	—	○	○	○	○

#### ②オプション書体パック

書体名	商品名	JIS第一	JIS第二	厳選漢字	変体かな
のし紙行書体	NW-LF202	○	○	○	×
太明朝体	LF-415	○	○	×	×
細角ゴシック体	LF-421	○	○	×	×
太角ゴシック体	LF-425	○	○	×	×
細丸ゴシック体	LF-431	○	○	×	×
ポップ書体	LF-460	○	×	×	×

#### ③オプションblankカセット

書体名	商品名	JIS第一	JIS第二	厳選漢字	変体かな
blankカセット	LF-BRP1	—	—	—	—

※書体は、それぞれ搭載されている文字種と文字数が違いますのでご注意ください。

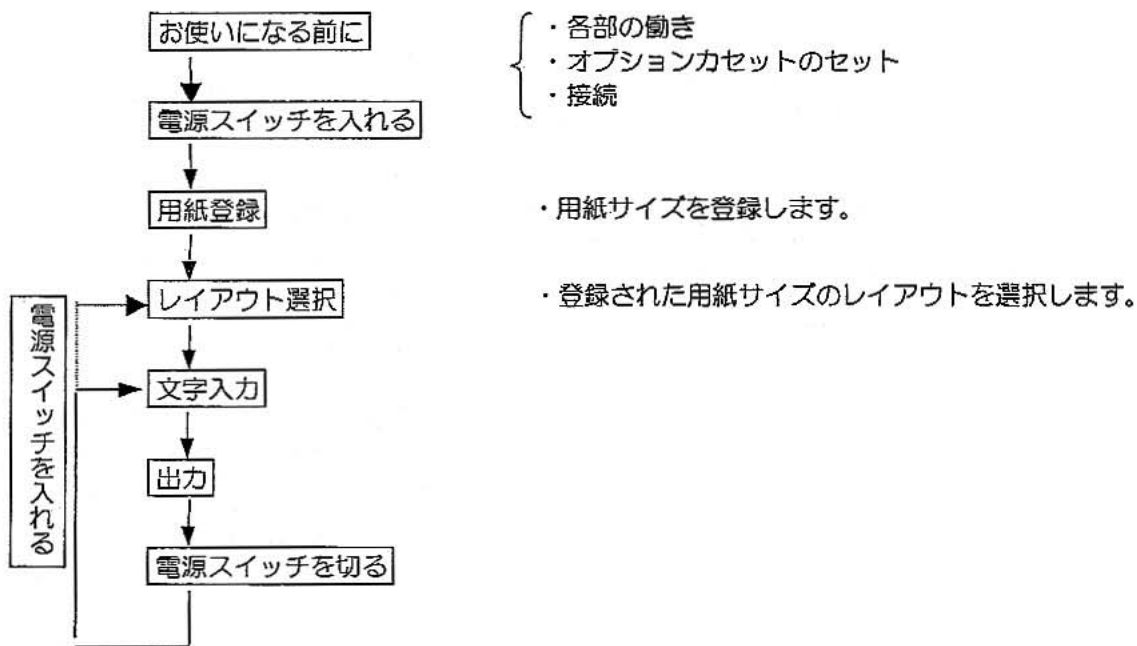
※用紙や書体パック等消耗品やオプション品は、お客様のご要望により追加されたり、

また販売中止になることがありますので、ご注文の際にはご確認ください。

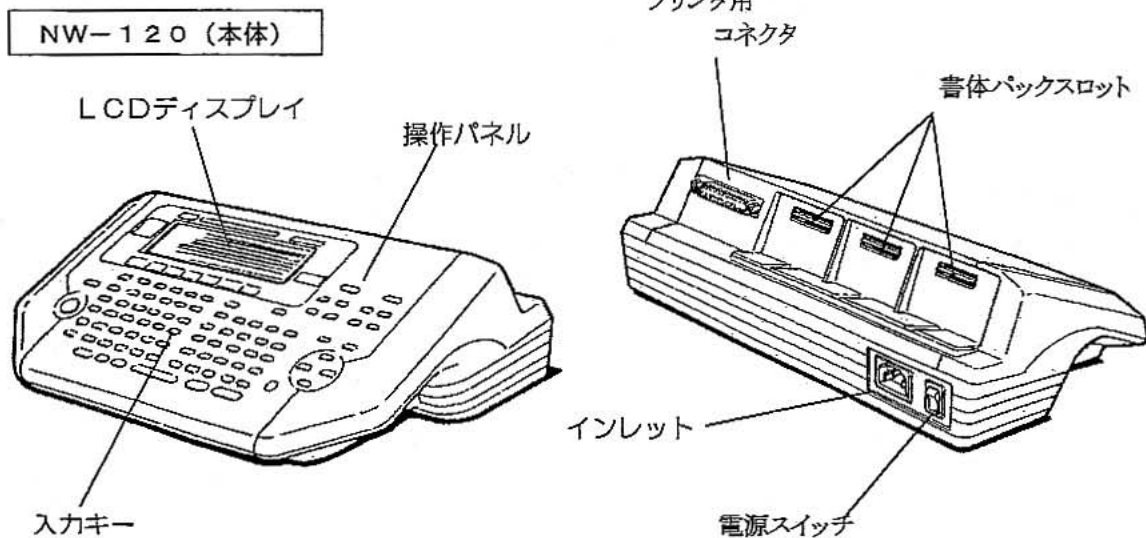
なおトラブルを防ぐため、ご注文は商品名にてお願いいたします。


## ■ お使いになる前に

機械をお使いになる前に、機器の接続から文字の入力そして出力までの全体の流れを説明してから本体各部の名前とはたらき、オプションカセットのセットの仕方と、出力機との接続方法などについて、ご説明します。



### (1) 本体各部の名前とはたらき

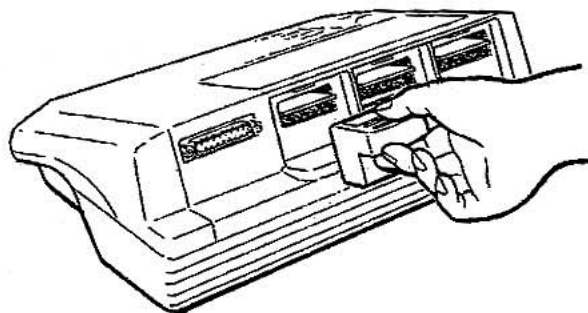


 主なキーの役割については、第二章をご参照ください。

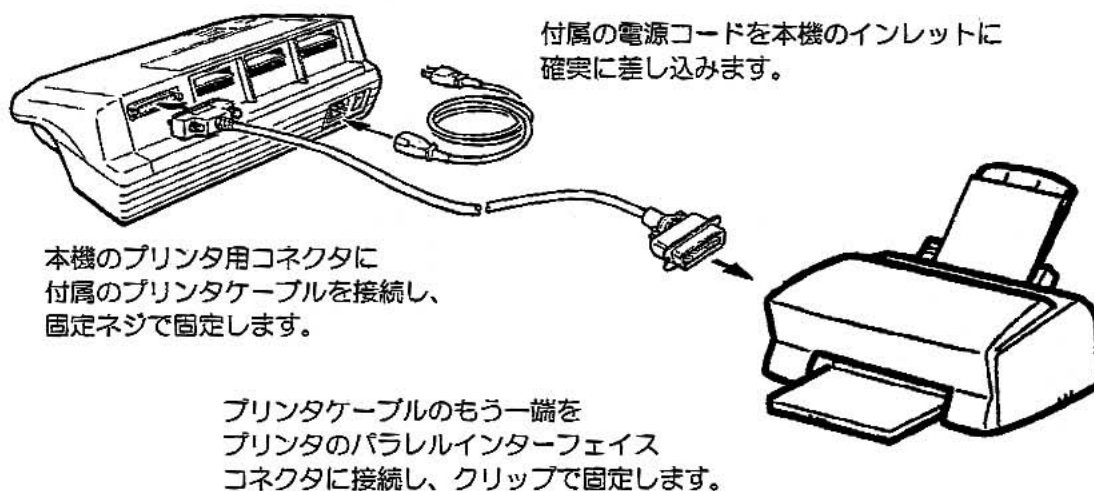
## (2) 機器の接続と起動

機器の接続と起動を行います。次の手順により接続を行ってから起動してください。

- ①電源スイッチが入っていないことを確認して、キャップを外しオプション書体カセットを空きスロットに、挿入してください。



- ②本体と出力機を、図のように接続してください。



### お願い

- i. コードの接続や書体カセットの抜き差しは、必ず電源スイッチがOFFの状態であることを確認してから、作業を行ってください。
- ii. 電源ONのままコードを接続したり抜いたりすると、故障の原因になります。
- iii. 接続端子及び装着端子には手で直接触れないでください。静電気により故障の原因になります。

## ■出力機の選択

本機で使用できるプリンタは、出荷時状態ではセイコーエプソン㈱製のインクジェットプリンタに出力できるように設定されています。

他の種類のプリンタをご使用の場合のみ以下の設定を行ない、設定を変更してください。

### (1) 出力機を選択

ご使用になるプリンタの機種を設定します。本機の出荷時状態はセイコーエプソン㈱製インクジェットプリンタPM-3000Cに出力できるように設定されています。それ以外のプリンタでご使用になる場合には、色の濃度設定を適正値に合わせる為に機種の設定変更が必要です。

①機器の接続を前項の手順で行います。

②電源コードのプラグを100V（家庭用）電源のコンセントに差します。

③キーボードの「シフト」キーと「も P」キーの両方を押しながら、本機の電源スイッチを入れます。


④次のような表示が出ますので、機種を選択します。

▲ ▼ 実行

出力機を変更します  
PM-3000C  
PM-2000C  
MJ-6000C

◎このページにプリンタがないときには、画面下で▼キーを選択する事で次のページを表示します。

出力機を変更します  
エプソンレーザー


 **メモ** この画面の状態で取消キーを押すと、PM-3000Cを選択したものと判断します。

⑤確認画面が出ます。

実行

××××××××を  
出力機として登録します。

※××××××××には、④番で選択した出力機の名前が入ります。

 **メモ** 接続できるプリンタの機種については、お問い合わせください。  
メーカーが同一であっても、きれいに印字できない場合や、不具合が出る場合もございます。

## 第Ⅱ章

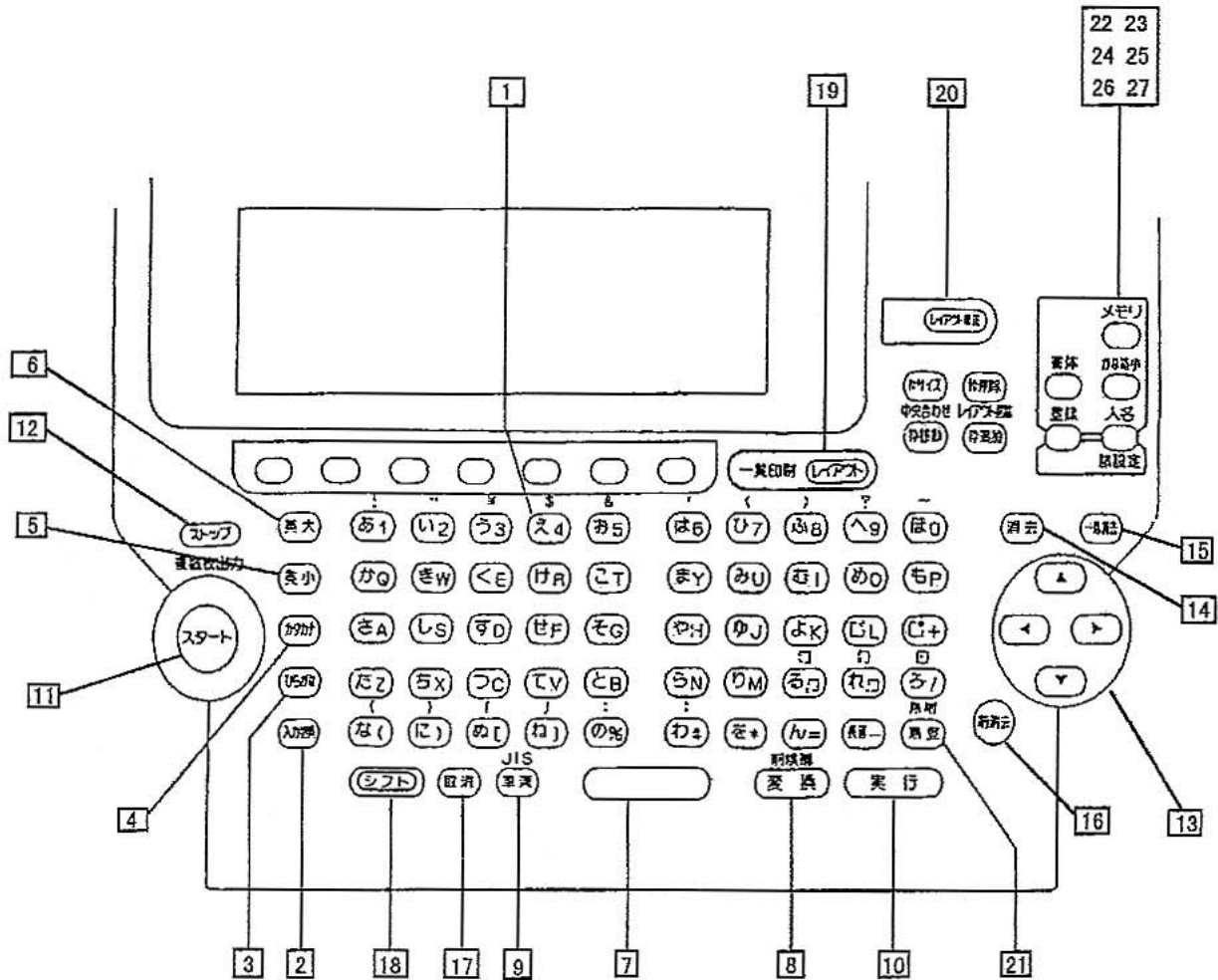
## 基本操作——文章を入力して

この章では、文章入力から印刷およびカット、そして貼り付けまでの基本的な操作、および作業方法について説明してあります。基礎的なところですので、しっかり身につけてください。

■主なキーの役割とディスプレイの見かた		
1. キーの配列	_____	2頁
2. 主なキーの役割	_____	2頁
3. ディスプレイの見かた	_____	5頁
4. 数値入力について	_____	6頁
■用紙の登録と選択		
1. 用紙の登録	_____	7頁
2. 用紙の選択	_____	9頁
■レイアウトの選択		
1. レイアウト属性	_____	10頁
2. レイアウト選択	_____	10頁
3. 一覧印刷	_____	10頁
4. ポップレイアウト選択	_____	11頁
■文字入力		
1. 文字入力方法の選択	_____	12頁
2. かな入力	_____	13頁
3. ローマ字入力	_____	14頁
4. 英数字入力	_____	15頁
5. 漢字変換	_____	16頁
6. カタカナ変換	_____	18頁
7. 記号と特殊文字の入力	_____	19頁
8. 文字列のコピー	_____	20頁
9. JISコード入力	_____	21頁
10. 熟語登録と削除	_____	21頁
11. 文章の編集（入力文字の訂正と削除）	_____	24頁
12. カーソルの移動と画面スクロール	_____	25頁
■印刷処理		
1. 印刷の方法1	_____	26頁
2. 印刷の方法2	_____	26頁

## ■主なキーの役割とディスプレイの見かた

### (1) キーの配列



### (2) 主なキーの役割

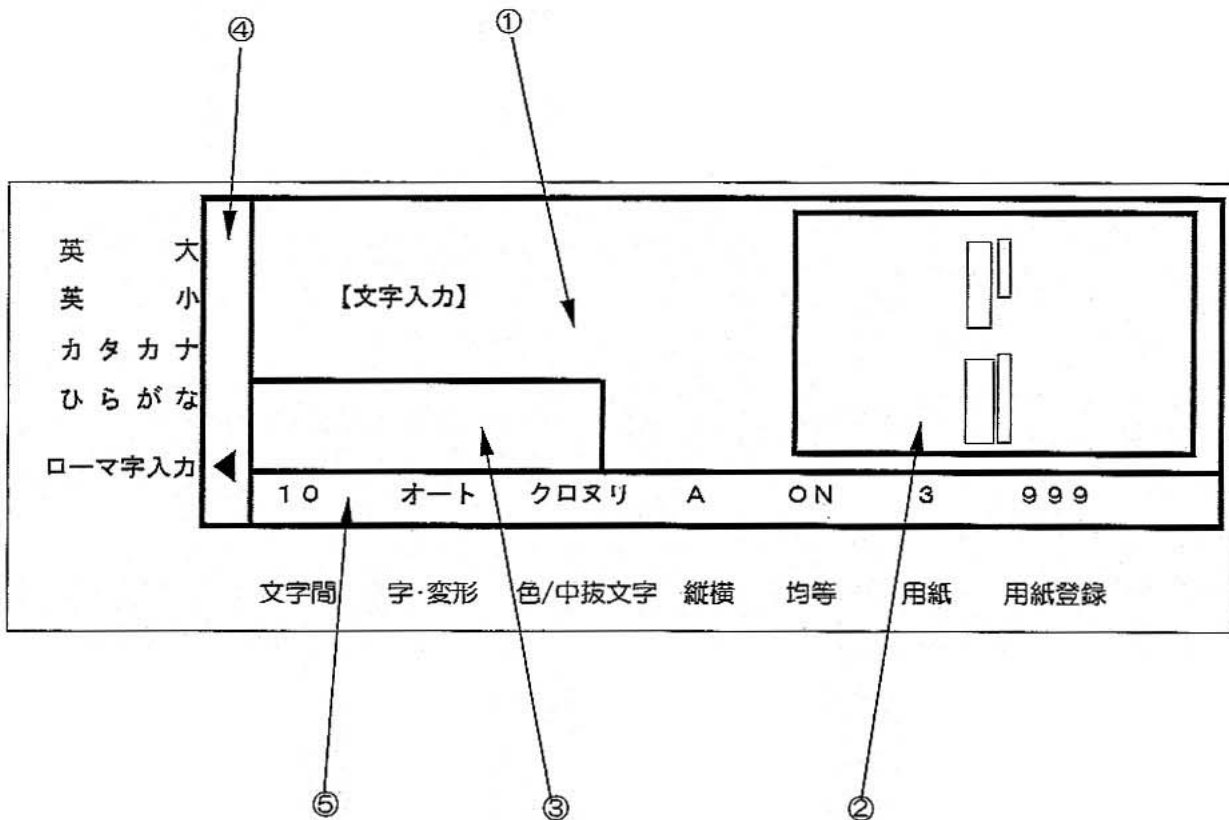
キー	役割
1 う 3	文字を入力するためのキーで、キャラクターキーといいます。
2 入力切換	かな入力とローマ字入力を切り替える時に使います。
3 ひらがな	入力する文字のモードをひらがなにする。 通常の漢字変換を行うときに使用する。
4 カタカナ	入力する文字のモードをカタカナにする。 ローマ字入力時の変換前にキーを押すとカタカナに変換します。

	キー	役割
5	英小	アルファベットを小文字で入力する。
6	英大	アルファベットを大文字で入力する。
7	スペース	文字間隔の調整や空白の入力に使用します。 一回押すと文字幅の1/4のスペースが入ります。 シフトを押しながら押すと1文字分のスペースが入ります。
8	変換 シフト + 前候補 変換	「読み」を漢字に変換するときに使用します。 このキーを押すと漢字候補を表示します。 変換キーで変換した候補の1つ前の候補を表示する。
9	単漢 シフト + JIS 単漢	読みに対して漢字1文字で表現できる漢字を検索し、変換する。 読みの判らない漢字や変換できない漢字のJISコードを調べ、 コード番号により漢字を指定します。
10	実行	色々な機能を使うときに、操作の区切りとして使うキーです。 操作上では大変重要なキーです。
11	スタート シフト + 複数枚出力 スタート	このキーで、出力機へ印字データを送出します。 同一のデータを指定枚数連続して出力します。
12	ストップ	出力機に印字データを送出準備中に、このキーを押すと出力動作を 中止します。出力機が印字動作中に、このキーを押しても出力はとまり ません。
13	▲ ◀ ▶ ▼	4つまとめてカーソルキーといえます。 画面上のカーソル移動に使用します。 数値入力時の数値スクロールにも使用します。
14	消去	入力した内容を1つ1つ削除するときに使用します。 カーソルのある場所が消去されます。
15	一括消去	入力した内容（確定文字列や変換前文字列）の一括消去を行います。
16	前消去	カーソルの左側の文字を1文字ずつ消去します。



	キー	役 割
17	取消	途中まで進めた作業を取り消すときに使います。
18	シフト	文字入力の際に、キャラクタキーと一緒に使います。 また、かな入力モードで小文字(促音)を入力するときに使います。 このキーと各キーを同時に押すことにより、キーの上側に緑色で書かれた機能が働きます。
19	レイアウト シフト + 一覧印刷 レイアウト	あらかじめ準備されたレイアウトや、作成したレイアウトを選択します。 登録されているレイアウトの一覧を、出力機で印字します。
20	レイアウト修正	レイアウト修正モードになります。 レイアウト修正モード時に以下の機能が使用できます。  ① 枠サイズ ② 枠削除 ③ 枠移動 ④ 中央合わせ(シフト+枠移動) ⑤ 枠追加 ⑥ レイアウト削除(シフト+枠追加) ⑦ 登録
21	熟登 シフト + 熟削 熟登	熟語の登録に使用します。  登録した熟語を削除します。
22	メモリ	直前に使用したレイアウトで入力された文字を現在使用しているレイアウトに入力します。(同一属性レイアウトの時のみ有効)
23	書体 シフト + 書体	文字枠毎に書体の変更が出来ます。 ※オプションの書体が必要です。  英数字書体の切り替え(内臓ゴシック/フォントカード)
24	登録	レイアウト修正で修正したレイアウトを登録します。また、文字入力したレイアウトを文字データとあわせて登録します。
25	かな縮小 シフト + 登録	ひらがな・カタカナを漢字より小さく印字します。
26	人名	名前入力時に名字と名前の区分として使用します。
27	諸設定 シフト + 人名	ディスプレイの明るさ調整や初期値の設定を行います。

## (3) ディスプレイの見かた



## ①「確定」入力表示画面

「読み」として入力した内容を「確定」すると、この画面に表示し確定した内容が作画されます。「確定」入力表示画面は、1段7文字分の表示がいっぱいになると、8文字目からは左にスクロールします。スクロールで見えなくなった内容を見たいときは、**◀ ▶ ▲ ▼**のカーソルキー操作で表示をスクロールします。

## ②レイアウト表示画面

選択されているレイアウトを表示します。

また表示されているレイアウトの中で、文字入力出来る枠が点滅します。その時既に文字が入力されているとその内容を、確定入力画面に表示します。

## ③「読み」入力表示画面

「読み」として入力した内容をここに表示します。「読み」は、適切な漢字やかなに変換してから「確定」します。「確定」されると上の画面に移動します。「読み」入力表示画面は、13文字まで入力できます。なお14文字目を入力すると、警告音が鳴り入力を無視します。

④入力モード表示

- i. [英大] . . . . . 英数入力のアルファベット大文字入力状態になっているとき、「英大」に◀カーソルが表示されます。英数入力専用となりますので、かな・ローマ字入力はできません。
- ii. [英小] . . . . . 英数入力のアルファベット小文字入力状態になっているとき、「英小」に◀カーソルが表示されます。英数入力専用となりますので、かな・ローマ字入力はできません。
- iii. [カタカナ] . . . . . カタカナ入力モードの表示です。カタカナ入力状態のときに◀カーソルが表示されます。
- iv. [ひらがな] . . . . . ひらがな入力モードの表示です。ひらがな入力状態のときに◀カーソルが表示されます。
- v. [ローマ字入力] . . . . . ローマ字入力モードの表示です。ローマ字入力状態のときに◀カーソルが表示されます。◀カーソル消灯時は、かな入力となります。

⑤基本パラメータ表示

基本パラメータグループの設定内容が表示されます。したがって、レイアウトの文字枠毎に基本パラメータの確認ができます。

 基本パラメータについては第3章「基本パラメータの設定」をご参照ください。

(4) 数値入力について

パラメータ設定など数値入力が必要な場面では次のような規則があります。

①キーボード上段にある数字キーで直接数値を入力できます。

②カーソルキー (▲ ▼ ◀ ▶) を使っても入力できます。


▲ ▼ で1つつ増減できます。

◀ ▶ で5つつ増減できます。

## ■用紙の登録と選択

ここでは、ご使用になる用紙サイズの登録方法とその選択方法についてご説明します。

ここで用紙を登録すると用紙サイズに合わせて、自動にお客様専用のレイアウトを作成します。

 **メモ** 用紙の登録が一枚もなされていないと、電源投入時に用紙登録画面が立ち上がります。

### (1) 用紙の登録

①お使いになる用紙を登録いたします。

**用紙登録** を押します。

【用紙登録—種類選択】		
<b>のし紙</b>	短冊	多当

②用紙の種類を◀ ▶キーで選択し**実行**を押します。

③用紙の種類を選択すると次のように表示します。

●のし紙を選択した場合、次のような画面を表示します。

【のし紙】	
<b>大反物判</b>	反物判
みの判	半紙判
切手判	▼

●短冊を選択した場合は、次のような画面を表示します。

【短冊】	
<b>短冊 1</b>	その他

●多当を選択した場合は、次のような画面を表示します。

【多当】	
<b>多当 1</b>	その他

④これから先は、のし紙を選択したものとして操作を説明します。

のし紙の名前（サイズ）を選択します。

◀ ▶ ▲ ▼ **実行**

【のし紙】	
<b>大反物判</b>	反物判
みの判	半紙判
切手判	▼

◎このページ内に目的のサイズがないときは、画面下で▼キーを選択する事で次ページを表示します。

【のし紙】	
<b>A 3判</b>	▲
B 4判	A 4判
B 5判	その他

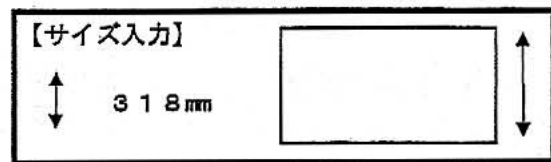
- メモ** ◇本機では、予め良く使われる用紙名とサイズが登録されています。それ以外の用紙名で登録する場合や、特別なサイズを登録する場合には、その他を選択します。  
 ◇標準で入っている用紙名とサイズは、お客様でご使用のサイズに変更する事も出来ます。  
 ◇標準で登録されている用紙名とサイズ

	名前	横幅	縦幅		名前	横幅	縦幅
1	大反物判	530	392	7	B4判	364	257
2	反物判	444	318	8	A4判	297	210
3	みの判	391	270	9	B5判	257	182
4	半紙判	300	226	10	短冊1	55	270
5	切手判	270	196	11	多当1	260	263
6	A3判	420	297	12	その他	-	-

- ⑥選択された用紙名のサイズを確定します。(画面表示は反物判の場合)  
 まず、縦幅方向のサイズを確定します。▲ ▼ ◀ ▶ の矢印キーで表示されている数値を変更します。  
 数値が決まったら **実行** キーを押します。



**実行**

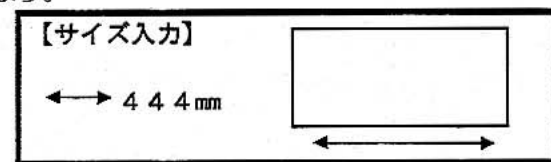


- メモ** 上下キー ▲ ▼ で一つずつ変わります。  
 左右キー ◀ ▶ で五つずつ変わります。

- ⑥続いて横幅の入力を縦幅と同様の操作で行ないます。



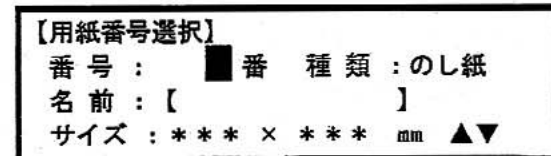
**実行**



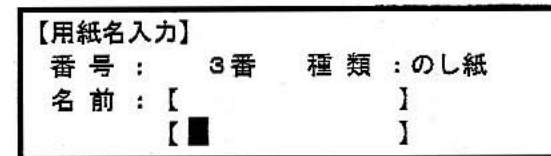
- ⑦用紙の番号をを入力します。  
 自動的に、空いている一番若い番号が表示されます。



**実行**



- ⑧用紙名を入力します。



- メモ**
- 用紙名に使用できる文字数は7文字までです。
  - 重複した名前での登録は出来ません。
  - 既に登録してある用紙を選択した場合は、その名前を表示します。
  - 変更する場合は **前消去** キー又は **一括消去** キーを押して、入力をやり直してください。

- ⑨用紙登録が終了すると、自動的にレイアウトを展開し、今まで使用していたレイアウトと同じ属性のレイアウトを表示し、文字入力画面になります。同じ属性のレイアウトが無かった場合は、1番のレイアウトを表示します。



用紙名前に その他 を選択した場合は次のようになります。

- i. 用紙名入力後に次の表示を行ないレイアウトデータを展開する元となるデータを選択する事ができます。

◀ ▶

【レイアウト展開】

◇自動展開：内部プログラムに組み込まれた、レイアウトデータを元に用紙サイズに合わせてレイアウトを展開します。

◇用紙指定：お客様がレイアウトを修正した、別の用紙を元にレイアウト展開します。

- ii. 自動展開の場合は、レイアウトを展開しレイアウトを表示し文字入力画面になります。
- iii. 用紙指定を選択した場合は、レイアウト展開の元となる用紙を指定します。

▲ ▼

【用紙番号選択】

番号：            番 種 類：のし紙

名 前：【 反物判            】

サイズ： \*\*\* × \*\*\* mm ▲ ▼

- iv. レイアウト展開後に文字入力画面に戻ります。



用紙の登録は、のし紙、短冊、多当合わせて20種です。

- ◎登録しようとしたとき、既に20種の登録が行なわれていると、次の表示を行ないます。

空き用紙がありません。  
不要な用紙に上書きしてください。

- ◎警告メッセージを表示後、上書きする用紙を選択する用紙選択画面を表示します。

▲ ▼

【用紙番号選択】

番号：            番 種 類：のし紙

名 前：【 反物判            】

サイズ： \*\*\* × \*\*\* mm ▲ ▼

- ◎確認メッセージを表示する。

◀ ▶

用 紙【 反物判            】に  
上書きで登録しますか？  
              
この用紙のデータは削除されます

- ◎この後通常の用紙名入力画面になります。

## (2) 用紙の選択

- ①これからご使用になる用紙の種類を選択します。を押します。

◀ ▶

【用紙種類選択】

②用紙名を選択します。



【用紙番号選択】

番号：      番      種類：のし紙

名前：【 反物判                      】

サイズ： \*\*\* × \*\*\* mm ▲ ▼

③レイアウトを表示します。



直前まで作業したレイアウトと、同じレイアウト属性を持ったレイアウトを表示します。もし、同じ属性を持ったレイアウトが無い場合は、レイアウト番号の1番を表示します。

## ■レイアウトの選択

### (1) レイアウトの属性

本機は、お客様が登録された用紙サイズに合わせて、最適なレイアウトを自動で作成する事が出来ます。自動展開できるレイアウトは、のし紙-30種、短冊-9種、多当-1種です。それぞれのレイアウトは、サイズの異なる用紙に展開されても同一属性のレイアウトとして判断しています。そのため、用紙選択を行うと、それまで使用していたレイアウトと同じ属性のレイアウトを表示します。



- レイアウトに属性を持っているのは、自動展開したレイアウトだけです。
- 自動展開したレイアウトに対して、文字枠の追加や削除を行ったレイアウトは、属性が変わってしまいます。

### (2) レイアウト選択

レイアウト選択は選択されている用紙名に対するレイアウトが選択できます。

① **レイアウト** を押します。

3桁のレイアウト番号を指定します。番号を直接入力または、カーソルキーで指定できます。



レイアウト選択

番号選択 **1**

個人1連

10 オト クロヌリ A ON 3 100



- ▲ ▼でレイアウト番号が一つずつアップ（加算）またはダウン（減算）します。
- ◀ ▶で5つつアップ（加算）またはダウン（減算）します。

② **実行** キーが押されるとレイアウトを表示して文字入力画面に戻ります。

### (3) レイアウトの一覧印刷

登録されているレイアウトをA4サイズの用紙に一覧印字します。

**シフト** + **レイアウト** を押します。



準備が出来たら実行キーを押して下さい。



用紙番号毎にレイアウトを一覧印刷します。

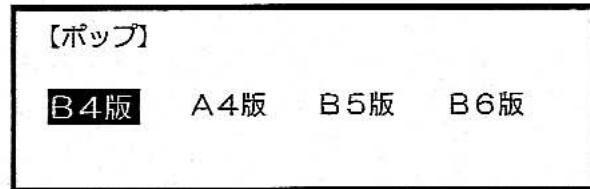
#### (4) ポップレイアウトの選択

本機は、予め登録された用紙サイズ（B6，B5，A4，B4）に対して5種類のレイアウトとタイトル文字を選択して最適なレイアウトを自動で作成する事が出来ます。

① **シフト** + **用紙** キーを入力します。

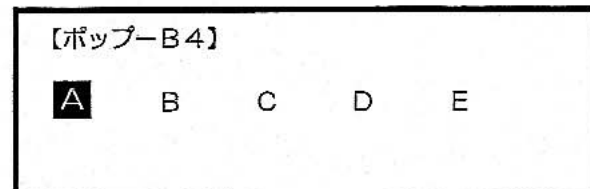
② 用紙サイズの選択を行ないます。

**◀ ▶** **実行**



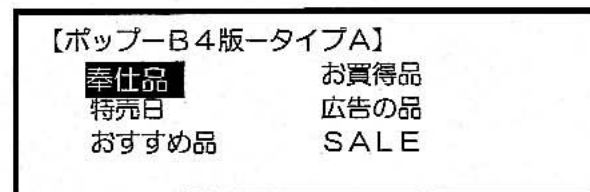
②ポップレイアウトの選択を行ないます。（例：B4を選択した場合）

**◀ ▶** **実行**

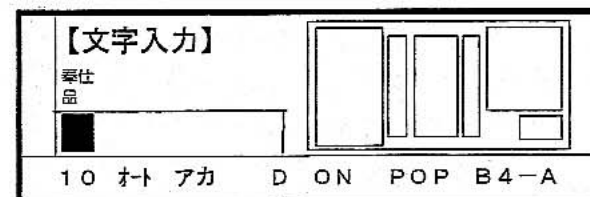


③タイトル文字を選択します。（例：B4、レイアウトAを選択した場合）

**▲ ▼ ◀ ▶** **実行**



④入力画面に戻る。



通常ののし紙と異なり、用紙サイズの自動展開、レイアウトの登録、削除は出来ません。レイアウト修正後、入力画面に戻るには **レイアウト修正** を押します。修正されたレイアウトは、電源を切るまで使用できます。



## ■文字入力

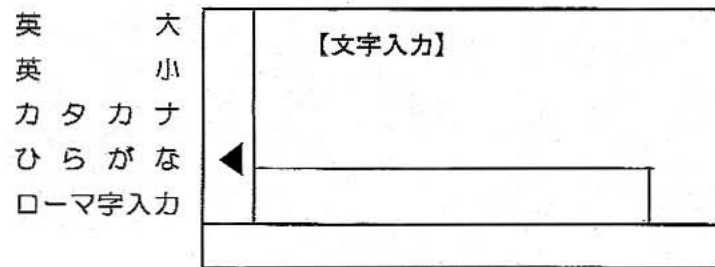
ここでは、文字や記号などの入力・漢字変換のしかた、入力した文章の修正のしかたなどについて説明します。

### (1) 文字入力方法の選択

かな入力/ローマ字入力/英数字入力の、各モード切替方法と入力状態表示は次のようになります。

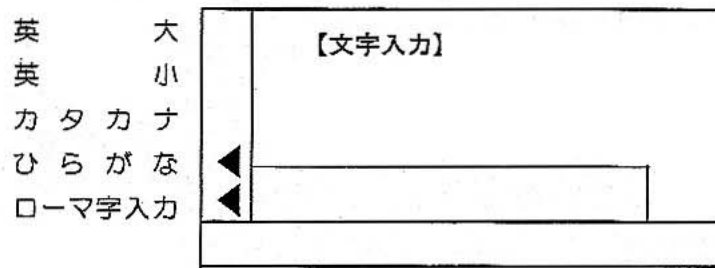
#### ① [かな入力]

- i. かな漢字変換時のモード。キートップ(キー頭)に印刷された「かな」で入力します。
- ii. シフト+文字キーで促音(いつゃゆよ等)を入力できます。
- iii. 記号を入力するときは、英数モードで入力します。



#### ② [ローマ字入力]

- i. ローマ字仮名漢字変換を使用するときのモード。キートップに印刷された英数で入力します。



モードの変更の方法は、**入力切替**を押すことで [かな入力]・[ローマ字入力]・[かな入力]と交互に切り替わります。

#### ③ [英数字入力]

アルファベットの大文字/小文字・数字・記号を入力する場合には、予め**英大**・**英小**モードに切り替えてから入力します。

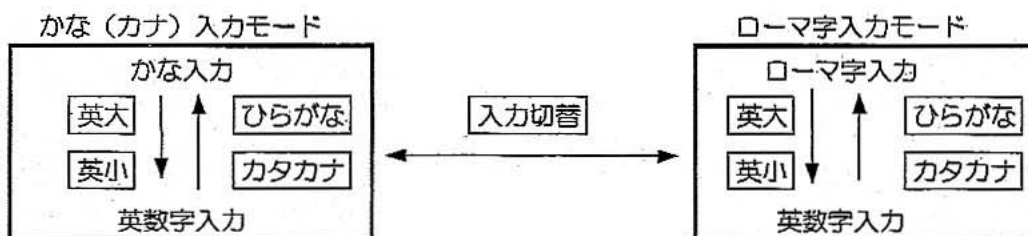
#### ④ [英大]

アルファベットの大文字・数字・記号を入力するときに使用します。

#### ⑤ [英小]

アルファベットの小文字・数字・記号を入力するときに使用します。

#### ⑥ [ローマ字入力とかな入力の関係、および英数字入力]

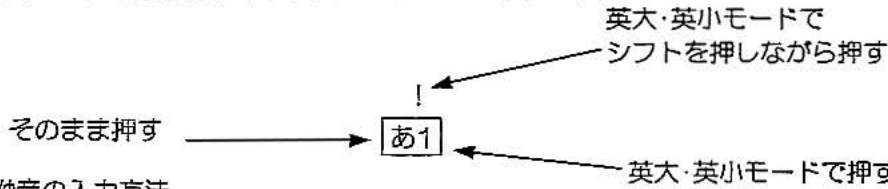


## (2) かな入力

ここでは、かな入力の基本的な使用方法を説明いたします。ローマ字入力をお使いになる場合は「ローマ字入力」をご覧ください。

## ①キー上の文字の入力方法

キー上の文字を書き分けると、次に示すようになります。



## ②促音・拗音の入力方法

「あ」「い」「う」「え」「お」「っ」「ゃ」「ゅ」「ょ」を入力する時は、**シフト** を押しながら、それぞれのキーを押します。

[例] 「っ」は、**シフト** を押しながら **つ c** を押します。

## ③濁音、半濁音の入力

「ば」は **は 6** を押した後 **° L** を押します。

「ぱ」は **は 6** を押した後 **° +** を押します。

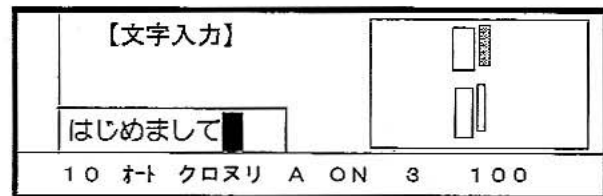
## ④句読点の入力

「、」は、**シフト** を押しながら **る、** を押します。

「。」は、**シフト** を押しながら **れ。** を押します。

[例] 文] かな入力で、「はじめまして」を入力してみます。

i. **は 6** **し S** **° L** **め O** **ま Y** **し S** **て V** と押します



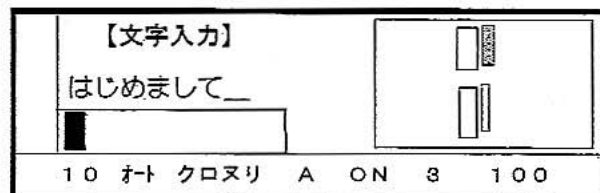
入力した文字が画面の下の読み表示画面に、ひらがなで表示されます。



直前にキーを押し間違えた時は、**前消去** を押すことで、カーソルの左側の文字を消去できます。また、誤った文字にカーソルを移動させ、**消去** を押す事でカーソルのある文字を消去できます。入力した文字全部を取り消す時は **一括消去** を押します。

ii. 「読み」の内容を確認して **実行** を押します。

入力した文字が「確定」画面に移り、文字枠に入力する文字が確定されます。

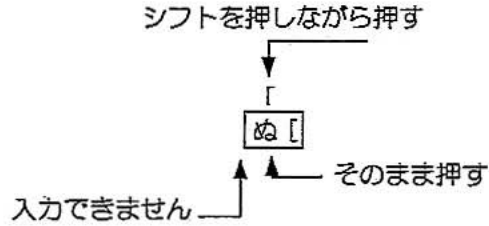
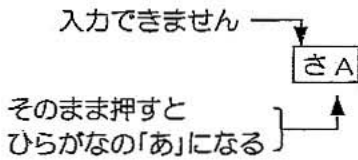


「確定」とは、読みとして入力した文字を確定し、印字できる状態にすることです。

(3) ローマ字入力

ここでは、ローマ字入力の基本的な操作方法を説明します。

①キー上の文字の入力方法



②ローマ字の基本的な入力方法

基本的なローマ字のつづり方は以下の通りです。

入力内容	キー操作	入力の原則
あぎすて	AKISUTE	50音は一般的な読みで
しちふ	SITIHU SHICHIFU	日本式 ヘボン式
を	WO	「を」は「W」をつける
ん	NN	「ん」は「N」を2度重ねて
ばば	BAPA	ローマ字表現で
きゃしゅ	KYASYU	拗音(ゃゅょ)はYを入れる
かっと	KATTO	促音(っ)は子音を重ねる
ろーま	RO-MA	伸ばす音(ー)は「-」
あいゆ	LALILYU	小さい字(あいゆ)はLをつけて

規則表にないつづり方で入力しても、変換されません。

ローマ字入力のつづり方は、付録「ローマ字入力規則表」をご参照ください。

③句読点や中点、カッコの入力

句読点(“、”や“。”)の入力は、**る**、**れ**を押します。

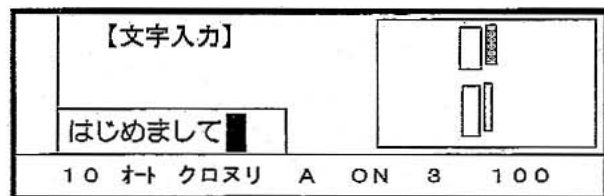
中点“.”の入力は、**シフト**を押しながら**ろ/**を押します。

カッコ“( ” )”の入力は、**な ( に )**を押します。

**参照** 記号(「 」 < > ! ~ ¥)の入力方法については、本章の記号の入力方法をご参照ください。

[例文] ローマ字入力で、「はじめまして」を入力してみます。

i. ローマ字つづりで、**H A J I M E M A S I T E**と入力します。



入力した文字が画面の下側の読み表示画面に、ひらがなで表示されます。

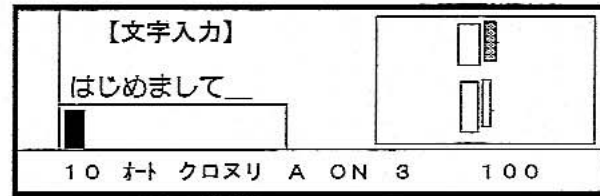


直前にキーを押し間違えた時は、**前消去**を押すことでカーソルの左側の文字を消去できます。

また、誤った文字にカーソルを移動させ、**消去**を押す事でカーソルのある文字を消去できま

す。入力した文字全部を取り消す時は**一括消去**を押します。

- ii. 「読み」の内容を確認して **実行** を押します。



入力した文字が「確定」画面に移り、印字させる文字が確定されます。「確定」とは、入力内容を確認し印字できる状態にすることです。



確定した文字を訂正する場合は、本章の“文章の編集”をご参照ください。



空白を入力する時は、**スペース**を押すと1/4文字分の空白が入力されます。

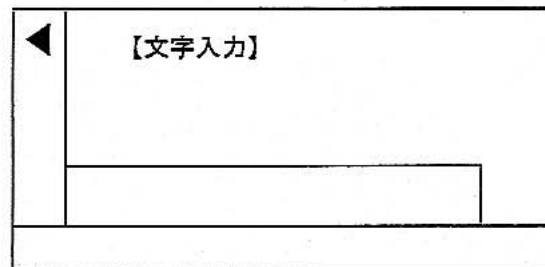
また、**シフト**を押しながら**スペース**を押すと1文字分の空白が入力されます。

#### (4) 英数字入力

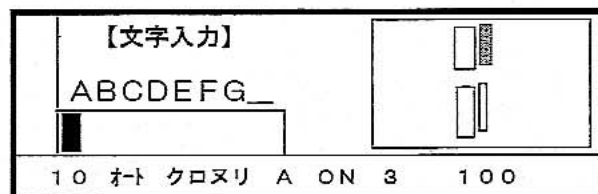
【例】文 かな入力モードから英大・英小モードに切り替えて、アルファベットの大文字で「ABCDEFG」を入力してみます。

- i. **英大** を押し英数大文字入力モードに切り替えます。

英 大  
英 小  
カタカナ  
ひらがな  
ローマ字入力



- ii. **さA** **とB** **つC** **すD** **くE** **せF** **そG** と押します。



英数字の入力は変換の必要がないので、入力と同時に「確定」となります。



空白を入力するときは、**スペース**キーを押してください。

小文字の入力は**英小**を押してから入力してください。

かな入力モードに戻すときは**ひらがな**を押してください。

(5) 漢字変換

本機は漢字の変換を熟語単位で行います。ただし、1度に「読み」の入力ができるのは13文字以内です。

①熟語ごとに入力して変換する。

【例】文 「しゅく」と「かいてん」を熟語ごとに変換して、「祝開店」と入力してみます。

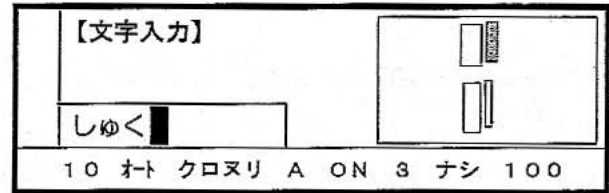
i. 「しゅく」と入力します。

かな入力の場合

し じゅ + くと <

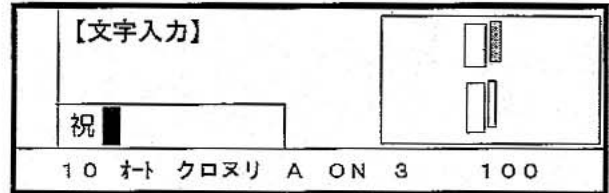
ローマ字入力の場合

S Y U K U

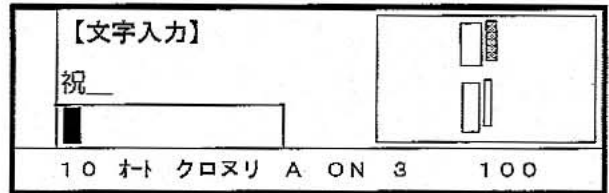


ii. 変換キーを押し漢字に変換します。

変換



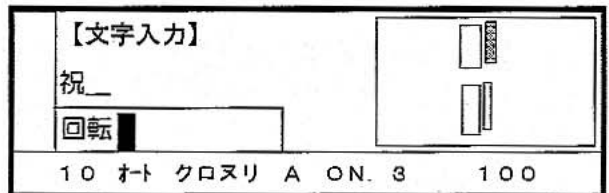
iii. 目的の適切な漢字が表示されていますので実行を押して確定します。



iv. 次に「かいてん」と入力し、変換で漢字に変換します。

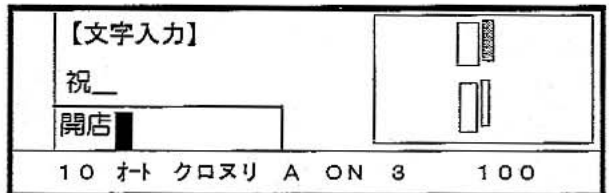
か い て ん 変換

K A I T E N N 変換



v. 目的の「開店」に変換されていませので、変換されるまで 変換 を押します。

変換 または ▼

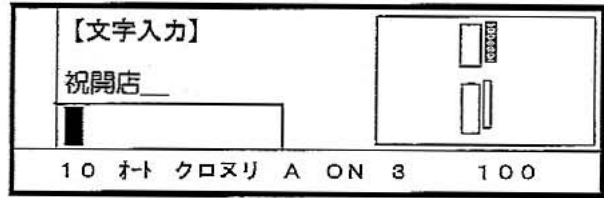


一度入力した「語句」は学習機能が働き、次に変換したときに最初に出てきます。

変換 を押しすぎて、目的の漢字が行き過ぎた場合は、シフト + 変換 を押すか、▲を押すと前の候補に戻ります。

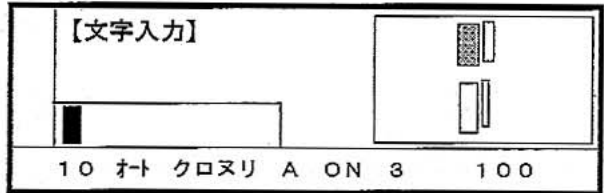
vi. 目的の漢字が表示されたときに、**実行**を押すと次の表示になり「祝開店」と確定します。

**実行**



vii. さらに、**実行**を押すか**▼**を押すと文字枠に入力され、次の文字枠に移動します。

**実行** または **▼**



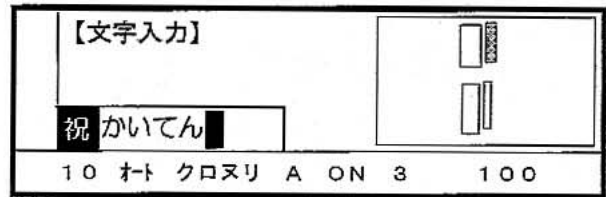
**メモ** 前の文字枠に戻るには、**▲**を押します。  
確定画面に移る前の、「読み」に入力されているままの状態では印字できません。

②いくつかの熟語をまとめて変換する

【例文】 「しゅくかいてん」と一度に入力し、「祝開店」を入力してみます。

i. 「しゅくかいてん」と入力して、**変換**を押します。

しゅくかいてん **変換**  
 SYUKU  
 KAITEENN **変換**



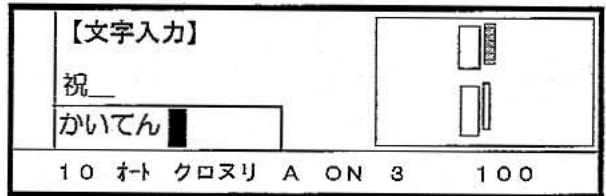
「祝」と反転しているのは、「しゅく」を1文節として区切っているからです。



**メモ** 本機は、文節の長さを**◀ ▶**により調節し、適切な文に変換することもできます。

ii. 反転分だけを確定するときには、**実行**を押します。

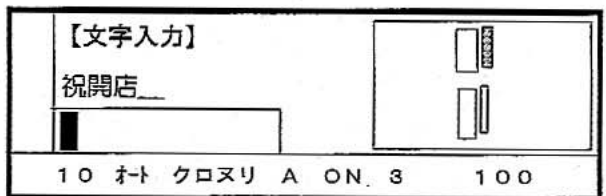
**実行**



iii. 「かいてん」を漢字に変換します。「開店」に変換されるまで**変換**を押し**実行**を押します。

**変換**

**実行**

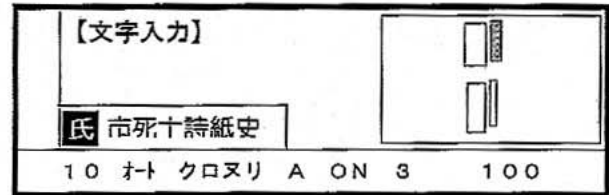


③単漢字変換

熟語変換で、入力したい漢字に変換できない場合は、「読み」を入力し **単漢** を押し、漢字の候補を一覧表示します。

【例】文 「嗣(し)」を単漢字変換で入力してみます。

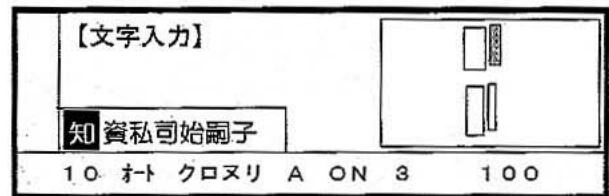
i. 「し」と入力し、単漢字変換します。



ii. ここで▼を押すと次候補の7種類が表示され▲を押すと前の7種類の候補表示に戻ります。

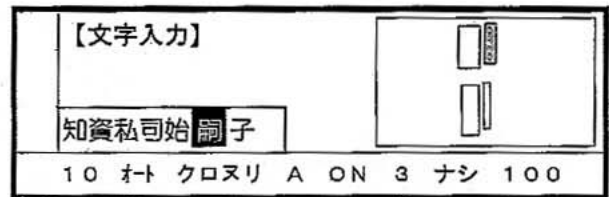


左から6番目にありました。



iii. ◀▶で反転部を移動して、漢字の選択をします。▶を5回押して「嗣」を反転させ

**実行** を押します。



入力の途中で抜け出したい時は **取消** を押しと **単漢** を押す前の「読み」の状態に戻ります。



付録にあるマックス厳選漢字や、漢字辞書を使っても変換できないような、非常に難しい漢字や特殊な記号は、JISコードで入力します。JISコード入力の方法は、本章のJISコードによる入力をご参照ください。

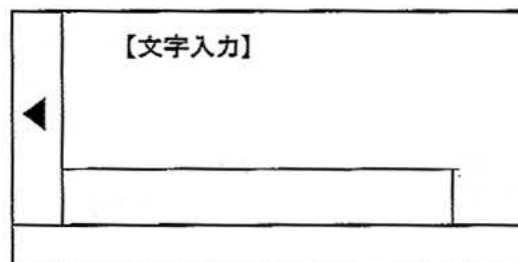
(6) カタカナ変換

カタカナの入力は、**カタカナ** を押してカタカナモードにしてから入力する方法と、「読み」を入力後に、**カタカナ** を押す方法の二通りがあります。

【例】文 「ポップ」と入力してみます。

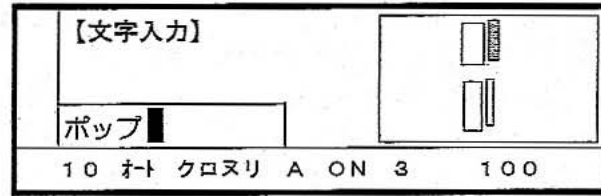
i. **カタカナ** を押しモードを切り替えます。

英      大  
英      小  
カタカナ  
ひらがな  
ローマ字入力



ii. 「ぼっぷ」と入力します。

ほ ° ヲ + つ ぶ °  
P O P P U



**メモ** 「読み」画面で、カタカナに変換された文字は、再び「ひらがな」を押すとひらがな表示に戻ります。

(7) 記号 と 特殊文字の入力

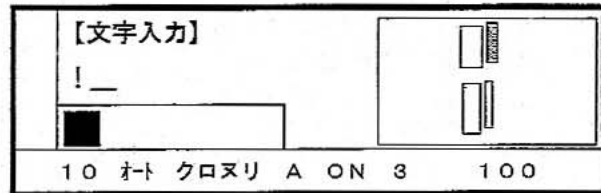
①キーボード上の記号の入力

英大・英小モードで「シフト」を押しながら目的のキーを押してください。

【例】文 「！」を入力してみます。

シフトを押しながら あ 1 を押します。

シフト + あ 1



**メモ** 記号の場合変換の必要が無いので、最初から確定画面に入力されます。

②内蔵されている記号と括弧文字の入力

「きごう」と入力し「単漢」を押すと、記号の一覧を表示しその中から選択できます。

「んか」と入力し「単漢」を押すと、括弧文字の一覧を表示しその中から選択できます。

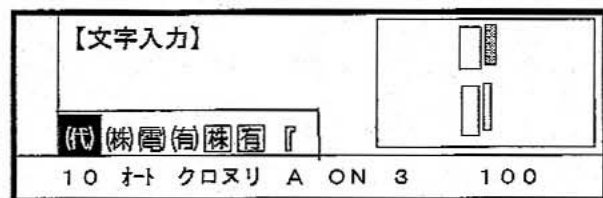
【例】文 「(株)」を入力してみます。

i. 「んか」と入力し「単漢」を押します。

ん か 単漢

N N K A 単漢

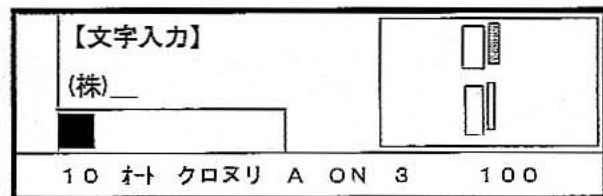
左から2番目にありました。



**メモ** 文字の変換に、「ん」の読みから始まる文字列が無いので特殊文字に割り付けています。「んぎ」と入力すると、ギリシャ文字の呼び出しができます。

ii. ▀を1回押して「(株)」へカーソルを移動し「実行」で確定します。

実行



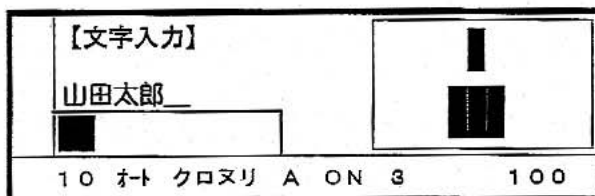
**メモ** ▀を押すと次候補の7種類が表示され、▴を押すと前の7種類の候補表示に戻ります。



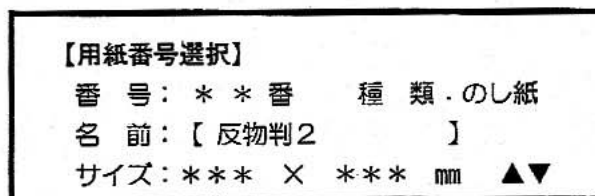
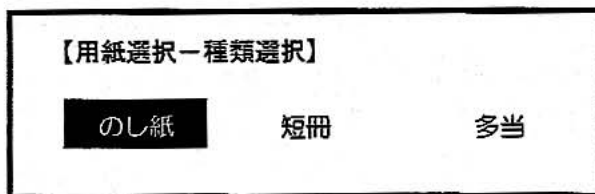
(8) 文字列のコピー

選択されているレイアウトに入力された文字列を、違う用紙サイズの、同じレイアウト属性を持ったレイアウトに、コピーする事が出来ます。

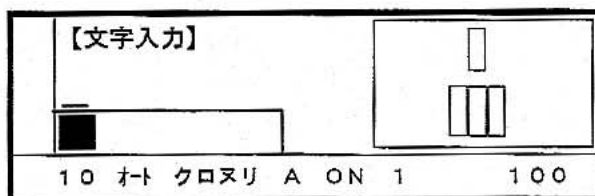
①通常通りレイアウトを選択し、文字を入力します。



②用紙キーを押して選択している用紙を変更します。



③自動的に同じレイアウト属性のレイアウトが選択されます。

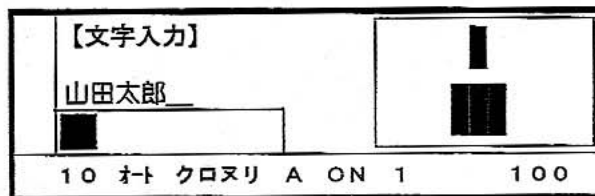


◇同じ3名連名のレイアウトが、同じ属性を持っているので自動選択されました。  
 ◇レイアウト属性が一致するレイアウトが無かった場合は、一番若い番号のレイアウトを表示します。



レイアウト属性については第II章-10頁のレイアウト属性をご覧ください。

④メモリキーを押す事で、用紙選択を行う前に使用していたレイアウトに入力された文字列が、貼り付けられます。



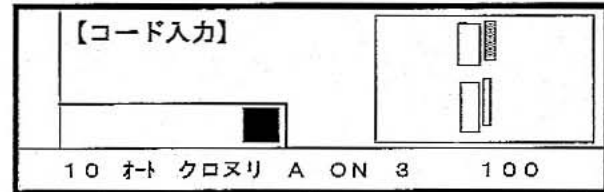
レイアウト属性が一致するレイアウトが無い場合は、この機能はご使用になれません。

### (9) JISコード入力

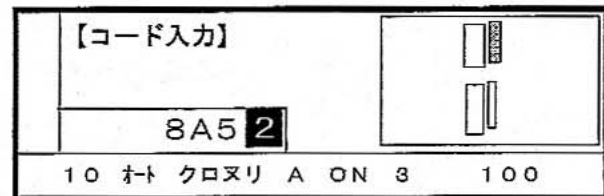
マックス厳選漢字や、漢字辞書を使っても変換できないような非常に難しい漢字や、特殊な記号は、JISコードで入力します。本書巻末にあるJISコード表で必要な漢字あるいは記号のコード番号を調べ、次の手順で入力してください。

〔例〕文 「崖(がい)」をシフトJISコード(8A52)で入力してみます。

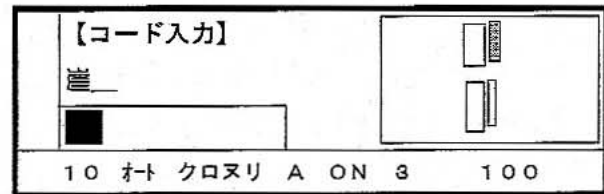
- i. **シフト**を押しながら**単漢**を押すと次の表示になります。



- ii. コード番号を入力します。



- iii. **実行**を押すとコードで指定された文字が確定します。



**メモ** JISコード表は、第V章 付録をご参照ください。

### (10) 熟語登録と削除

本機には漢字変換のため辞書が搭載されていますが、この辞書に含まれていない単語や常套句を登録して、漢字変換で入力することができます。個人名や会社名などの固有名詞を登録すれば、なお一層スピーディーな入力が可能となります。

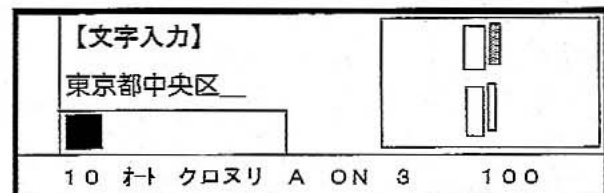
#### ①熟語の登録

熟語の登録は、入力中に登録したい部分を指定するだけで、簡単に行えます。

登録できる熟語の最大文字数は10文字までです。なお、「読み」(呼出名)の最大文字数は6文字までです。

〔例〕文 「東京都中央区」を熟語登録してみます。

- i. 「東京都中央区」と入力します。



- ii. **熟登** を押して、熟語登録する文字の先頭文字の指定を行います。

**熟登** ◀ ▶ **実行**

【始点指定】			
東京都中央区			
10		100	
10 オト クロヌリ A ON 3			

**メモ** 熟登を押すと入力されている文字列の先頭の文字が反転します。

- iii. 熟語登録する文字列の最後の文字を指定します。

▶を5回押す **実行**

【終点指定】			
東京都中央区			
10		100	
10 オト クロヌリ A ON 3			

範囲指定した文字列が反転表示されます。

- iv. 登録名称“読み”の入力を行います。「とちく」と入力してみます。

と ち く **実行**

【読み入力】			
東京都中央区			
とちく			
10		100	
10 オト クロヌリ A ON 3			

- v. 実行を押すと熟語登録画面が表示され、熟語が登録され、入力待ちの状態になります。

【文字入力】			
東京都中央区			
10		100	
10 オト クロヌリ A ON 3			

**メモ** ・「読み」の入力は必ず「ひらがな」6文字以内で行なってください。ひらがな以外を入力するとピッ！と鳴りエラーとなります。  
 ・指定した範囲の中に、記号があると同様にエラーとなります。

## ②熟語登録の便利な使い方

熟語を登録する際、つぎの要領で登録すると便利です。

- ・普通では、熟語に変換されない「読み」で入力する。
- ・自分なりに「読み」に規則性を持たせる。
- ・一文字の「読み」にすると、同じ「読み」が多くなり変換時間を要するので、2～3文字にする。

【例】文 「群馬県高崎市大類」・・・・・・・・「くたお」

(各単語の頭文字＝「群馬県」の「く」、「高崎市」の「た」、「大類」の「お」)

## ③熟語の呼出し

登録した熟語の呼出方法は、通常の変換と同じ要領で行います。

〔例文〕 「東京都中央区」を呼出します。

- i. 「とちく」と入力し **変換** を押します。

と ち く **変換**

- ii. 熟語登録された内容に変換されます。

【文字入力】	
東京都中央区	
10 オト クロヌリ A ON 3 100	

- iii. **実行** で確定します。

**実行**

【文字入力】	
東京都中央区	
10 オト クロヌリ A ON 3 100	

#### ④登録されている熟語の確認

登録されている熟語の確認は“熟語削除”モードで行います。

- ・ **シフト** + **熟登** で登録されている内容が、“読み”の「あいうえお」順で表示されます。
- ・ **▲ ▼**を押すと前後の内容を確認できます。
- ・ 確認後 **取消** を押し“登録削除”モードから抜け出します。

#### ⑤熟語の削除

熟語が登録できる容量が一杯になり登録できなくなったときや、不要となった熟語を整理するときに熟語の削除を行います。

〔例文〕 「東京都中央区」を削除してみます。

- i. **シフト** + **熟登** を押します。

熟語：【群馬県高崎市大類	】
読み：【ぐたお	】
↑↓：選択	消去：削除

- ii. **▲ ▼**を押すと前後の熟語を表示します。

熟語：【東京都中央区	】
読み：【とちく	】
↑↓：選択	消去：削除

- iii. **消去** で削除指定します。

熟語：【東京都中央区	】
読み：【とちく	】
熟語削除？	実行 取消

削除してよいか確認のメッセージがでます。削除する場合には **実行** を、削除しない場合には **取消** を選択してください。キーが押されると文字入力待ちの状態に戻ります。

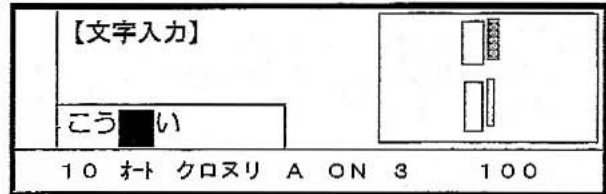
(1 1) 文章の編集

①入力文字「読み」の訂正

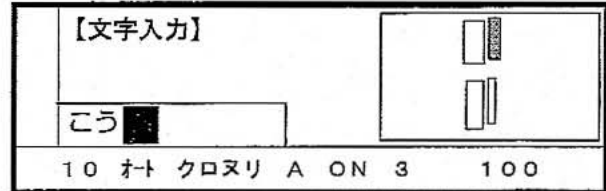
誤って入力した文字は「前消去」または「消去」により削除します。また、文字の入力は常に挿入状態となっていますので、文章の途中に文字を挿入する場合は、挿入したいところにカーソルを合わせ入力します。

〔例〕文 「こうあい」を「こうない」に訂正してみます。

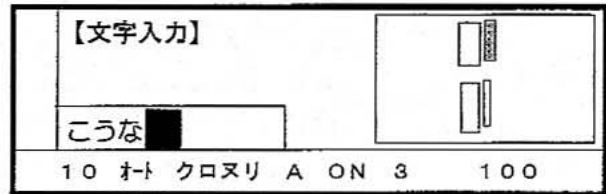
i. ◀を2回押し「あ」の下に反転部を移動します。



ii. ここで「消去」を押すと反転部上の「あ」が削除できます。



iii. 「い」にカーソルがある状態で「な」を入力すると、「い」の前に「な」が挿入されます。



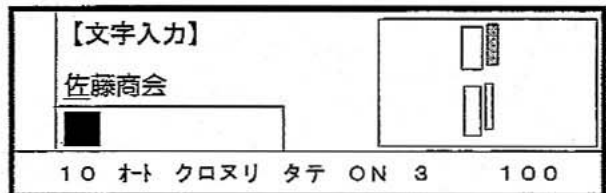
**メモ** 「読み」がほとんど間違っていて、最初から入力をやり直したほうが早い場合は「一括消去」を押すことで「読み」の全削除が行えます。

②入力文字「確定された文字」の訂正

誤って入力した「確定」文字は、「読み」入力していない状態において、カーソルキーで目的の文字にカーソルを合わせ「消去」により削除します。また、文字の入力は常に挿入状態となっていますので、文字列の途中に文字を挿入する場合は、挿入したいところにカーソルを合わせ、入力します。

〔例〕文 「佐藤商会」を「山田商会」に訂正してみます。

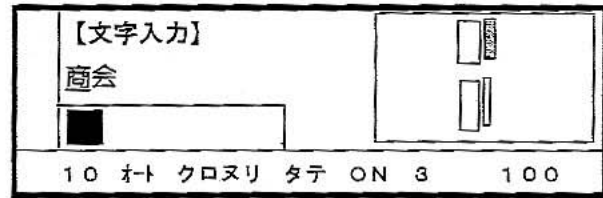
i. ◀を4回押し「佐」の下にカーソルを移動します。



**メモ** ◀のカーソル移動は、次のようにはたらかず、「読み」が入力されているときは、「読み」表示画面のカーソルが移動します。「読み」が入力されていないときは、「確定」表示画面のカーソルが移動します。

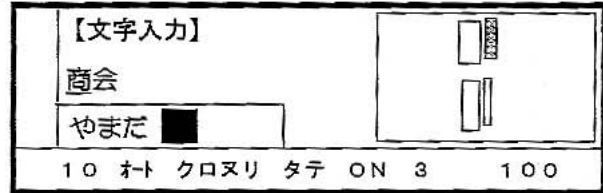
ii. 「佐藤」を削除します。

消去 消去



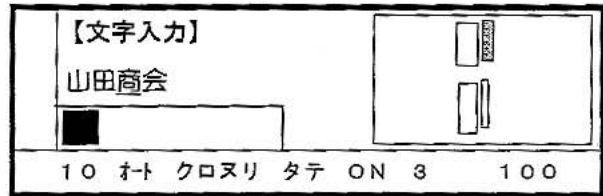
iii. 「やまだ」と入力します。（「読み」の欄に入力されます。）

や ま た "   
 Y A M A D A



iv. 変換 実行 を押して確定します。

変換 実行

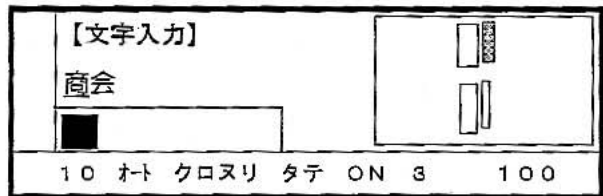


「山田」が、カーソルのある「商」の左側に挿入されました。

〔例〕文〕 入力途中の文字を一括消去で全削除してみます。

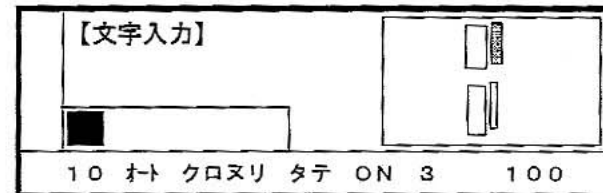
i. 一括消去を押すと、「読み」の表示が消去されます。

一括消去



ii. 次に一括消去を押すと、確定画面に表示されている文字枠内の文字全部を削除します。

一括消去



## (12) カーソルの移動と画面スクロール

### ①カーソルの移動

カーソル移動キーは、▲ ▼ ◀ ▶の4つのキーがあり、それぞれのキーの役割は下記の通りです。

- ◀ カーソルを左に動かします。「読み」の入力があるときは読み表示画面のカーソルを、ないときは確定表示画面のカーソルを移動します。  
数字入力の場合は、5つつ減算（小さく）します。

- ▶ カーソルを右に動かします。「読み」の入力があるときは読み表示画面のカーソルを、ないときは確定表示画面のカーソルを移動します。しかし文字列の一番右にカーソルがあるときには移動しません。  
数字入力の場合は、5つつ加算（大きくなる）します。
- ▲ 読み入力部に文字が入ってないときは、レイアウトパターンの文字枠の選択になります。漢字変換中は前候補の表示を行います。  
数字入力の場合は、1つつ変わります。
- ▼ 読み入力部に文字が入ってないときは、レイアウトパターンの文字枠の選択になります。漢字変換中は次候補の表示を行います。  
数字入力の場合は、1つつ変わります。

## ②画面のスクロール

確定表示画面に、1行で7文字以上の入力をする、1行ではすべての表示ができないため左にスクロールします。スクロールして見えなくなった表示を見る場合は◀でカーソルを移動すると、表示がスクロールし確認することができます。

## ■印刷処理

各種出力機による印字の方法について説明します。  
また、便利な複数枚数印字についても説明します。

### (1) 印刷の方法 1

入力されたレイアウトを一枚ずつ印字します。

- ①文字の入力が終了したら **スタート** を押すと次の表示に変わります。

準備が出来たら実行キーを  
押して下さい。

- ②出力機の確認を行い **実行** を押すと出力を開始します。

- ③印字出力中は次の画面が出ます。出力中のレイアウトに入力された合計文字数に対して、処理中の文字数を表示します。

印字中・・・  
001文字／×××文字処理中

**メモ** プリンタへの用紙セットは、縁を揃えて下さい。用紙の蛇行によりしわが入る可能性があります。

### (2) 印刷の方法 2

入力されたレイアウトを複数枚数印字します。

- ①文字の入力が終了したら **シフト** を押しながら **スタート** を押すと次の表示に変わります。

**シフト** + **スタート** ◀▶ **実行**  
数字キー **実行**

印字枚数を指定して下さい  
(1～99)  
**1** 枚

## 第 Ⅲ 章

## パラメータの設定

本機では、多彩な文字の加工ができます。

この章では、パラメータの設定方法について説明します。

### ■パラメータの設定

1. 文字間隔の設定	2 頁
2. 文字の変形	3 頁
3. 色・中抜文字の設定	4 頁
4. かな縮小	4 頁
5. 縦書き／横書きの設定	4 頁
6. 姓と名の区別	5 頁
7. 均等配列の設定	6 頁
8. 書体の変更	6 頁
9. 英数書体の切り替え	7 頁
10. オプション書体の装着方法	7 頁

### ■諸設定

1. 画面の明るさ調整	8 頁
2. かな縮小	8 頁
3. 回転印字	8 頁
4. 色相	8 頁
5. 人名	9 頁
6. オフセット	9 頁
7. データーコピー	10 頁




## ■パラメータの設定

パラメータは、レイアウト中の文字列、または文字枠毎に自由に設定できます。


パラメータでは次の設定が行え、また工場出荷時のパラメータの値は以下の通りです。

パラメータ	工場出荷時	設定範囲
文字間隔	10%	0~250%
文字の変形	オート	50~250%・オート(100%~500%)
色・中抜き文字	黒・塗りつぶし	黒・赤・青・緑・黄・桃・紫の塗りつぶし、 薄墨、黒の中抜き
縦書／横書	Aタイプ	Aタイプ・Bタイプ・Cタイプ・Dタイプ
均等配列	均等配列	均等配列・上揃え
かな縮小	有り	有り・無し
英数書体の切り替え	内蔵ゴシック体	内蔵ゴシック体・外部書体

 縦書き／横書きのA~Dのタイプについては、Ⅲ-4頁をご覧ください。

### (1) 文字間隔の設定

文字間隔とは、文字と文字の間隔のことをいいます。初期値（標準値）は「10%」で文字幅に対しての文字と文字の間隔をパーセントで表したものです。実際の文字間隔は文字サイズに合わせて変化します。設定できる範囲は、文字の幅に対して、1%~250%の範囲で1%単位で設定できます。

-  ・均等配列が設定されているときはこの設定は無効になります。  
 ・この設定は現在の文字枠に対し設定されます。  
 ・文字列を一括消去した場合は設定値を初期値に戻します。

【例】 現在の設定値を確認し、設定値を50%に変更します。

- ①確定画面に表示されている文字列の字間を確認します。 **文字間** を押すと現在設定されている値を表示します。

【文字間隔設定】  
 文字間隔を指定して下さい  
 (0~250%) 10%

- ②カーソルキーまたは数字キーで「50」を入力します。もし誤って入力したときは **前消去** 又は、**一括消去** で削除し修正します。

【文字間隔設定】  
 文字間隔を指定して下さい  
 (0~250%) 50%

- ③ **実行** を押すと設定が確定され、入力待ちの画面に戻ります。

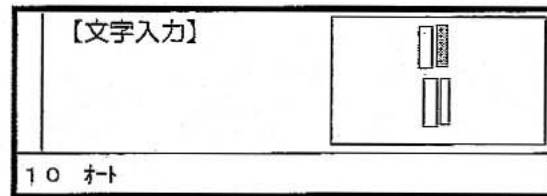
## (2) 文字の変形（長体／平体）の設定

レイアウトパターンの文字枠の大きさに対し、入力された文字数を文字枠内に全て収める為に、文字の高さと幅の比率を変えます。通常作成された文字枠は、文字幅／文字高さの比率が100%～500%（正体から平体）のオートに設定されています。（縦書きのとき）（横書きのときは正体から長体）

**メモ** オート設定の場合は100%～500%の平体設定です。指定で設定できる範囲は、50%～250%に限定されます。字・変形の値が50%～100%の範囲は文字が長体となり、100%～250%の範囲が平体となります。

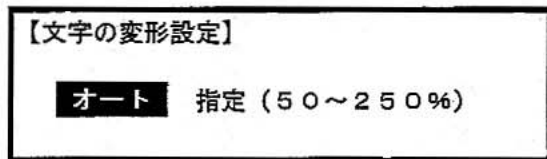
【例】文 規定値オートを変更し、文字を長体で印字してみます。

①確定画面に入力された文字がある状態で、**字・変形** を押し現在の設定値を確認します。

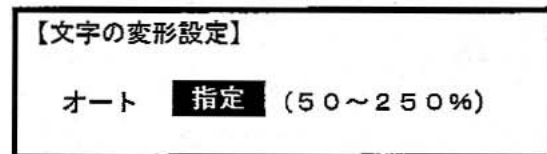


現在の設定

**字・変形** を押すと次の画面になります



②**▶**キーで「指定」を反転表示させ**実行**で選択します。

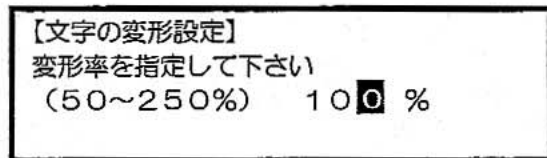


③カーソルキー又は数字キーで変形の範囲を入力し**実行**で確定します。



矢印キーでも数値が変わります。

最後に**実行**を押します。



④その他の入力が終わったら、印刷して見ます。**スタート**を押します。

・出力機の確認をし **実行** を押すと出力を開始します。

※印刷については第二章を参照して下さい。

### (3) 色・中抜き文字の設定

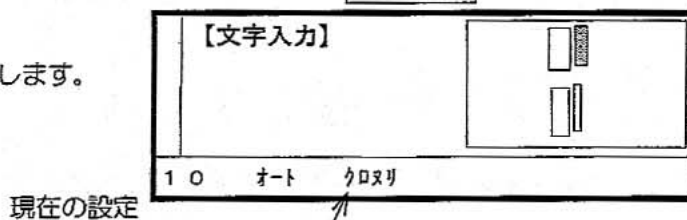
文字枠毎に、黒・赤・青・緑・黄・桃・紫・薄墨等の指定が出来ます。また、字の中を塗りつぶさずに文字の外形線（アウトライン）だけを印字し、後でポスターカラー等で塗ることに依り、よりカラフルな印字をする事も出来ます。

**メモ** 中抜き文字の印字は黒色のみです。色で指定できるのは、黒/赤/青/緑/黄/桃/紫の7色と薄墨です。

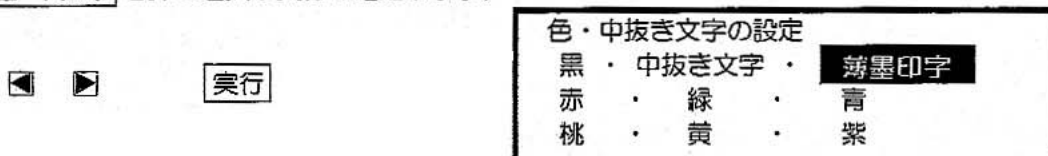
〔例〕文〕 薄墨印字を指定をします。

①レイアウトを表示させ、中抜き文字指定したい文字枠を選択し「色・中抜き」を指定します。

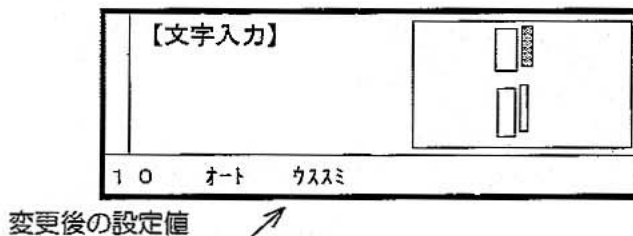
▼ ▲で変更したい文字枠を選択します。



②「色・中抜き」を押し選択し実行で確定します。



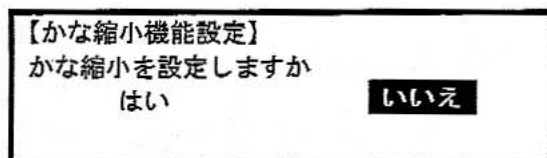
③選択されると、表示が変わります。



### (4) かな縮小

ひらがな・カタカナと漢字を一つの文字列で印字すると、漢字に比べ画数の少ないひらがな・カタカナが大きく見えます。そのため、本機ではひらがな・カタカナを漢字に比べ縮小印字させる機能を持っています。

「かな縮小」を押すことで設定できます。

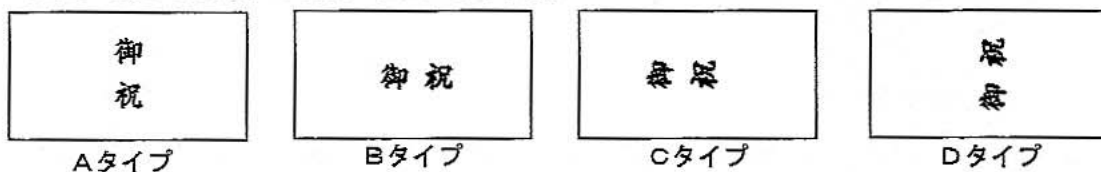


### (5) 縦書き/横書き/縦横書き/横縦書きの設定

本機は用紙に対して四方向に文字を書く事が出来るように作られています。

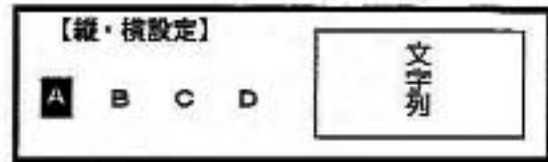
その方向は、次のようになっています。

〔画面の表示と比較すると次のようになります〕

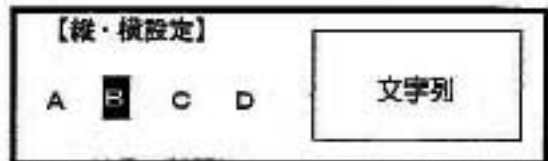


【例】文 横長の用紙に縦書きで印字してみます。

①変更したい文字種を選択してから **縦横** を押すと、選択されている文字種の設定状態が表示されます。通常の設定はAタイプですからAが反転しています。



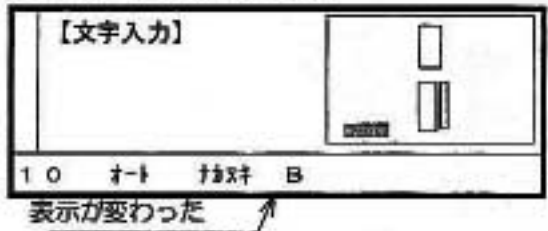
② **縦横** を1回押して「B」を反転させます。



③ **実行** を押すと、設定が確定され、文字入力画面になります。

④文字を入力します。

文字が既に入力された文字種の変更を行った場合はそのまま印字出来ます。



本機では、縦書き/横書きの設定はすべて画面表示を基準に設定を行っています。

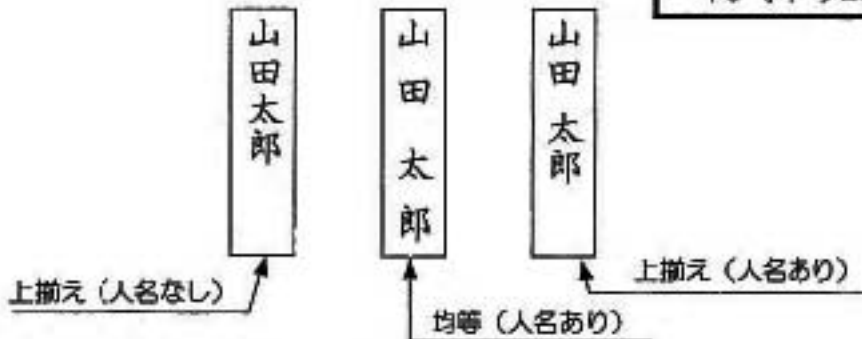
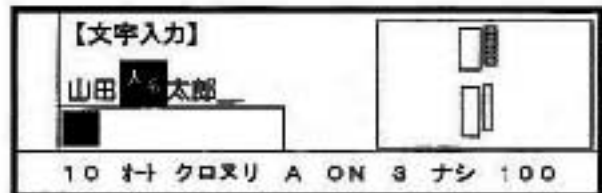
その為、実際に印字し使用するときの作画方向とは、プリンタに対しての用紙セットの仕方、本機での設定によって変わります。

### (6) 姓と名の区別

名前を配置するとき、姓と名の間に他の文字との間隔よりも少し広く間隔をいれると、印字したときに姓と名の区別ができます。この機能は人名を入力するときに、姓を入力後に **人名** を押し、続いて名を入力します。

画面上では次のように表示します

山田 **人名** 太郎

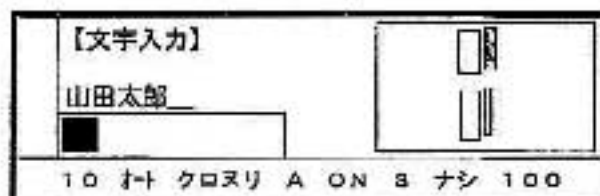



## (7) 均等配列／上揃えの設定

- ・均等配列とは、レイアウトパターン」に作成された文字枠の大きさに対し、入力された文字列の長さから、自動的に文字枠の両端に文字列の両端がそろるように、文字間隔を自動的に調整し作画します。
- ・上揃えとは、文字枠に対して文字の先頭から、文字間で指定された間隔をもって配置されます。
- ・均等配列を設定すると、自動的に文字間隔を最小0%まで縮めながら、文字枠の大きさ内に等間隔で文字を配置します。文字間隔を0%まで縮小しても指定した範囲内に入らない場合は、字・変形の設定を基に自動的に文字幅／文字高の比率を変え（自動の場合100%～500%/指定の場合50%～250%）、枠内に納めるようにします。それでも入力した文字長さが文字枠の大きさを越えるときは、印字処理を行うときに画面に「文字枠に入り切りません」を表示しその文字枠を点滅させます。

①まず書体を変更する文字枠を選択します。

  または  を押します



②  を押し文字配列を選択します。




均等配列は文字幅の大きさと、縦書き、横書きの文字列方向の長さで計算します。均等配列の設定を行うと、文字間で設定された間隔は無効となります。均等配列の対象に、人名・スペースが含まれます。（全角スペース・1/4角スペース）

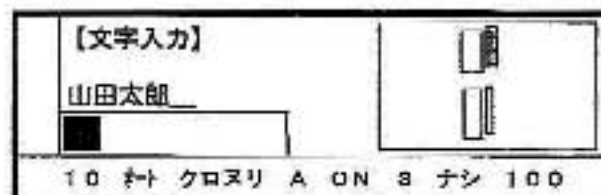


## (8) 書体の変更

本機ではレイアウトパターンの文字枠毎に書体設定することができます。標準でお使いの書体の他に、より表現力豊かな作画を行う事ができる、オプション書体を装着することが可能です。標準書体の他に書体が必要な場合は、オプションの書体よりお選びください。フォントカード／書体パックの取り付け取り外しは、それぞれの説明書をご覧ください。

①まず書体を変更する文字枠を選択します。

  または  を押します



② **書体** を押し変更する書体を選択します。



【書体設定】	
のし紙楷書体	のし紙行書体
細角ゴシック	ロゴデータ

③ 全部の枠の書体を一括で変更することができます。

**シフト** + **書体** を押し、どちらの書体を使うか指定します。

【書体設定—全枠一括】	
のし紙楷書体	のし紙行書体
細角ゴシック	ロゴデータ



一つのレイアウトに同時に使える書体は最大4書体です。  
DF-35RVCで読み込んだメモリーパックは「ロゴデータ」と表示されます。

**お願い** 書体パックの取り付け取り外しは、本機の電源を切ってから行って下さい。

### ( 9 ) 英数字の書体切り替え

本機では、アルファベットと数字の太角ゴシック体を内蔵しています。ここでは、書体パックの書体を使って印字するか、内蔵書体のゴシック体を使って印字するかを選択します。

**シフト** + **かな縮小** を押し、どちらの書体を使うか指定します。



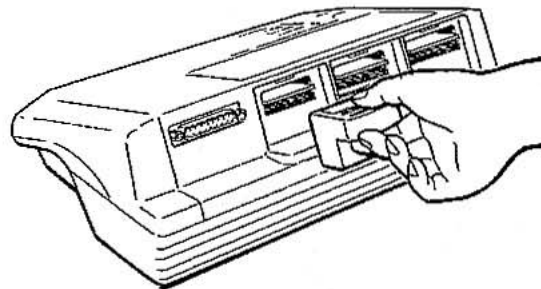
【英数字ゴシック指定】	
無	<b>有</b>

### ( 1 0 ) オプション書体の装着方法

オプションの書体パックを装着することで、さまざまな書体で印字することができます。

#### ・書体パックの装着方法

まず、書体パックを梱包箱から取り出します。このとき端子部分に手で触れないよう注意して下さい。本機背面の装着コネクタに、電源を切り電源コードを抜いて、書体パックを途中で止めることなく奥まで確実に差し込みます。



彩銘行書体NW-LF202が装着されている状態で、電源を投入すると自動的に全枠の書体が彩銘行書体になります。



**注意** 装着脱は必ず電源スイッチを切り、電源コードをコンセントからぬいて行って下さい。電源が入ったまま装着脱すると、けがや故障の原因となります。



本機や書体パックの端子には直接手でさわらないでください。静電気で本機や書体パックの故障の原因となります。

## ■ 諸設定

本機の初期状態の設定や画面の明るさ等を調整します。

① **シフト** を押しながら **諸設定** (人名) を押します。

② 画面上の機能を **◀ ▶ ▼ ▲** で選択し **実行** を押します。

【諸設定】	回転印字
<b>画面の明る</b>	かな縮小
データコピー	色相
オフセット	人名

### (1) 画面の明るさ

ディスプレイ表示の明るさを調整します。

■の数が多くなると表示が濃くなります。

**◀ ▶** **実行**

【画面の明るさ】

■ ■ ■ ■ □ □ □ □

### (2) かな縮小

かな縮小を働かせた時の縮小率(50~100%)を指定します。

文字枠内の、他の漢字の文字高さに対しての比率で指定します。

**▲ ▼** **実行**

【かな縮小】

縮小比率 = 【 8 **0** 】 %

### (3) 回転印字

印字出力時にデータを回転させて出力する事が出来ます。

回転なしの設定の場合、画面上の用紙の左側から右側へ印字していきます。

**◀ ▶** **実行**

【回転印字】

**回転なし**      90°      180°

### (4) 色相

インクジェットプリンタで印字するときの“薄墨”“赤”“青”“緑”“黄”“桃”“紫”の色を5段階で調整できます。

**▲ ▼ ◀ ▶** **実行**

薄墨	=	■	■	■	□	□
赤	=	■	■	■	□	□
青	=	■	■	■	□	□
緑	=	■	■	■	□	□

◎このページに目的の色がないときは、画面下で**▼**キーを選択する事で次ページを表示します。

桃	=	■	■	■	□	□
紫	=	■	■	■	□	□
黄	=	■	■	■	□	□

(5) 人名

人名キーを押したときに挿入される空白の比率(0~100%)を指定します。  
 その他の文字間隔に対して、どれだけ増やすかをパーセンテージで指定します。  
 出荷時の設定は10%になっています。



実行

【人名】  
 文字間の比率 = [ 10 ] %

(6) オフセット


本機からプリンタに印字したとき、のし紙のロットにより多少印字の位置が、水引のセンターに合わない場合があります。また、プリンタのメーカーや機種によっても多少の位置ずれを起こす事があります。これらの印字位置ずれを、予め見越して設定する事で、レイアウトパターンを修整する手間を軽減できます。調整できる範囲は、幅方向・用紙送り方向ともに±20mmです。

①オフセットを選択すると最初に用紙幅方向の設定を行ないます。



実行

【オフセット】  
 幅方向  
 ± 0.0 mm




◇幅方向とは、プリンタに用紙をセットした状態で左右方向をいいます。画面上では縦方向となります。

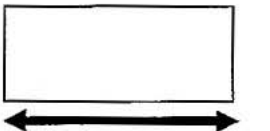
◇のし紙に印字したときに、文字列全体を上を移動したいとき（標準の横長のし紙の場合）は、数値をプラス方向に変えます。反対の場合は、マイナス方向に変えます。調整単位は0.5mmです。

②続いて長さ方向の調整を行ないます。



実行

【オフセット】  
 送り方向  
 ± 0.0 mm




◇送り方向とは、プリンタで印字するときの用紙の流れ方向をいいます。画面上では横方向となります。

◇のし紙に印字したときに、文字列のセンターが用紙のセンターに合っていないときに調整します。

◇用紙に対して、印字位置を右方向（印字を遅らせる）に移動したい場合は、値をプラス方向に調整します。反対に、印字位置を左方向に（印字を早める）移動する場合は、マイナス方向に調整します。



### (7) データコピー

この機能は、一台の機械で作成したレイアウトパターンを、複数の機械にコピーする事が出来ます。  
この機能を使用する為には、ブランクカセット（LF-BRP1）が必要です。

- ①本機の電源スイッチを切って、すべての書体カセットを抜き取ります。
- ②ブランクカセットを左のスロットに差し込みます。
- ③電源立ち上げ後に、諸設定→データコピーを選択し、本体からブランクカセットへ出力するのか、ブランクカセットから本体へ入力するのか選択します。



実行

【データコピー】

本体からブランクカセット  
ブランクカセットから本体



ブランクカセットにはオプションのLF-BRP1をご使用ください。

#### 【本体からブランクカセット】

ここでは本機で作成したレイアウトパターンを、ブランクカセットに出力します。  
LF-BRP1を、左のスロットに挿入してから電源を入れ、この機能を使用します。

- ①機能を選択します。



実行

【データコピー】

本体からブランクカセット  
ブランクカセットから本体

- ②データ出力後は次の表示を行いません。

レイアウトデータを  
コピーしました。

- ③出力が終了すると、文字入力画面に戻ります。
- ④電源スイッチを切ってから、ブランクカセットを取り外します。

#### 【ブランクカセットから本体へ】

別の機械で作成したレイアウトパターンを、本機に入力します。予め、レイアウトパターンデータの  
入ったブランクカセットを、電源を切った状態で左のスロットに差し込んでください。

- ①機能を選択します。



実行

【データコピー】

本体からブランクカセット  
ブランクカセットから本体

- ②データ出力後は次の表示を行いません。

レイアウトデータを  
コピーしました。

- ③出力が終了すると、文字入力画面に戻ります。
- ④電源スイッチを切ってからブランクカセットを取り外し、オプション書体カセットを差し込みます。

第 IV 章	レイアウト修正
--------	---------

この章では、レイアウトの修正や新規に作成する方法について説明をします。

■レイアウトの修正

1. 文字枠の大きさ	2頁
2. // 移動	3頁
3. // 削除	3頁
4. // 追加	3頁
5. // 中央合わせ	4頁

■レイアウトの削除

1. 個別削除	4頁
2. 連続削除	5頁

■レイアウトの登録	6頁
-----------	----

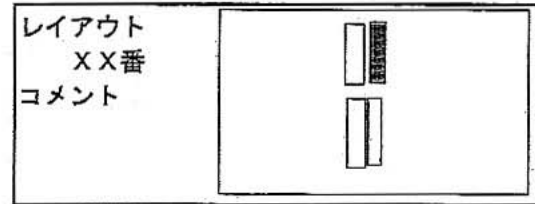
## ■レイアウトの修正

現在選択されているレイアウトに対して修正を行います。

また、現在選択されているレイアウトを元に修正を加えた後、新しいレイアウトとして登録することもできます。

○文字入力画面で、**レイアウト修正**を押します。

- ・画面の縦幅いっぱいにレイアウトを表示します。
- ・編集対象の枠が点滅します。
- ・編集する枠を変える場合は、**▲ ▼**又は**実行**で変更します。



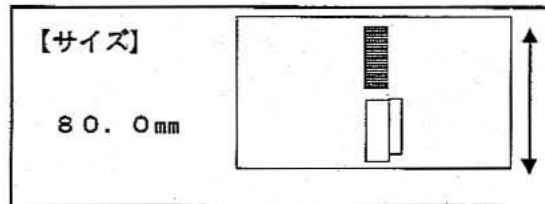
レイアウト修正を終了するには次の3つの方法があります。

- i. 修正したレイアウトを登録してから終了する。本章のレイアウト登録をご覧ください。
- ii. 修正したレイアウトは今回限りで、登録する必要がない場合は、**レイアウト修正**を押します。修正されたレイアウトは、別のレイアウトに切り替えるか、電源を切るまで使用できます。（このレイアウトは、レイアウト番号000番として使用できます）
- iii. 修正したレイアウトを修正前に戻してレイアウト修正を終了する。**取消**を押す。

### （1）文字枠の大きさ

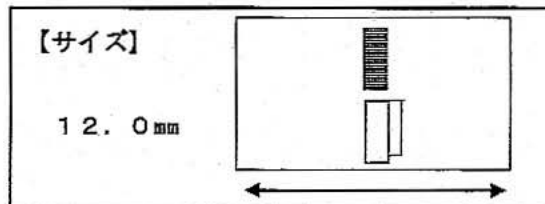
画面で点滅している文字枠の、長さや幅の大きさを変更します。別の枠の大きさを変更する場合は、**取消**で一旦枠サイズから抜け出して、枠を選択してからご使用ください。

- ① **枠サイズ**を押すと点滅している枠の現在の大きさを表示します。画面に表示されている矢印方向のサイズを設定します。



- ② 数字キーで直接寸法を入力するか、**▲ ▼ ◀ ▶**で入力し**実行**を押して確定します。

- ③ 続いて左右方向の幅を入力します。幅についても**▲ ▼ ◀ ▶**で入力し、最後に**実行**を押すと、レイアウト修正画面に戻ります。



◇**▲ ▼**は、1ミリ単位で増減します。**◀ ▶**は、5ミリ単位で増減します。

また、**シフト** + **▲ ▼**では、0.1ミリ単位で増減します。

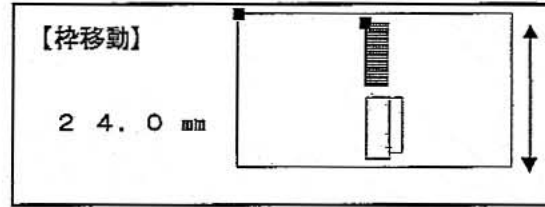
◇枠サイズは、枠の上辺の中央を基点として、指定されたサイズに変化します。

◇枠の長さを長くすると上辺の位置は変わらず、下側に伸びます。枠の幅は中央を基準に指定サイズに広がります。

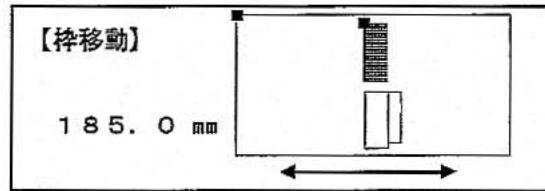
## (2) 文字枠の移動

画面で点滅している文字枠の位置を変更します。別の枠を移動する場合は、**取消**で一旦枠移動を終了して、移動する枠を選択してからご使用ください。

- ① **枠移動**を押すと、用紙の左上と現在選択されている文字枠の左上に基準点を表示し、その基準点間の現在寸法を表示します。



- ② 数字キーで直接文字枠の位置を指定するか、カーソルキーを押して矢印方向の位置調整を行い**実行**キーを押します。  
 ③ 続いて方向が変わりますので同様に調整を行いません。

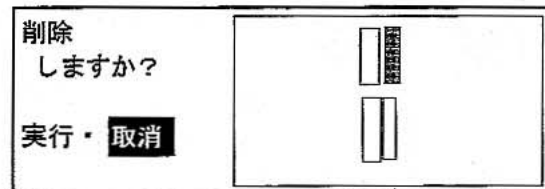


▲ ▼は、1ミリ単位で増減します。◀ ▶は、5ミリ単位で増減します。  
 また、**シフト** + ▲ ▼では、0.1ミリ単位で増減します。

## (3) 文字枠の削除

画面で点滅している文字枠を削除します。別の枠を移動する場合は、**取消**で一旦枠削除を終了して、削除する枠を選択してからご使用ください。

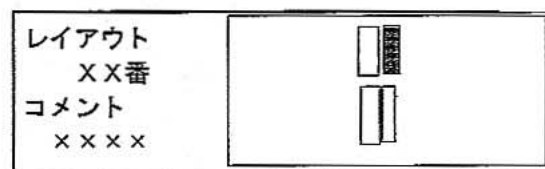
- ① **枠削除**を押すと点滅している枠を削除するか確認してきます。削除する場合は**実行**を選択します。それ以外の時は**取消**を選択します。



## (4) 文字枠の追加

レイアウトパターンに文字枠を追加します。

- ① **枠追加**を押すと「縦・横書設定」の画面が立ち上がり書式を選択し**実行**キーを押します。  
 ② 用紙中央に10mm×10mmの文字枠が追加され「枠サイズ」「枠移動」の設定画面が順番に立ち上がります。  
 ③ すべての設定が終わるとレイアウト修正画面に戻ります。



「縦・横書設定」「枠サイズ」「枠移動」の操作方法はそれぞれの説明項をご覧ください。  
 1枚のレイアウトに登録できる文字枠の最大は、16文字枠となります

### (5) 中央合わせ

画面で点滅している文字枠を、用紙に対し横方向または縦方向の中央に移動します。

**シフト** + **枠移動** (中央合わせ) を押します。中央合わせする方向を選択し、**実行** を押します。



## ■レイアウトの削除

必要のなくなったレイアウトパターン全体を削除します。レイアウトパターンの削除には二通りの方法があります。レイアウト修正画面で行なう個別削除と、通常の文字入力画面で行なう連続削除です。

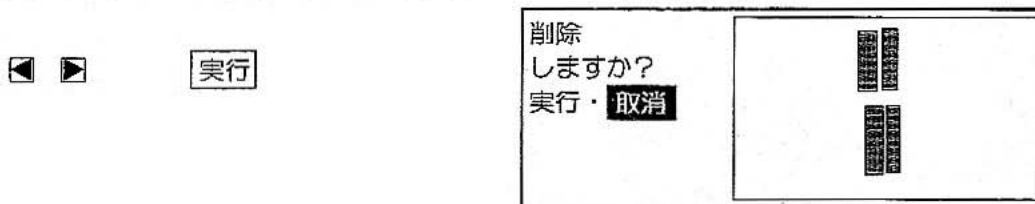
### (1) 個別削除

(表示されているレイアウトパターンを一つずつ削除します。)

①レイアウト修正画面に削除したいレイアウトパターンを表示させます、そして **シフト** + **枠追加**

(レイアウト削除) を押します。

現在表示されているレイアウトパターンを削除してもよいか確認します。



**メモ** 削除したいレイアウトパターンを表示させるには、文字入力画面で **レイアウト** を押し、

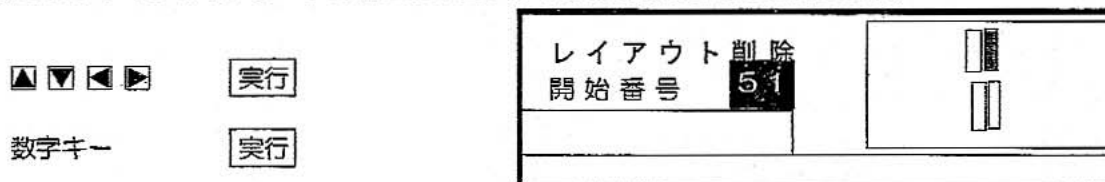
削除したいレイアウトを選択し、表示させてから **レイアウト修正** を押します。

### (2) 連続削除

同一用紙番号内で登録されたレイアウトパターンを、レイアウトパターン番号で何番から何番までという範囲指定で削除できます。

①文字入力画面で **シフト** + **枠追加** を押します。

②削除したいレイアウトパターンの範囲の小さい方の番号を開始番号に指定します。



③続いて、削除したいレイアウトパターンの範囲の大きい方の番号を終了番号に指定します。



実行

数字キー

実行

レイアウト削除	
終了番号 100	



この時に画面表示されるレイアウトパターンは、開始番号で指定されたレイアウトパターンです。

④レイアウトパターン削除の確認画面が出ます。



実行

051 - 100	
削除しますか？	
実行	取消



- i. この開始番号から終了番号の範囲内にある同一用紙番号のレイアウトのみ削除します。
- ii. 用紙番号内のすべてのレイアウトパターンを削除指定しても、一番小さいレイアウト番号がのこります。（用紙内のすべてのレイアウトを削除する事は出来ません。）
- iii. 番号指定するときは、開始番号より終了番号が大きくなるように、指定してください。

## ■レイアウトの登録

修正したレイアウトを登録し、レイアウト修正を終了します。

登録には、2通りの方法があります。

- 上書き登録は、修正前と同じ番号で登録し、修正前のレイアウトは使用せず、新しく修正したものが使用できます。
- 新規登録は、修正前のレイアウトはそのまま残し、修正したものは新しい番号に登録する新規登録があります。



文字を入力した後にこの登録動作を行うと、文字データも含めての登録ができます。

①登録を押します。新規登録か、上書き登録か確認してきます。



実行

レイアウトを登録します	
新規	上書き



上書きの場合は、同じレイアウト番号で登録します。

②新規の場合は、3桁のレイアウト番号を入力します。

数字キー   
(001～100までの数字)

新規に登録します  
番号を入力して下さい  
番号 = 番

番号が未使用の場合は、その番号に登録し、④番に進みます。

**メモ** レイアウト番号に「000」を指定すると、機械が自動で番号を割り付けます。

③指定したレイアウト番号がすでに登録済みの場合は、次のメッセージを出します。  
もう一度番号を入力するか、または指定した番号に上書きするかを確認します。

x x x 番は既に登録されています  
上書きしますか  
はい   
元のデータは削除されます

④レイアウト番号が確定したら、ファイル名の入力画面になります。  
レイアウトを選択するときにより便利ように入力します。入力できる文字数は、7文字です。

ファイル名の入力

ファイル名を入力して下さい  
確定：【                          】  
         【                          】  
ヒラガナ

**メモ** ◇用紙サイズ毎に最大100枚のレイアウトを登録することができます。  
◇全ての用紙サイズ毎の合計は600レイアウトです。

第 V 章	付 録
-------	-----

■異常時の診断	2頁
■エラー表示	2頁
■JISコード表の見方	6頁
■製品仕様	6頁
■ローマ字入力規則表	7頁
■文字一覧	
・記号カタカナ他	8頁
・JIS第一水準	10頁
・JIS第二水準	17頁
・マックス厳選外字（変体かな）	28頁
・マックス厳選外字 （標準書体及びNW行書体のみ使用可能です）	29頁
・厳選漢字部首別索引	33頁
・マックス専用熟語	51頁
■短冊ガイド取扱説明	52頁



## ■異常時の診断

症 状	原 因	対 策
電源が入らない。 (電源スイッチを入れても、画面になにも変化が無い。)	①電源コードが抜けている または緩んでいる。  ②電源コンセントに電気が きていない。  ③電源コードが断線している。	①本機の電源スイッチをOFFにして、 電源コードをインレットと電源コンセ ントに確実に差し込んでください。  ②別の電気器具と差し替えて確かめてく ださい。コンセントに電気がきていな い場合は、他のコンセントに差し替え てください。  ③新しい電源コードを使用してください 断線している電源コードは、他の電気 器具にも絶対に使用しないでください
画面が白く、表示され ている文字が見えない	LCDの明るさ調整が明る くなりすぎている。	・「諸設定—画面の明るさ」で適正に調整 してください。
画面が黒く、表示して いる文字が見えない	LCDの明るさ調整が濃く なりすぎている。	・「諸設定—画面の明るさ」で適正に調整 してください。
用紙にしわが入る	用紙が蛇行し正常に給しされて いません。	・用紙を取り出し縁を揃えて、セットし直 して下さい。
用紙の淵にインク汚れがつく	プリンタヘッド走行部にイン クが付着している。	・プリンタカバーを開け、ヘッド走行部に 付着したインクを綿棒でクリーニング して下さい。

## ■エラー表示

エラー表示	原因と対応
メモリ容量一杯です。	原因：登録できるメモリが不足しています。 対応：不要なレイアウトを削除してから登録をして ください。
用紙の登録が出来ません。	原因：用紙を登録するメモリが不足しています。 対応：不要なレイアウトを削除してから登録してく ださい。

エラー表示	原因と対応
一つの文字枠に対する入力文字数が制限を越えました。	<p>原因：一つの文字枠に入力できる文字数の制限を越えた</p> <p>対応：文字数を、制限の40文字以内に変更してください。</p> <p>※文字枠の大きさにより制限以内でも印字できない事があります。</p>
レイアウトパターンに設定できる文字枠の数が、制限を越えました。	<p>原因：一枚のレイアウトパターンに登録できる文字枠は16枠までです。</p> <p>対応：文字枠を制限以内になるようにしてください</p>
レイアウトパターンに登録できる合計文字数が制限を越えました。	<p>原因：一枚のレイアウトパターンに登録できる合計文字数は128文字までです。</p> <p>対応：文字数を少なくしてください。</p>
文字が入力されていません。	<p>原因：現在のレイアウトに文字が入力されていない状態で、印字をしようとスタートを押した。</p> <p>対応：文字を入力してから印字してください。</p>
書体データがありません。 書体パックを接続してください	<p>原因：文字枠に設定された、書体に対する書体パックが装着されていない。</p> <p>対応：書体パックを正しく装着してください。</p>
書体データエラー	<p>原因：書体のデータが正しく読み取れない。</p> <p>対応：電源を切って、書体パックを再度接続し直してください。それでも発生する場合は、お買い上げ販売店にご相談ください。</p>
印刷データの無い文字が入力されています。	<p>原因：選択された書体に、搭載されていない文字が入力されたレイアウトを、印字しようとした。</p> <p>対応：現在お使いの書体で使用できる文字を、確認して下さい。</p> <p>書体により入っている文字に違いがあります。</p>
枠に文字が入りません 文字を削除するか設定を変更して下さい	<p>原因：文字枠の大きさに対し、入力された文字数が多すぎます。または、字・変形が指定になっている。</p> <p>対応：文字枠の大きさを変更するか、文字数を少なくして下さい。</p> <p>原因：枠に対しての文字作画方向が間違えています。</p> <p>対応：枠が点滅している状態で縦横設定を確認して下さい</p>
本体内蔵の電池不足です。	<p>原因：お客様のデータを保存するための、基板に取り付けられた電池が消耗しています。</p> <p>対応：お買い上げの販売店に至急ご連絡ください。</p> <p>※機械内部はサービスマン以外は開けないでください。</p>

エラー表示	原因と対応
<p>指定された書体には 文字データがありません</p>	<p>2通りの原因が考えられます。</p> <p>原因1：ポップレイアウト中のタイトル文字が 入力されている枠の書体設定を実行して います。</p> <p>対応：<b>シフト</b> + <b>用紙</b>を押して、ポップレイアウト の設定と入力を再度行ってください。</p> <p>※タイトル文字枠の書体設定を開いた時、<b>取消</b> を押すことで上記のエラーを防ぐことができ ます。</p> <p>原因2：選択した書体に搭載されていない文字データ を入力しています。</p> <p>対応：書体により入っている文字に違いがあります。 現在お使いの書体で使用できる文字を確認して ください。</p> <p>※取扱説明書の付録「漢字コード表」をご覧ください。</p>



## ■ J I Sコード表の見方

マックス厳選漢字及びJ I Sコード入力の際には、J I Sコード表により必要な文字、または記号を確認し、コードの入力を行ってください。

※J I Sコード入力は、第二章を参照ください。

①コードは16進数で表現されています。

例えば、「亜」のコードはシフトJ I Sで8890+F=889Fとなります。

②漢字の並び順

- ・ J I S第一水準漢字は、音読みの「あいうえお順」に区別して記載されています。
- ・ J I S第二水準漢字は、部首別に区別して記載されています。
- ・ マックス厳選漢字は、部首別に記載されています。

③マックス厳選漢字の使用できる書体は、以下の通りです。

- ・ のし紙楷書体（標準書体）
- ・ のし紙行書体

※書体バックでは使用できません。

## ■ 製品仕様

製品名	NW-120
キーボード	かな : 50音順よこ配列 英数 : J I S準拠 88キー
ディスプレイ	LCD方式 64dot×240dot
登録レイアウト	20用紙×100レイアウト(最大600個)
登録用紙種類	12種類
使用可能フォント	のし紙楷書体(標準書体) 太角ゴシック体 のし紙行書体 細角ゴシック体 太明朝体 細丸ゴシック体 細角ゴシック体 ポップ書体 ロゴデータ(スキャナーデータ)
使用環境	温度 : 10~35℃ 湿度 : 35~80% 但し結露なきこと
電源	AC100V±10% 50/60Hz
消費電力	15W
外形寸法	320W×210D×100H (mm)
重量	約1.6Kg

# ローマ字入力規則表

あ	あ	い	う	え	お	ら	ら	り	る	れ	ろ
	A	I	U	E	O		RA	RI	RU	RE	RO
か	あ	い	う	え	お	わ	りゃ	りい	りゅ	りえ	りよ
	LA	LI	LU	LE	LO		RYA	RYI	RYU	RYE	RYO
か	か	き	く	け	こ	が	わ	うい	う	うえ	を
	KA	KI	KU	KE	KO		WA	WI	WU	WE	WO
さ	きゃ	きい	きゅ	きえ	きよ	ざ	ん	ん			
	KYA	KYI	KYU	KYE	KYO		NN	N			
さ	さ	し	す	せ	そ	が	が	ぎ	ぐ	げ	ご
	SA	SI	SU	SE	SO		GA	GI	GU	GE	GO
た	しゃ	しい	しゅ	しえ	しよ	ざ	ぎゃ	ぎい	ぎゅ	ぎえ	ぎよ
	SYA	SYI	SYU	SYE	SYO		GYA	GYI	GYU	GYE	GYO
た	SHA		SHU	SHE	SHO	だ	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
	TA	TI	TU	TE	TO		ZA	ZI	ZU	ZE	ZO
な	っ					だ		じ			
	LTU						JYA	JYI	JYU	JYE	JYO
な	ちゃ	ちい	ちゅ	ちえ	ちよ	だ	ZYA	ZYI	ZYU	ZYE	ZYO
	TYA	TYI	TYU	TYE	TYO		JA		JU	JE	JO
な	CYA	CYI	CYU	CYE	CYO	だ	だ	ぢ	づ	で	ど
	CHA		CHU	CHE	CHO		DA	DI	DU	DE	DO
は	てゃ	てい	てゅ	てえ	てよ	だ	ぢゃ	ぢい	ぢゅ	ぢえ	ぢよ
	THA	THI	THU	THE	THO		DYA	DYI	DYU	DYE	DYO
は	な	に	ぬ	ね	の	ば	でゃ	でい	でゅ	でえ	でよ
	NA	NI	NU	NE	NO		DHA	DHI	DHU	DHE	DHO
は	にゃ	にい	にゅ	にえ	によ	ば	ば	び	ぶ	べ	ぼ
	NYA	NYI	NYU	NYE	NYO		BA	BI	BU	BE	BO
は	は	ひ	ふ	へ	ほ	ば	びゃ	びい	びゅ	びえ	びよ
	HA	HI	HU	HE	HO		BYA	BYI	BYU	BYE	BYO
ま			ふ			ば					
			FU				PA	PI	PU	PE	PO
ま	ひゃ	ひい	ひゅ	ひえ	ひよ	ば	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ
	HYA	HYI	HYU	HYE	HYO		PA	PI	PU	PE	PO
や	ふぁ	ふい		ふえ	ふお	ば					
	FA	FI		FE	FO						
ま	ま	み	む	め	も	ば					
	MA	MI	MU	ME	MO						
や	みゃ	みい	みゅ	みえ	みよ	ば					
	MYA	MYI	MYU	MYE	MYO						
や	や	い	ゆ		よ	ば					
	YA	YI	YU		YO						
や	ゃ	い	ゆ	え	よ	ば					
	LYA	LYI	LYU	LYE	LYO						

※Nに続けて子音を入力すると、「ん」になります。  
 ※子音を2つ続けて入力すると、「っ」になります。

《記号・ひらがな・カタカナ・アルファベット》

	コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
記号	814		、	。、	、	、	、	、	、	?	!	、	。	、	、	、	、
	815	—	—	、	、	、	、	、	、	々	メ	、	—	—	—	／	＼
	816	～			…	…	、	、	、	”	(	)	[	]	[	]	{
	817	}	<	>	《	》	「	」	『	』	【	】	+	—	±	×	¥
	818	÷	=	≠	<	>	≦	≧	∞	∴	♂	♀	。	、	”	℃	¥
	819	\$	¢	£	%	#	&	*	@	§	☆	★	○	●	◎	◇	◆
	81A	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	=			
英・数字	824																0
	825	1	2	3	4	5	6	7	8	9							
	826	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
	827	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z						
	828	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p
	829	q	r	s		u	v	w	x	y	z						
ひらがな	829																ぁ
	82A	あ	い	い	う	う	え	え	お	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	ぁ
	82B	げ	こ	ご	ざ	ざ	して	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た	だ	ち
	82C	ぢ	っ	っ	ぶ	ぶ	て	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ば
	82D	ひ	び	び	ふ	ふ	て	へ	べ	な	ほ	ぼ	ぼ	ま	み	む	め
	82E	も	ゃ	ゃ	ゅ	ゅ	よ	よ	ら	べ	る	れ	ろ	わ	わ	ゐ	ゑ
	82F	を	ん														
カタカナ	834	ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ
	835	ヶ	ゲ	ィ	ゴ	ッ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ	ダ
	836	チ	ヂ	ッ	ツ	フ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ
	837	バ	ビ	ビ	ビ	フ	ブ	ブ	ヘ	ベ	ベ	ホ	ボ	ボ	マ	ミ	ワ
	838	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ユ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ッ	
	839	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヱ	ケ									
ギリシヤ	839																A
	83A	B	Γ	Δ	E	Z	H	Θ	I	K	Λ	M	N	Ξ	O	Π	P
	83B	Σ	T	T	Φ	X	Ψ	Ω	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	α
	83C	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
	83D	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω									
ロシア	844	A	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О
	845	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э	Ю
	846	Я															
	847	a	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н	
	848	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
	849	ю	я														
※上記の書体はサンプル書体であり標準書体とは異なります。																	
	コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

《記号・ひらがな・カタカナ・アルファベット》

	コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	
特殊文字	874	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	
	875	⑰	⑱	⑲	⑳													
	875					I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X			
	876																	
	877																	
	878						㊤	㊦	㊨	㊩	㊪	㊫	㊬	㊭	代	聯	職	職
	879	≡	≡	∫			√	⊥	∠				∴	∩	U			
	F9C																	
	F9D	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八
	F9E	類	(社)	(財)	(資)	(名)												
変体かな	F79																	
	F7A	修	尤	ハ	名	子	万	以	尔	得	木	魚	冬	冬	冬	利	以	
	F7B	ぬ	累	味	名	新	茂	を	且	和	采	可	冬	冬	冬	冬	冬	冬
	F7C	禮	進	ろ	名	新	茂	を	且	和	采	可	冬	冬	冬	冬	冬	冬
	F7D	堂	字	井	乃	北	能	於	之	阿	久	皇	屋	可	冬	冬	冬	冬
	F7E	鳩	未	江	志	市	舌	之	阿	阿	久	皇	屋	可	冬	冬	冬	冬
	F7F	免	み	と	志	一	志	飛	志	志	志	志	志	志	志	志	志	志
<p>注意 太枠線で囲まれた”括弧文字”と”変体かな”は標準書体に搭載されています。</p>																		
<p>反転表示させている文字は下記の書体に搭載されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①標準搭載書体</li> <li>②NW-LF202:のし紙行書体</li> </ul> <p>※上記の書体はサンプル書体であり標準書体とは異なります。</p>																		
	コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	



《JIS第1水準》

	コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
あ	889																
	88A	唾	娃	阿	哀	愛	挨	始	逢	葵	茜	穉	惡	握	渥	旭	亜
	88B	芦	鯁	梓	庄	幹	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或	粟	葦
	88C	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏								
い	88C									以	伊	位	依	偉	冏	夷	委
	88D	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃	菱	衣
	88E	謂	違	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	耆	溢	逸	稻	茨
	88F	芋	鱒	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭			
	894	院	陰	隱	韻	吋											
う	894						右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓
	895	臼	渦	嘘	唄	鬱	蔚	鰻	姥	廐	浦	瓜	閏	噂	云	運	雲
え	896	桂	餌	叡	管	嬰	影	映	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	穎
	897	英	衛	詠	銳	液	疫	益	馭	悦	謁	越	閔	榎	厭	円	
	898	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焰	煙	燕	猿	縁
	899	艶	苑	蘭	遠	鉛	鴛	塩									
お	899								於	汚	甥	凹	央	奥	往	応	押
	89A	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鶯	鷗	黄	岡	冲	荻	億	屋	憶
	89B	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	温	穩	音						
か	89B											下	化	仮	何	伽	価
	89C	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
	89D	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨	迦	過
	89E	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕	介	会
	89F	解	回	塊	壞	迴	快	怪	悔	恢	懷	戒	拐	改			
	8A4	魁	晦	械	海	灰	界	皆	繪	芥	蟹	開	階	貝	凱	効	外
	8A5	咳	害	崖	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	開	骸	淫	馨	蛙	垣
	8A6	柿	蛭	鉤	劃	嚇	各	廓	拈	攬	格	核	骸	獲	確	穫	覚
	8A7	角	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	榮	額	殼	掛	笠	榨	鯉
	8A8	櫃	梶	鞆	瀉	割	喝	恰	括	岳	渴	滑	葛	柵	筥	且	鯉
	8A9	叶	栴	樺	鞆	株	兜	寒	蒲	活	鎌	滑	鴨	柵	轄	萱	粥
	8AA	刈	苳	瓦	乾	侃	冠	憾	刊	釜	勸	卷	喚	柵	茅	完	官
	8AB	寬	干	幹	患	侃	慣	竿	換	勘	勸	桓	棺	款	姦	汗	漢
	8AC	澗	灌	環	甘	感	看	関	管	敢	柑	缶	翰	肝	歛	莞	覩
8AD	諫	貫	還	鑑	間	閑	頑	陥	簡	緩	館	丸	含	艦	巖	玩	
8AE	瘧	眼	岩	翫	贖	雁	顔	願	願								
き	8AE										企	伎	危	喜	器	基	奇
	8AF	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄	貴	起	軌
	8B4	機	婦	毅	氣	汽	畿	祈	季	稀	紀	徽	規	記			
	コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

《JIS第1水準》

	コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	
き	8B5	輝	飢	騎	鬼	龜	偽	儀	妓	宜	戲	技	擬	欺	犧	疑	祇	
	8B6	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	
	8B7	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救	居	
	8B8	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居	
	8B9	巨	拒	扱	拳	渠	虚	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	享	京	供	
	8BA	俠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	脚	叫	喬	境	峽	強	疆	怯	響
	8BB	恐	恭	挾	教	橋	況	狂	狹	矯	胸	喬	興	蕎	鄉	鏡	均	近
	8BC	饗	驚	仰	凝	堯	曉	業	局	曲	極	齋	桐	糝	僅	勤		
	8BD	饗	錦	斤	欣	堯	琴	禁	禽	筋	緊	玉	菌	糝	襟	謹		
	8BE	金	吟	銀	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	芹	菌	糝	襟	謹		
<	8BE				九	俱	句	区	狗	玖	矩	苦	軀	驅	駟	駒	具	
	8BF	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧	屑	屈	勳	君	薰	
	8C4	掘	窟	杳	靴	轡	窪	熊	隈	糸	栗	線	桑	歛				
	8C5	訓	群	軍	郡													
け	8C5					卦	袈	袂	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型	契	
	8C6	形	徑	惠	慶	慧	憩	揭	携	敬	景	桂	溪	畦	稽	系	經	
	8C7	繼	繫	野	莖	荊	蚩	計	詣	警	輕	頸	鷄	芸	迎	鯨	件	
	8C8	劇	戟	擊	激	荆	衍	傑	欠	決	潔	穴	結	芸	訣	月	檢	
	8C9	儉	倦	健	兼	隙	劍	喧	圈	堅	嫌	建	憲	血	拳	捲	險	
	8CA	權	牽	犬	猷	券	硯	絹	鼎	肩	見	謙	賢	懸	遣	鍵	諺	
	8CB	顯	牽	犬	猷	券	硯	絹	鼎	減	源	玄	現	軒	言			
	8CC	限	驗	鯁	元	原	嚴	幻	弦					絃				
こ	8CC		乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐	
	8CD	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇	顧	鼓	五	互	伍	午	
	8CE	吳	吾	娛	後	御	悟	梧	檣	瑚	碁	語	誤	護	齧	乞	鯉	
	8CF	交	倭	侯	候	倭	光	公	功	効	碁	厚	口	向				
	8D4	后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	勾	巷	幸	広	庚	康	弘	
	8D5	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	巧	校	梗	構	江	洪	浩	
	8D6	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	紘	杭	綱	耕	考	肯	肱	腔	
	8D7	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	絞	鈇	砧	鋼	閤	降	刻	
	8D8	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	酵	濠	恸	轟	克	此	良	
	8D9	告	国	穀	酷	剛	黑	獄	漉	腰	甑	忽	梱	骨	込	良		
	8DA	頃	今	困	坤	壑	婚	恨	懇	昏	昆	根		混	紺			
	8DB	魂	今	困	坤	壑	婚	恨	懇	昏	昆	根		混	紺			
さ	8DB		些	佐	又	唆	嗟	左	差	查	沙	瑳	砂	詐	鎖	裝	坐	
	8DC	座	挫	債	催	再	最	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歲	濟	
	8DD	災	采	犀	碎	砦	祭	齋	細	菜	裁	載	際	劑	在	材	罪	
	コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	

《JIS第1水準》

	コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
さ	8DE	財	冴	坂	阪	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削	昨	搾
	8DF	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜	鮭	笹	匙	冊	刷			
	8E4	察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雜	阜	鯖	捌	鏽	鮫	皿	晒	三
	8E5	傘	参	撮	擦	撒	散	棧	燦	珊	産	算	纂	蚕	讀	贊	酸
	8E6	餐	斬	暫	残												
し	8E6					仕	仔	伺	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉
	8E7	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	施	旨	枝	止	誌
	8E8	死	氏	獅	社	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	次
	8E9	諮	資	賜	雌	飼	齒	事	似	侍	児	字	寺	慈	持	時	識
	8EA	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蔣	辞	汐	鹿	式	質
	8EB	鳴	竺	軸	穴	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉	湿	漆	疾	煮
	8EC	実	菰	篠	偲	柴	芝	屢	蕊	緇	舍	写	射	捨	赦	斜	积
	8ED	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	尺	杓	灼	爵	酌	趣
	8EE	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種	腫	衆
	8EF	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	緞	需	囚	収	周	舟	菟	柔
	8F4	宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繡	習	臭	從	戎	出
	8F5	襲	警	蹴	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十	塾	熟	緒
	8F6	汁	涉	獸	峻	重	銃	叔	夔	宿	淑	祝	旬	肅	殉	淳	勝
	8F7	術	述	俊	純	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	暑	楯	渚	庶	庄
	8F8	準	潤	盾	諸	巡	遵	醇	順	処	初	所	鋤	曙	傷	償	樵
	8F9	署	書	薯	哨	諸	助	叙	女	序	徐	怨	將	除	少	尚	粧
	8FA	匠	升	召	承	商	唱	嘗	捷	妾	娼	宵	晶	小	梢	樟	鍾
	8FB	床	廠	彰	湘	抄	招	掌	症	昇	昌	昭	祥	松	章	笑	擾
	8FC	沼	消	涉	蔣	燒	焦	照	訟	省	硝	礁	象	称	醬	鉦	侵
	8FD	紹	肖	萑	上	蕉	衝	裳	冗	証	詔	詳	壤	賞	常	情	真
8FE	鐘	障	鞘	狀	丈	丞	乘	讓	剩	城	場	壇	嬢	伸	刃	唇	
8FF	条	杖	淨	燭	暈	穰	蒸	觸	釀	錠	囑	尻	飾	申	侵	神	
904	拭	植	殖	心	織	職	色	晋	食	蝕	辱	深	伸	仁	真	塵	
905	娠	寢	審	芯	慎	振	新	身	森	榛	浸	震	人	疹	刃		
906	秦	紳	臣	尽	薪	親	診	陣	辛	進	針						
907	壬	尋	甚		腎	訊	迅		靱								
す	907										筍	諏	須	酢	厨		
	908	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粹	翠	衰	遂	醉	錘	隨	
	909	瑞	髓	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉	榻	菅	頗	錘	澄	
	90A	摺	寸														
せ	90A			世	瀬	畝	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	政	整	星
	90B	晴	棲	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠	誓	請
	コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

## 《JIS第1水準》

	コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	
せ	90C	逝	醒	青	静	齐	税	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積	
	90D	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	擐	折	設	窃	節	
	90E	説	雪	絶	舌	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦	扇	撰	
	90F	栓	梅	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線				
	914	織	羨	腺	舛	船	薦	詮	賤	踐	選	遷	錢	銑	閃	鮮	前	
	915	善	漸	然	全	禪	繕	膳	糰									
そ	915									噌	塑	岨	措	曾	曾	楚	狙	
	916	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	
	917	叢	倉	喪	壯	奏	爽	宋	層	匝	忽	想	搜	掃	挿	搔	聰	
	918	操	早	曹	巢	檜	槽	漕	燥	争	瘦	相	窓	糟	総	綜	臟	
	919	草	莊	葬	蒼	檜	装	走	送	遭	鎗	霜	騷	像	増	憎	賊	
	91A	葳	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗	属		
	91B	族	統	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜					
た	91B													他	多	太	汰	
	91C	詫	唾	墮	妥	惰	打	舵	梢	陀	馱	驛	苔	体	堆	対	耐	
	91D	岱	帶	待	怠	態	戴	替	泰	滯	胎	腿	瀆	袋	貸	退	逮	
	91E	隊	黛	鯛	代	台	大	第	醍	題	鷹	滝	蛸	卓	啄	宅	托	
	91F	扱	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	峯	狸	只				
	924	叩	但	達	辰	奪	脱	異	豎	迪	棚	谷	短	罾	樽	誰	丹	
	925	单	嘆	坦	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	谷	端	罾	綻	耽	胆	
	926	蛋	誕	鍛	団	壇	彈	断	暖	檀	段	短	談					
ち	926													值	知	地	弛	
	927	恥	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遲	馳	築	畜	竹	筑	蓄	衷	
	928	逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	帖	
	929	註	耐	鑄	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯	丁	兆	凋	喋	寵	張	
	92A	帳	疔	弔	張	彫	徵	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺	聽	珍	
	92B	腸	蝶	調	謀	超	跳	鈔	長	頂	鳥	勅	抄	直	朕	沈		
	92C	賃	鎮	陳														
つ	92C				津	墜	椎	槌	追	鎚	痛	通	塚	拇	搦	槻	佃	
	92D	漬	柘	辻	蔦	綴	鏢	椿	潰	坪	壺	孀	紬	爪	吊	釣	鶴	
	92E	亭	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟	梯	抵	
	92F	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	遞				
	934	邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	的	笛	適	鎬	溺	哲	徹	
	935	撤	轍	迭	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	転	顛	点	
936	伝	殿	澱	田	電													
と	936						兔	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	
	937	菟	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴	怒	倒	党	冬		
	コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	

《JIS第1水準》

	コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
と	938	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梔	棟
	939	盜	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	禱	等	答	筒	糖	統	到	董
	93A	蕩	藤	討	膳	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	鬪	働	動	同
	93B	堂	導	懂	撞	洞	瞳	童	胴	苟	道	銅	峠	鬪	匿	得	徳
	93C	澆	特	督	禿	篤	毒	独	読	朽	橡	凸	突	楸	届	鳶	苦
	93D	寅	酉	瀕	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁	頓	吞	曇	鈍		
な	93D															奈	那
	93E	内	乍	凧	薙	謎	灘	捺	鍋	槽	馴	縄	啜	南	楠	軟	難
	93F	汝															
に	93F		二	尼	弍	迤	匂	賑	肉	虹	廿	日	乳	入			
	944	如	尿	菲	任	妊	忍	認									
ぬ	944								濡								
ね	944									襦	衤	寧	葱	猫	熱	年	念
	945	捻	撚	燃	粘												
の	945					乃	迺	之	埜	囊	惱	濃	納	能	腦	膿	農
	946	覗	蚤														
は	946			巴	把	播	霸	杷	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳
	947	庖	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	倍	培	媒	梅	拍
	948	椽	煤	狽	買	壳	賠	陪	遣	蠅	秤	矧	菽	伯	剥	博	拍
	949	柏	泊	狽	買	壳	賠	陪	迫	曝	漠	矧	菽	莫	駁	麦	函
	94A	箱	裕	筭	箔	粕	舶	簿	迫	畑	阜	爆	縛	澆	駁	醜	髮
	94B	伐	罰	筭	箴	筭	櫨	幡	肌	蛤	阜	八	鉢	半	駁	醜	帆
	94C	搬	罰	拔	箴	閥	鳩	嘶	墻	蚌	隼	伴	判	販	駁	叛	煩
	94D	頒	飯	挽	汎	汎	版	犯	班	蛭	繁	般	藩				
ひ	94D										匪	卑	否	妃	庇	彼	悲
	94E	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被	誹	費
	94F	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微	枇	昆	琵琶	眉	美			
	954	鼻	柎	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱	肘	弼	必	畢	筆	逼	松
	955	姫	媛	紐	百	謬	俵	彪	標	水	漂	瓢	票	表	評	豹	廟
	956	描	病	秒	苗	錨	鋌	蒜	蛭	鱈	品	瓢	斌	浜	瀕	貧	寶
	957	頻	敏	瓶								彬					
ふ	957				不	付	埠	夫	婦	富	富	布	府	怖	扶	敷	撫
	958	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	福
	959	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葦	落	伏	副	復	幅	服	扮
	95A	腹	複	覆	淵	弗	扌	沸	仏	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	
	95B	焚	奮	粉	糞	紛	秀	文	聞								
へ	95B									丙	併	兵	塀	幣	平	弊	柄
	コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

## 《JIS第1水準》

	コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
へ	95C	並	蔽	閉	陛	米	頁	僻	壁	癖	碧	別	警	蔑	篋	偏	變
	95D	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	婉	弁	鞭					
ほ	95D												保	舖	鋪	圃	捕
	95E	步	甫	補	輔	穗	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣	俸	包
	95F	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋			
	964	法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽
	965	鳳	鵬	乏	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某	棒
	966	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	妨	防	吠	頰	北	僕	卜	墨	撲
	967	朴	牧	睦	穆	釦	勃	沒	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆	
ま	968	摩	磨	魔	麻	埋	妹	昧	枚	每	哩	楨	幕	膜	枕	鮪	枉
	969	鱒	榘	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	俛	繭	磨	万	慢	滿	漫
	96A	蔓															
み	96A		味	未	魅	巳	箕	岬	密	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	耗	民
	96B	眠															
む	96B		務	夢	無	牟	矛	霧	鷓	棕	婿	娘					
め	96B												冥	名	命	明	盟
	96C	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	棉	綿	緬	面	麵				
も	96C													摸	模	茂	妄
	96D	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	默	目	杳	勿	餅	尤	戾
	96E	粉	貫	問	悶	紋	門	匆									
や	96E								也	冶	夜	爺	耶	野	弥	矢	厄
	96F	役	約	藥	訳	躍	靖	柳	藪	鑪							
ゆ	96F										愉	愈	油	癒			
	974	諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌
	975	猶	猷	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕				
よ	975													予	余	与	誉
	976	輿	預	傭	幼	妖	容	庸	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔
	977	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遙	陽	養	慾	抑	欲	
	978	沃	浴	翌	翼	淀											
ら	978						羅	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
	979	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧								
り	979									利	吏	履	李	梨	理	璃	痢
	97A	裏	裡	里	離	陸	律	率	立	葦	掠	略	劉	流	溜	琉	留
	97B	硫	粒	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚	兩	凌	寮	料
	97C	梁	涼	獵	療	瞭	稜	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	綠	倫
	97D	厘	林	淋	隣	琳	稜	輪	隣	鱗	麟						
る	97D										瑠	昱	涙	累	類		
	コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

《JIS第1水準》

	コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
れ	97D																
	97E	伶	例	冷	励	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隸	零	靈	麗	齡	令
	97F	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐	漣	煉	簾	練	聯			
	984	蓮	連	鍊													
ろ	984				呂	魯	櫓	炉	路	路	露	勞	婁	廊	弄	朗	楼
	985	榔	浪	漏	牢	狼	箆	老	聾	蠟	郎	六	麓	禄	肋	録	論
わ	986	倭	和	話	歪	賄	脇	惑	杵	鷺	瓦	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀
	987	湾	碗	腕													
	コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

《JIS第2水準》

部首	コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
一	98 9 98 A	丂 丕												式			
丨	98 A	个 卯															
丶	98 A					、 井											
丿	98 A					丿 乂				乖 乘							
乙	98 A									亂							
丩	98 A									丩				豫 事 舒			
二	98 A 98 B	于 亞 亟												式			
亠	98 B	亠				亢 京 毫 亶											
人	98 B 98 C 98 D 98 E 98 F 99 4 99 5	仟	价	伉	佚	估	佛	佝	佗	从	仍	仄	仆	仉	仗	仉	伉
		侑	伴	來	侖	儘	俛	俟	俎	佇	信	侈	侏	侏	侏	侏	侏
		侏	偁	侏	侏	侏	侏	侏	侏	侏	侏	侏	侏	侏	侏	侏	侏
		會	偁	侏	侏	侏	侏	侏	侏	侏	侏	侏	侏	侏	侏	侏	侏
		僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉
		僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉
儿	99 5									儿 兀 兒 兌				兔 兢 競			
入	99 5 99 6	兪												兩			
八	99 6	兮 冀															
冂	99 6	冂				冂 册 冉 冂				冂 冂 冂							
冂	99 6 99 7	冂								冂				冂 冂 冂 冂			
冂	99 7	冂 决 冂				冂 冰 冂 冂				冂 凉 冂							
几	99 7 99 8	几								几				几 几 几			
凵	99 8	凵 凵															
刀	99 8 99 9	刀 剗 剪 剗				刀 剗 剗 剗				刀 剗 剗 剗				刀 剗 剗 剗			
力	99 A	勹 劦 劦 劦				勹 勹 勹 勹				勹 勹 勹 勹				勹 勹 勹 勹			
勹	99 A 99 B	勹 勹 勹 勹				勹 勹											
匕	99 B					匕											
匚	99 B					匚				匚 匚 匚 匚							
匚	99 B													匚 區			
十	99 B													十 卅			



《JIS第2水準》

部首	コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	
十	99C	卅	卉	卮	準													
卜	99C					卞												
卩	99C					卩	卮	卮		卻	卷							
厂	99C 99D											厂	彪	厠	厦	厥	厮	
厶	99D		厶	參	纂													
又	99D					雙	叟	曼	變									
口	99D									叮	叻	叭	叭	吁	吡	呀	听	
	99E	吭	吼	吮	呐	吩	吝	呖	咏	呵	咎	呖	呱	吁	吡	呀	听	
	99F	咀	嗽	咄	咐	咆	吝	呖	咏	呵	咎	呖	呱	吁	吡	呀	听	
	9A4	咫	晒	咤	咤	高	眈	哥	哦	唏	咬	哽	哈	哭	哺	哧	啞	
	9A5	哇	啣	啞	售	啜	啜	啜	啜	啜	啜	啜	啜	啜	啜	啜	啜	
	9A6	啣	啣	啣	啣	啣	啣	啣	啣	啣	啣	啣	啣	啣	啣	啣	啣	啣
	9A7	啣	啣	啣	啣	啣	啣	啣	啣	啣	啣	啣	啣	啣	啣	啣	啣	啣
	9A8	啣	啣	啣	啣	啣	啣	啣	啣	啣	啣	啣	啣	啣	啣	啣	啣	啣
	9A9	啣	啣	啣	啣	啣	啣	啣	啣	啣	啣	啣	啣	啣	啣	啣	啣	啣
口	9A9									口	囀	囀	囀	囀	囀	囀	囀	
	9AA	國	圍	圓	團	圖	喬	園										
土	9AA								圪	坏	址	坎	圪	址	坏	圪	垂	
	9AB	垠	坡	圪	圪	垠	垠	垠	垠	垠	垠	垠	垠	垠	垠	垠	垠	
	9AC	垠	垠	垠	垠	垠	垠	垠	垠	垠	垠	垠	垠	垠	垠	垠	垠	
	9AD	垠	垠	垠	垠	垠	垠	垠	垠	垠	垠	垠	垠	垠	垠	垠	垠	
	9AE	壘																
士	9AE		壯	壺	壹	壺	壺	壽										
夕	9AE							夕										
夕	9AE								夕	夂								
大	9AE														夂	天	夂	
	9AF	夸	夾	奇	奕	奂	奎	奚	奘	奢	奂	奧	奘	奘				
女	9B4	奸	妁	妝	佞	佞	妘	姐	姆	姨	姜	妍	姪	姚	娥	娟	娑	
	9B5	娜	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	
	9B6	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	
	9B7	嫵	嫵	嫵	嫵	嫵	嫵	嫵	嫵	嫵	嫵	嫵	嫵	嫵	嫵	嫵	嫵	
子	9B7		子	孕	孕	孛	孛	孩	孰	孛	孛	學	孛	孛				
宀	9B7															宀		
	9B8	它	宀	宸	寃	寇	宀	寃	寐	寤	實	寢	寢	寥	寫	寢	寶	
	9B9	寶																
部首	コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	

《JIS第2水準》

部首	コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
寸	9B9		尅	將	專	對											
小	9B9						尔	尠									
尢	9B9								尢	尠							
尸	9B9									尸	尹	屈		届	屎	屣	屣
	9BA	屏	屣	屬													
山	9BA				山												
山	9BA					屮	峒	屹	岌	岑	岔	岌	岫	岷	岫	岫	岷
	9BB	岷	岫	岫	岫	岫	岫	岫	岫	岫	岫	岫	岫	岫	岫	岫	岫
	9BC	岫	岫	岫	岫	岫	岫	岫	岫	岫	岫	岫	岫	岫	岫	岫	岫
	9BD	岫	岫	岫	岫	岫	岫	岫	岫	岫	岫	岫	岫	岫	岫	岫	岫
《	9BD													《			
工	9BD														巫		
己	9BD																己
	9BE	卮															
巾	9BE		帟	帟	帟	帟	帟	帟	帟	幄	幃	幃	幃	幃	幃	幃	幃
	9BF	幣	幣														
干	9BF		干	并													
幺	9BF					幺	麼										
广	9BF						广	庠	庠	庠	庠	庠	庠	庠	庠	庠	庠
	9C4	廖	廣	廡	廚	廡	廢	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡
廴	9C4													廴	廴		
升	9C4																升
	9C5	弃	弃	弃	弃												
弋	9C5					弋	弋										
弓	9C5							弓	弩	弭	弭	弭	弭	弭	弭	弭	弭
彡	9C5																彡
	9C6	彡	彡	彡													
彳	9C6				彳	彳	彳	彳	彳	彳	彳	彳	彳	彳	彳	彳	彳
	9C7	彳	彳	彳	彳	彳	彳	彳	彳	彳	彳	彳	彳	彳	彳	彳	彳
心	9C7						忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖
	9C8	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖
	9C9	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖
	9CA	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖
	9CB	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖
	9CC	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖
	9CD	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖	忖

《JIS第2水準》

部首	コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	
心	9CE	惓	憮	憯	憼	應	懷	懈	勲	燥	憺	懋	穉	慄	懦	慤	懶	
	9CF	憺	憻	憼	憽	應	懷	懈	勲									
戈	9CF								戈	戍	戌	戌	戔	戛				
	9D4	戛	戔	截	戮	戰	戲	戮										
戸	9D4								扁									
手	9D4									扎	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	
	9D5	扶	找	抒	抓	抖	拔	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	
	9D6	拜	拌	拊	拂	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	
	9D7	挾	捍	搜	捏	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	
	9D8	扞	掾	措	揀	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	
	9D9	攝	搗	搗	搏	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	
	9DA	擒	擅	擇	撻	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	
	9DB	擴	擲	擺	攀	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	
支	9DB												支	攷	攷	攷	攷	
	9DC	攷	效	敖	敕	敍	敍	敍	敍	敲	數	斂	斂	攷	攷	攷	攷	
斗	9DC													斛	斛			
斤	9DC																斫	
	9DD	斷																
方	9DD		旃	旃	旁	旃	旃	旃	旃	旃								
无	9DD										无	无						
日	9DD												旱	皃	昊	昊	昊	
	9DE	杳	昵	昶	昴	易	晏	眺	晉	晁	晞	晝	晞	皃	昊	昊	昊	
	9DF	晰	晁	暈	暎	暎	暎	暎	暎	晝	晞	晝	晞	皃	昊	昊	昊	
	9E4	曄	曄	曄	曄	暎	暎	暎	暎	晝	晞	晝	晞	皃	昊	昊	昊	
日	9E4									日	曳	曷						
月	9E4												肫	肫	肫	肫	肫	
	9E5	霸																
木	9E5		朮	束	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	朮	
	9E6	杼	杪	杪	杪	杪	杪	杪	杪	杪	杪	杪	杪	杪	杪	杪	杪	
	9E7	柝	柝	柝	柝	柝	柝	柝	柝	柝	柝	柝	柝	柝	柝	柝	柝	
	9E8	梳	柝	柝	柝	柝	柝	柝	柝	柝	柝	柝	柝	柝	柝	柝	柝	
	9E9	梵	柝	柝	柝	柝	柝	柝	柝	柝	柝	柝	柝	柝	柝	柝	柝	
	9EA	棧	柝	柝	柝	柝	柝	柝	柝	柝	柝	柝	柝	柝	柝	柝	柝	柝
	9EB	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦	榦
	9EC	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟
	9ED	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷
	9EE	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷

《JIS第2水準》

部首	コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
木	9EF	橈	橢	橙	橦	橈	樸	檣	檣	櫛	檠	檠	檢	檣			
	9F4	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛
	9F5	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛
欠	9F5							欸	欸	盜	歆	飲	歆	歆	歆	歆	歆
	9F6	歆	歆	歆	歆												
止	9F6					歸											
歹	9F6						歹	歹	歹	殄	殃	殍	殘	殍	殍	殍	殍
	9F7	殍	殍	殍	殍												
殳	9F7					殳	殳	殳	殳								
母	9F7									母	毓						
毛	9F7											毳	毳	毫	毳	毳	
	9F8	毳	毳														
氏	9F8			毳													
气	9F8			气		氛	氤	氣									
水	9F8							汞		汕	汩	汪	沂	汩	汩	汩	汩
	9F9	汾	汩	汩	沒	沐	泄	洑	汞	沽	泗	汪	沂	汩	汩	汩	汩
	9FA	泛	汩	汩	沒	洑	洑	洑	洑	沽	泗	汪	沂	汩	汩	汩	汩
	9FB	涓	汩	汩	沒	洑	洑	洑	洑	沽	泗	汪	沂	汩	汩	汩	汩
	9FC	涓	汩	汩	沒	洑	洑	洑	洑	沽	泗	汪	沂	汩	汩	汩	汩
	9FD	渙	汩	汩	沒	洑	洑	洑	洑	沽	泗	汪	沂	汩	汩	汩	汩
	9FE	游	汩	汩	沒	洑	洑	洑	洑	沽	泗	汪	沂	汩	汩	汩	汩
	9FF	溟	汩	汩	沒	洑	洑	洑	洑	沽	泗	汪	沂	汩	汩	汩	汩
	E04	漾	汩	汩	沒	洑	洑	洑	洑	沽	泗	汪	沂	汩	汩	汩	汩
	E05	漚	汩	汩	沒	洑	洑	洑	洑	沽	泗	汪	沂	汩	汩	汩	汩
	E06	濮	汩	汩	沒	洑	洑	洑	洑	沽	泗	汪	沂	汩	汩	汩	汩
E07	瀾	汩	汩	沒	洑	洑	洑	洑	沽	泗	汪	沂	汩	汩	汩	汩	
火	E07					炙	炒	炯	炯	炬	炸	炳	炮	烟	焦	焦	焦
	E08	烙	焉	烽	焜	焙	煥	熙	熙	煦	煨	煨	煨	煨	煨	煨	煨
	E09	煩	熨	熬	爛	烹	熾	燒	燉	燂	燎	煨	煨	煨	煨	煨	煨
	E0A	耀	爍	爐	爛	爨											
爪	E0A					爭	爬	爰		爲							
爻	E0A										爻	俎					
片	E0A											片	牀	牆			
片	E0A														牀	牀	
牛	E0B	牴	牴	犁	犁	犇	犇	犇	犇	犇							
犬	E0B										犹	豺	狙	狙	狙	狙	狙
	E0C	狽	狼	狡	狹	狽	倏	猗	猗	猜	狙	狙	狙	狙	狙	狙	狙
部首	コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

《JIS第2水準》

部首	コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
犬	E0D	獎	獾	默	獾	獾	獨	獾	獸	獵	獻	獺					
王	E0D												珈	玳	玳	玻	珀
	E0E	珥	珮	珞	璠	琅	瑯	琬	瑀	琲	珉	瑕	玳	玳	玳	玳	玳
	E0F	瑩	瑰	瑣	瑪	瑤	瑾	璋	璞	璧	瓊	瓏	瓔	玳			
瓜	E14	瓠	瓣														
瓦	E14			甝	甝	瓮	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌
	E15	甌	甌														
甘	E15			嘗													
生	E15				甦												
用	E15					甬											
田	E15						旱	旱	旱	畊	畊	畊	畊	畊	畊	畊	畊
	E16	畫	畛	畛	當	疆	疇	疇	疊	畊	畊	畊	畊				
病	E16											疔	疔	疔	疔	疔	疔
	E17	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔
	E18	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔
	E19	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔
夂	E1A	夂	癸	發													
白	E1A				皂	皂	皂	皂	皂	皂	皂	皂	皂				
皮	E1A													皃	皃	皃	皃
	E1B	皃															
皿	E1B		盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂	盂				
目	E1B												眈	眈	眈	眈	眈
	E1C	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈
	E1D	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈
矛	E1E	矜															
矢	E1E		矣	矮													
石	E1E				砵	砵	砵	砵	砵	砵	砵	砵	砵	砵	砵	砵	砵
	E1F	碣	碣	碣	碣	碣	碣	碣	碣	碣	碣	碣	碣	碣	碣	碣	碣
	E24	碣	碣	碣	碣	碣	碣	碣	碣	碣	碣	碣	碣	碣	碣	碣	碣
示	E24											祀	祠	祇	崇	祚	祕
	E25	祓	祺	祿	禔	禔	禔	禔	禔	禮	禔						
禺	E25											禺	禺				
禾	E25													秉	秝	秝	秝
	E26	秝	秝	秝	稍	稭	稭	稭	稭	稭	稭	稭	稭	稭	稭	稭	稭
	E27	稭	稭	稭	稭	稭	稭	稭	稭	稭	稭	稭	稭	稭	稭	稭	稭
穴	E27						穹	穿	窈	窗	窈	窈	窈	窩	窈	窈	
	E28	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈	窈

《JIS第2水準》

部首	コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
立	E28								𦉳	𦉴	𦉵	𦉶	𦉷	𦉸	𦉹	𦉺	𦉻
	E29	竦	竭	嬸													
竹	E29				笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱
	E2A	笱	筍	笋	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱
	E2B	笱	筍	笋	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱
	E2C	笱	筍	笋	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱
	E2D	笱	筍	笋	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱	笱
米	E2E	粃	粃	粃	粃	粃	粃	粃	粃	粃	粃	粃	粃	粃	粃	粃	粃
	E2F	粃	粃	粃	粃	粃	粃	粃	粃	粃	粃	粃	粃	粃	粃	粃	粃
糸	E2F													紉	紉	紉	紉
	E34	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉
	E35	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉
	E36	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉
	E37	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉
	E38	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉
缶	E39														缸	缺	罇
	E3A	罇	罇	罇	罇												
网	E3A					网	罕	罔	罟	罟	罟	罟	罟	罟	罟	罟	罟
	E3B	罟	罟	罟													
羊	E3B				羴	羴	羴	羴	羴	羴	羴	羴	羴	羴	羴	羴	羴
羽	E3C	翮	翮	翮	翮	翮	翮	翮	翮	翮	翮	翮	翮				
耂	E3C													耂	耂		
耂	E3C															耂	耂
	E3D	耂	耂	耂	耂												
耳	E3D					聑	聑	聑	聑	聑	聑	聑	聑	聑	聑	聑	聑
	E3E	聑	聑	聑	聑												
聑	E3E					聑	聑	聑	聑								
肉	E3E									肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱
	E3F	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱
	E44	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱
	E45	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱
	E46	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱
臣	E46									臧							
至	E46										臺	臻					
臼	E46												臾	舛	舛	舛	舛
	E47	舛															

《JIS第2水準》

部首	コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	
舌	E47		舍	舐	舖													
舟	E47					舩	舫	舫	舫	舫	舫	舫	舫	舫	舫	舫	舫	
	E48	艦	艦	艦	艦	舫												
艮	E48						艱											
色	E48							艷										
艸	E48								艸	艾	芍	芒	芫	芟	芟	芟	芟	
	E49	苜	苟	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	
	E4A	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	
	E4B	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	
	E4C	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	
	E4D	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜
	E4E	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜
	E4F	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜
	E54	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜
	E55	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜
E56	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	苜	
虎	E56							虎	虎	虎	虎	虎	虎					
虫	E56													虱	虱	虱	虱	
	E57	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	
	E58	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	
	E59	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	
	E5A	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	
	E5B	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪
	E5C	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪	蚪
血	E5C							衄	衄									
行	E5C									衞	衞	衞	衞					
衣	E5C													衾	衾	衾	衾	
	E5D	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	
	E5E	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	
	E5F	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	
	E64	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	衾	
冫	E64							冫	冫	冫	冫							
見	E64												覓	覓	覓	覓	覓	
	E65	覓	覓	覓	覓	覓	覓	覓	覓									
角	E65							觚	觚	觚	觚	觚	觚					
言	E65									詆	詆	詆	詆					
	E66	詆	詆	詆	詆	詆	詆	詆	詆	詆	詆	詆	詆	詆	詆	詆	詆	
部首	コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	

《JIS第2水準》

部首	コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
言	E6 7	誅	誨	誠	誑	誥	誦	誦	誣	諄	諍	詔	詵	諫	諛	諧	
	E6 8	諤	諱	諛	誼	誥	誦	誦	誣	諄	諍	詔	詵	諫	諛	諧	謠
	E6 9	謳	鞠	警	謫	謾	謨	諱	諱	譏	譎	證	譖	譖	譚	譚	譚
	E6 A	警	譯	譴	譽	讀	譙	讎	讒	讓	識	謹	讚				
谷	E6 A													𪗇	𪗈	𪗉	
豆	E6 A																豈
	E6 B	豌	豎	豐													
豕	E6 B				豕	豕	豕										
豸	E6 B						豸	豸		豸	豸	豸	豸	豸	豸	豸	豸
	E6 C	豸															
貝	E6 C		賤	質	貪	貽	貲	貳	貳	貶	賈	賁	賤	賈	賈	賈	賈
	E6 D	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈	賈
赤	E6 D													赧	赧		
走	E6 D																走
	E6 E	赳	赳	赳													
足	E6 E				跂	趾	跌	跂	跂	跂	跂	跂	跂	跂	跂	跂	跂
	E6 F	跂	跂	跂	跂	跂	跂	跂	跂	跂	跂	跂	跂	跂	跂	跂	跂
	E7 4	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇
	E7 5	躅	躅	躅	躅	躅	躅	躅	躅	躅	躅	躅	躅	躅	躅	躅	躅
身	E7 5										躬	躄	躄	躄	躄	躄	躄
	E7 6	躄															
車	E7 6		軋	軋	軋	軋	軋	軋	軋	軋	軋	軋	軋	軋	軋	軋	軋
	E7 7	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻
	E7 8	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻
辛	E7 8			辜	辟	辣	辭	辯									
	E7 8									迂	迂	迂	迂	迂	迂	迂	迂
	E7 9	迂	迂	迂	迂	迂	迂	迂	迂	迂	迂	迂	迂	迂	迂	迂	迂
	E7 A	迂	迂	迂	迂	迂	迂	迂	迂	迂	迂	迂	迂	迂	迂	迂	迂
	E7 B	迂	迂	迂	迂	迂	迂	迂	迂	迂	迂	迂	迂	迂	迂	迂	迂
邑	E7 B						邨	邨	邱	邵	郢	郢	扈	郢	鄂	鄒	鄙
	E7 C	鄒	鄰														
酉	E7 C			酏	酏	醞	醞	醞	醞	醞	醞	醞	醞	醞	醞	醞	醞
	E7 D	醞	醞	醞	醞	醞	醞	醞	醞	醞	醞	醞	醞	醞	醞	醞	醞
	E7 D						糶	釋									
里	E7 D									釐							
金	E7 D										釐	釐	釐	釐	釐	釐	釐
	E7 E	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞	鈞
部首	コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F



《JIS第2水準》

部首	コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
金	E7F	銜	銖	銓	銛	鉤	鈇	銑	銑	鋳	鋳	錠	錠	銅			
	E84	銚	銜	銜	銜	鉤	鈇	銑	銑	鋳	鋳	錠	錠	銅	鎬	鎬	鎬
	E85	銜	銜	銜	銜	鉤	鈇	銑	銑	鋳	鋳	錠	錠	銅	鎬	鎬	鎬
	E86	銜	銜	銜	銜	鉤	鈇	銑	銑	鋳	鋳	錠	錠	銅	鎬	鎬	鎬
	E87	銜	銜	銜	銜	鉤	鈇	銑	銑	鋳	鋳	錠	錠	銅	鎬	鎬	鎬
門	E87									門	門	門	門	門	門	門	門
	E88	閨	閨	閨	閨	閨	閨	閨	閨	閨	閨	閨	閨	閨	閨	閨	閨
	E89	關	關	關	關	關	關	關	關	關	關	關	關	關	關	關	關
阜	E89					阡	阡	阡	阡	阡	阡	阡	阡	阡	阡	阡	阡
	E8A	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟
隶	E8A															隶	隸
隹	E8B	隹	隹	隹	隹	隹	隹	隹	隹	隹	隹	隹	隹				
雨	E8B										霰	霰	霰	霰	霰	霰	霰
	E8C	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏
青	E8C															靜	
非	E8C																靠
面	E8D	皃	皃	皃													
革	E8D				鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞
	E8E	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞
韋	E8E									韋	韋						
韭	E8E										韭	齋		齋			
音	E8E														竟	韶	韵
頁	E8F	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤	頤
	E94	頤	頤	頤													
風	E94				風	風	風	風	風	風	風						
食	E94											飩	飩	餃	餛	餛	餛
	E95	餘	餛	餛	餛	餛	餛	餛	餛	餛	餛	餛	餛	餃	餛	餛	餛
	E96	饒	饒	饒													
首	E96				馗	馗											
香	E96					馥											
馬	E96							馭	馭	馭	馭	馭	馭	馭	馭	馭	馭
	E97	駱	駱	駱	駱	駱	駱	駱	駱	駱	駱	駱	駱	駱	駱	駱	駱
	E98	駱	駱	駱	駱	駱	駱	駱	駱	駱	駱	駱	駱	駱	駱	駱	駱
骨	E98													骸	骸	骸	骸
	E99	骸	骸	骸	骸												
高	E99					髡											
髟	E99						髟	髟	髟	髟	髟	髟	髟	髟	髟	髟	髟
部首	コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

《JIS第2水準》

部首	コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
長	E9A	鬆	鬢	鬚	鬣	鬚	鬣										
門	E9A							門	闌	閨	闕	闔	闔				
鬯	E9A													鬯			
鬲	E9A													鬲			
鬼	E9A															魄	魘
	E9B	魏	魁	魎	魍	魘											
魚	E9B						魴	魷	魷	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑	鮑
	E9C	鯊	鮓	鮓	鮓	鯨	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
	E9D	鯊	鯊	鯊	鯊	鯊	鯊	鯊	鯊	鯊	鯊	鯊	鯊	鯊	鯊	鯊	鯊
	E9E	鯊	鯊	鯊	鯊	鯊	鯊	鯊	鯊	鯊	鯊	鯊	鯊	鯊	鯊	鯊	鯊
鳥	E9E									鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧	鳧
	E9F	鳩	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛
	EA4	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛
	EA5	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛
	EA6	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛	鴛
鹵	EA6			鹵	鹹	鹽											
鹿	EA6					鹿	麋	麋	麋	麋	麋	麋	麋	麋	麋	麋	麋
麥	EA6														麥	麩	麩
	EA7	麩	麩														
麻	EA7			麻													
黃	EA7				黃												
黎	EA7					黎	黏	黏									
黑	EA7								黔	黜	黜	黜	黜	黜	黜	黜	黜
	EA8	黜	黜	黜													
耑	EA8				耑	黻	黻										
黽	EA8							黽	黽	黽							
鼓	EA8									鼓	琴						
鼠	EA8												鼠	鼯			
鼻	EA8														鼯		
齊	EA8															齊	
齒	EA8																齒
	EA9	齶	齶	齶	齶	齶	齶	齶	齶	齶	齶	齶	齶	齶	齶	齶	齶
龍	EA9													龕			
龜	EA9														龜		
龠	EA9															龠	
	EA9																堯
	EAA	楨	遙	瑤	凜	熙											

《マックス外字—変体かな》 ※「変体かな」は「標準書体」にのみ「搭載」されています。

	下段:シフトJISコード												
あ行	あ	い	う	え	お								
	阿	あ	以	宇	江	琴	於						
	F7E7	F7E8	F79F	F7D1	F7E2	F7E3	F7D6						
か行	か	き			く		け	こ					
	冎	可	杞	森	歳	久	皇	帝	令	未			
	F7B9	F7BA	F7EB	F7EC	F7ED	F7D7	F7D8	F7D9	F7DE	F7DF	F7E1		
さ行	さ	し		す	せ	そ							
	汰	志	一	以	春	勢	弓	越	取				
	F7E9	F7EA	F7F3	F7F4	F7FB	F7FC	F7FA	F7C2	F7C3	F7C4			
た行	た		ち	つ		て		と					
	峯	多	と	古	法	津	川	琴	市	天	太	經	堂
	F7BD	F7BE	F7BF	F7AD	F7C5	F7C6	F7C7	F7E3	F7E4	F7E5	F7E6	F7AB	F7AC
な行	な		に			ぬ	ね	の					
	奈	那	礼	丹	万	以	尔	然	祢	手	乃	北	能
	F7CA	F7CB	F7CC	F7A4	F7A5	F7A6	F7A7	F7B0	F7C8	F7C9	F7D3	F7D4	F7D5
は行	は		ひ		ふ	へ	ほ						
	尤	ハ	忠	飛	心	鳩	面	河	木				
	F7A1	F7A2	F7A3	F7F6	F7F7	F7E0	F7AA	F7A8	F7A9				
ま行	ま		み		む	め	も						
	万	史	浦	久	三	舞	堂	免	毛	茂			
	F7DB	F7DC	F7DD	F7F1	F7F2	F7CF	F7D0	F7F0	F7F8	F7F9			
や行	や	ゐ	ゆ		ゑ	よ							
	屋	井	油	由	惠	尔	与						
	F7DA	F7D2	F7EE	F7EF	F7F5	F7BB	F7BC						
ら行	ら	り		る		れ	ろ						
	羅	ら	利	里	泉	休	留	新	禮	進	後		
	F7CD	F7CE	F7AE	F7AF	F7B1	F7B2	F7B3	F7B4	F7C0	F7C1	F7A0		
わ行	わ	を	ん										
	王	和	茂	を									
	F7B7	F7B8	F7B5	F7B6									

※上記の書体はサンプル書体であり標準書体とは異なります。

《マックス外字一覧表》

※下記の書体はサンプル書体であり標準書体とは異なります。

※太枠線で囲んだ変体かなと括弧文字は標準書体にのみ搭載されています。

コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
ED 4	纒	襲	鋳	銑	醜	悟	垢	昱	精	銀	昇	彌	丨	仵	任	佗
ED 5	仔	但	佻	佞	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻
ED 6	倜	倜	倜	倜	倜	倜	倜	倜	倜	倜	倜	倜	倜	倜	倜	倜
ED 7	厓	厓	厓	厓	厓	厓	厓	厓	厓	厓	厓	厓	厓	厓	厓	厓
ED 8	塚	塚	塚	塚	塚	塚	塚	塚	塚	塚	塚	塚	塚	塚	塚	塚
ED 9	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬
ED A	恕	恕	恕	恕	恕	恕	恕	恕	恕	恕	恕	恕	恕	恕	恕	恕
ED B	擎	擎	擎	擎	擎	擎	擎	擎	擎	擎	擎	擎	擎	擎	擎	擎
ED C	障	障	障	障	障	障	障	障	障	障	障	障	障	障	障	障
ED D	榴	榴	榴	榴	榴	榴	榴	榴	榴	榴	榴	榴	榴	榴	榴	榴
ED E	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯	浯
ED F	瀆	瀆	瀆	瀆	瀆	瀆	瀆	瀆	瀆	瀆	瀆	瀆	瀆	瀆	瀆	瀆
EE 4	狄	狄	狄	狄	狄	狄	狄	狄	狄	狄	狄	狄	狄	狄	狄	狄
EE 5	璉	璉	璉	璉	璉	璉	璉	璉	璉	璉	璉	璉	璉	璉	璉	璉
EE 6	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪	礪
EE 7	綠	綠	綠	綠	綠	綠	綠	綠	綠	綠	綠	綠	綠	綠	綠	綠
EE 8	董	董	董	董	董	董	董	董	董	董	董	董	董	董	董	董
EE 9	譏	譏	譏	譏	譏	譏	譏	譏	譏	譏	譏	譏	譏	譏	譏	譏
EE A	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵
EE B	銑	銑	銑	銑	銑	銑	銑	銑	銑	銑	銑	銑	銑	銑	銑	銑
EE C	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤
EE D	隣	隣	隣	隣	隣	隣	隣	隣	隣	隣	隣	隣	隣	隣	隣	隣
EE E	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高	高
EE F	ii	iii	iv	v	vi	vii	viii	ix	x	一	丨	、	”			
コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

《マックス外字一覧表》

※下記の書体はサンプル書体であり標準書体とは異なります。

※太枠線で囲んだ変体かなと括弧文字は標準書体にのみ搭載されています。

コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
F4 4	丈	並	吏	芽	尅	氏	卡	及	师	甫	亏	亏	平	半	才	亨
F4 5	享	亭	亮	亶	襄	亨	享	膏	庠	吕	前	兹	莫	苻	今	會
F4 6	今	俞	仝	尔	含	份	侶	伴	併	俱	佞	仞	佶	仵	仗	傳
F4 7	儼	倘	仝	僕	情	份	停	侔	傳	偉	佞	佞	役	倦	僅	
F4 8	僧	侮	儲	俠	允	兔	競	宀	堯	傷	你	偷	切	兼	兼	酋
F4 9	猷	曾	包	亾	勤	叛	津	汎	冴	風	畫	函	切	功	劔	荆
F4 A	判	剝	劾	勢	勤	卉	榦	博	泉	厲	曆	原	厩	劔	劔	卿
F4 B	卿	卿	器	吉	嘸	吳	吳	囊	啓	啓	吸	嘆	啞	啣	啞	嚙
F4 C	哨	噲	啄	喝	嘸	嘈	嚙	邑	武	喻	國	圓	啞	園	土	墨
F4 D	堵	填	坪	摒	抵	埒	突	走	走	多	寄	外	冬	姬	媛	改
F4 E	要	嫌	攷	狹	殊	屠	屠	賓	空	寄	寄	寬	寧	實	尋	尊
F4 F	对	尚	肖	層	屠	屠	屠	屏	島	寄	寄	島	峻			
F5 4	峽	峽	崇	萎	豈	嶂	嵩	嶽	峻	巷	巷	巢	暢	五	五	攻
F5 5	庖	廠	廊	摩	庸	廉	廐	唐	嶽	建	建	建	弭	弱	弱	彩
F5 6	彦	戶	戾	扇	房	靡	得	徵	健	衛	衛	悍	恢	慎	揭	惹
F5 7	愈	惠	慮	您	惠	憎	悔	情	愉	悖	悖	悍	恢	慎	揭	
F5 8	捲	撰	抄	摺	摺	擢	攢	拐	拓	據	悖	拙	恢	慎	揭	擴
F5 9	懶	探	摺	提	摺	擢	攢	拐	拓	據	悖	拙	恢	慎	揭	者
F5 A	新	所	摺	既	摺	擢	攢	拐	拓	據	悖	拙	恢	慎	揭	昂
F5 B	暑	曙	晦	賊	時	暖	曜	瞪	睽	暝	曠	皓	暝	暝	勗	曾
F5 C	旺	昂	騰	腿	朋	望	服	朝	睽	胞	脫	勝	脇	暝	槁	櫛
F5 D	神	樽	槌	榭	梅	榭	欄	榔	柵	枊	耒	采	棗	榭	槁	櫛
F5 E	棚	查	桉	桉	梅	榭	欄	榔	柵	枊	耒	采	棗	榭	槁	櫛
F5 F	柁	椽	檉	桉	梅	榭	欄	榔	柵	枊	耒	采	棗	榭	槁	櫛

《マックス外字一覧表》

※下記の書体はサンプル書体であり標準書体とは異なります。

※太枠線で囲んだ変体かなと括弧文字は標準書体にのみ搭載されています。

コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
F6 4	梁	柳	歎	步	歳	歴	政	舛	毎	氘	溢	澗	温	渴	渚	涉
F6 5	瀟	溺	難	溝	淚	連	海	灘	浩	潑	瀕	瀦	濯	漬	泡	永
F6 6	瀛	沉	汧	洑	浮	港	湧	潮	涸	浚	沈	洧	淝	沪	涅	渎
F6 7	溥	瀟	溝	溱	溱	溱	瀉	滋	瀧	・	深	淇	湟	漢	淫	
F6 8	凌	瀦	焰	煽	煉	烁	耀	煮	熙	熙	憲	熙	將	醬	狀	片
F6 9	牙	狷	狷	琢	玲	玺	瑛	環	玲	瑆	瓊	璠	瓊	璋	珊	瑋
F6 A	璐	産	雷	畔	・	鳴	甌	疔	疔	疔	瘁	疔	疤	疔	疔	瘰
F6 B	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔
F6 C	瘰	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔
F6 D	瘰	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔
F6 E	瘰	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔
F6 F	瘰	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔
F7 4	具	真	炸	碑	磨	研	砲	硝	磁	祠	碣	磧	禮	禩	禧	恰
F7 5	裕	枯	相	祚	祀	初	棋	祺	祠	禪	禱	禱	禍	祈	祇	祁
F7 6	社	視	社	祝	祖	禎	禱	禎	祐	禱	禱	稿	棋	禱	禱	祥
F7 7	禎	禎	祛	祐	稅	獲	禎	禎	禎	禎	禎	袖	禎	禎	禎	
F7 8	寬	穿	宰	突	霸	埼	・	節	箸	箸	築	笑	筑	節	築	簡
F7 9	筌	筌	籍	麓	箭	箕	・	類	繁	繁	練	繡	級	約	納	以
F7 A	修	尤	八	名	丹	万	以	尔	丹	木	面	和	定	古	利	里
F7 B	照	泉	休	名	新	茂	在	且	和	木	面	和	定	古	利	里
F7 C	禮	逢	了	名	新	茂	在	且	和	木	面	和	定	古	利	里
F7 D	禮	逢	了	名	新	茂	在	且	和	木	面	和	定	古	利	里
F7 E	禮	逢	了	名	新	茂	在	且	和	木	面	和	定	古	利	里
F7 F	免	免	免	免	免	免	免	免	免	免	免	免	免	免	免	免

《マックス外字一覧表》

※下記の書体はサンプル書体であり標準書体とは異なります。

※太枠線で囲んだ変体かなと括弧文字は標準書体にのみ搭載されています。

コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
F8 4	終	綃	緣	緩	編	縫	總	絞	紘	絳	絨	絲	紱	署	罇	翠
F8 5	翔	翫	翰	習	翼	翻	耀	耕	聃	聖	聃	聰	聽	瞬	肇	肅
F8 6	臭	與	舟	葛	・	薩	著	諸	蔣	蔽	蓬	萱	覓	蘊	蔭	菜
F8 7	菴	嘉	・	蓮	薯	・	菴	若	苗	茅	茱	茂	荒	茴	草	
F8 8	茶	荷	華	莞	莉	菓	菊	董	董	菜	菖	著	萌	葵	萩	葬
F8 9	葉	落	蔣	蒸	蒼	蓄	蓉	蔦	蕉	薰	薪	薦	薄	藁	藤	藩
F8 A	蘭	菘	芳	茂	荻	薰	芋	芝	芹	芙	英	英	苑	茄	芽	苦
F8 B	幕	虛	虜	蛸	蟬	蠟	蛇	蛇	・	・	肤	魁	覺	莞	觀	謁
F8 C	謹	諺	謬	謎	警	評	誤	說	諄	請	諾	諭	謙	詎	詎	詩
F8 D	詎	訣	諗	謚	讜	・	・	贈	賭	負	賴	負	顛	・	・	曉
F8 E	軀	輸	軌	軌	遮	遼	迪	逝	逢	逸	迦	迂	逗	遡	遜	汕
F8 F	辻	遁	這	逼	迤	込	迅	近	迎	返	述	迫	逆			
F9 4	送	退	追	逃	迷	造	速	逐	通	途	透	・	連	週	進	運
F9 5	過	遇	遂	達	道	遍	遊	遠	遣	遭	適	遺	遵	選	還	巡
F9 6	迄	・	起	赴	赴	醞	酌	酌	醜	釁	鞞	釭	錄	鑄	鎰	鎰
F9 7	鍊	鈞	銳	鎖	鎖	鎌	銛	銛	鏞	鉞	鑿	鉦	・	鐮	鎰	鎰
F9 8	錄	銍	銍	・	錠	鉞	鉞	鐸	鉶	釵	銖	鉞	鉞	鋸	錫	鈇
F9 9	釵	鑄	・	鈞	鈕	長	閱	開	藥	雇	雄	雅	難	雪	零	霰
F9 A	靜	靜	・	靴	鞘	・	響	響	頰	顛	類	頻	頤	餅	飴	餌
F9 B	蝕	饗	節	餽	餽	饗	驛	駢	黛	鯖	鱒	魚	鯛	鮓	鮓	鷗
F9 C	鵬	鵠	鹵	麻	麴	麴	黎	彪	角	舘	菴	艾	鬱	鬱	黃	一
F9 D	二	三	四	五	六	七	八	九	十	<small>株式 会社</small>	<small>株式 会社</small>	<small>有限 会社</small>	<small>有限 会社</small>	<small>法人 社団</small>	<small>法人 社団</small>	<small>法人 社団</small>
F9 E	溜	(社)	(財)	(資)	(名)											
F9 F																
コード	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F

※下記の書体はサンプル書体であり標準書体とは異なります。《マックス外字一部首別》

部首	部首名称	下段:シフトJISコード
一	いち	丈 吏 芟 莪 F440 F442 F443 F444
	ぼう・たてぼう	丨 丮 ED4C F44E
二	に	亏 亏 菴 叒 F44A F44B F9CA F9CB
亠	なべぶた・けいさんかんむり	亨 享 亭 亮 亶 襄 亨 享 F44F F450 F451 F452 F453 F454 F455 F456
人	にんべん	悟 仵 任 佂 仔 但 佻 倭 佻 佻 ED45 ED4D ED4E ED4F ED50 ED51 ED52 ED53 ED54 ED55 倅 佻 倅 倅 倅 倅 倅 倅 倅 倅 ED56 ED57 ED58 ED59 ED5A ED5B ED5C ED5D ED5E ED5F 倅 倅 倅 倅 倅 倅 倅 倅 倅 倅 ED60 ED61 F45E F45F F460 F461 F462 F463 F464 F465 倅 倅 倅 倅 倅 倅 倅 倅 倅 倅 F466 F467 F468 F469 F46A F46B F46C F46D F46E F46F 倅 倅 倅 倅 倅 倅 倅 倅 倅 倅 F470 F471 F472 F473 F474 F475 F476 F477 F478 F479 倅 倅 倅 倅 倅 倅 倅 倅 倅 倅 F47A F47B F47C F47D F47E F480 F481 F482 F483 F489 你 偷 倦 亾 F48A F48B F48C F493
儿	にんによろ・ひとあし	允 𠃉 允 兔 競 宀 堯 ED62 ED63 F484 F485 F486 F487 F488
八	はちがしら	兼 兼 𠃉 猷 曾 F48D F48E F48F F490 F491



《マックス外字一部首別》 ※下記の書体はサンプル書体であり標準書体とは異なります。

部首	部首名称	下段:シフトJISコード
冂	えんがまえ・けいがまえ	・ F494
冂	わかんむり	冂 ED64
冂	にすい	冂 冂 冂 冂 冂 ED65 F496 F497 F498 F4DC
几	つくえ・きによう	几 几 ED66 F499
凵	かんによう・うけぼこ	凵 凵 F49A F49B
刀	りっとう	刀 刀 刀 刀 刀 刀 刀 刀 ED67 F45A F45D F49C F49D F49E F49F F4A0 F4A1
力	ちから	力 力 力 力 力 力 ED68 ED69 ED6A ED6B F4A2 F4A3 F4A4
勹	つつみがまえ	勹 勹 包 ED6C ED6D F492
匚	はこがまえ・かくしがまえ	匚 ED6E
十	じゅう	十 十 十 十 F44D F4A5 F4A6 F4A7
卜	ぼく	卜 卜 F446 F4DB
卩	ふしづくり	卩 卩 卩 卩 卩 ED6F F4AD F4AE F4AF F4B0 F4B1
厂	がんだれ	厂 厂 厂 厂 厂 ED70 ED71 F4A9 F4AA F4AB F4AC

※下記の書体はサンプル書体であり標準書体とは異なります。《マックス外字一部首別》

部首	部首名称	下段:シフトJISコード
厶 む	𠂇	ED72
又 また	𠂇 𠂇 𠂇	ED73 F447 F495
口 くちへん	𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇	ED74 ED75 ED76 ED77 ED78 F459 F4B2 F4B3 F4B4 F4B5
口 くちへん	𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇	F4B6 F4B7 F4B8 F4B9 F4BA F4BB F4BC F4BD F4BE F4BF F4C0 F4C1 F4C2 F4C3 F4C4 F4C5 F4C6 F4C9
口 くにかまえ	𠂇 𠂇 𠂇 𠂇	F4CA F4CB F4CC F4CD
土 つちへん	𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇	ED79 ED7A ED7B ED7C ED7D ED7E ED80 ED81 ED82 F4CE F4CF F4D0 F4D1 F4D2 F4D3 F4D4 F4D5 F4D6 F4D7 F4D8 F4D9
反 すいによ	𠂇	ED83
大 だいかしら	𠂇 𠂇 𠂇 𠂇	ED84 ED85 ED86 ED87
女 おんなへん	𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇 𠂇	ED88 ED89 F4DD F4DE F4DF F4E0 F4E1 F4E4
夕 ゆう	𠂇	F4DA

《マックス外字一部首別》 ※下記の書体はサンプル書体であり標準書体とは異なります。

部首	部首名称	下段:シフトJISコード
子 こへん	孖 攷 狹	ED8A F4E2 F4E3
宀 うかんむり	窠 甯 寔 寬 突 賓 賓 空 宵 寄 寬 寧 實	ED8B ED8C ED8D ED8E F4E5 F4E6 F4E7 F4E8 F4E9 F4EA F4EB F4EC F4ED
寸 すん	尋 尊 对	F4EE F4EF F4F0
小 ちいさい	寮 尙 肖	ED8F F4F1 F4F2
尸 しかばね	層 屠 屑 屢 屏	F4F3 F4F4 F4F5 F4F6 F4F7
山 やまへん	岽 岑 崕 崧 崑 崎 崱 嶂 嶸 嶸 嶸 嶸 嶸 嶸 嶸 嶸 嶸 嶸 嶸 嶸 嶸 嶸 嶸 嶸 嶸 嶸 嶸 嶸	ED90 ED91 ED92 ED93 ED94 ED95 ED96 ED97 ED98 ED99 ED9A F4F8 F4F9 F4FA F4FB F4FC F540 F541 F542 F543 F544 F545 F546 F547 F548
ㇿ まがりかわ	巢	F54B
工 こう	互 攷	F54E F54F
巳 き・こ・おのれ	巽 巷	F549 F54A
巾 はばへん・さんべん	师 暢 帑	F448 F54C F54D

※下記の書体はサンプル書体であり標準書体とは異なります。《マックス外字一部首別》

部首	部首名称	下段:シフトJISコード
干	ほす・かん・いちじゅう	<b>平</b> F44C
纟	いとがしら	<b>兹</b> F45B
广	まだれ	<b>庖 廠 廊 庠 庸 廉 廐 唐</b> F550 F551 F552 F553 F554 F555 F556 F557
廴	えんによろ・いんによろ	<b>延 延</b> F55A F55B
丩	きょう・こまぬき・にじゅうあし	<b>弊</b> F559
弋	しきがまえ	<b>弋</b> F4C8
弓	ゆみへん	<b>弜 弣 弤 弥 强 弱</b> ED4B ED9B ED9C F55C F55D F55E
彡	さんづくり・けかざり	<b>彩 彦 彪</b> F55F F560 F9C7
彳	ぎょうにんべん	<b>德 得 徵 徒 衛 衛 徽</b> ED9E F566 F567 F568 F569 F56A F56B
	そいち	<b>並</b> F441
心	りっしんべん・したごころ	<b>恣 恣 悅 恣 恣 恣 恣 恣 恣 恣</b> ED9F EDA0 EDA1 EDA2 EDA3 EDA4 EDA5 EDA6 EDA7 EDA8 <b>悝 悝 懲 忍 慧 恣 愈 惠 慮 您</b> EDA9 EDAA F56C F56D F56E F56F F570 F571 F572 F573 <b>惠 憎 悔 情 愉 恂 悻 悻 恢 愠</b> F574 F575 F576 F577 F578 F579 F57A F57B F57C F57D

《マックス外字一部首別》 ※下記の書体はサンプル書体であり標準書体とは異なります。

部首	部首名称	下段:シフトJISコード
心	りっしんべん・したごころ	<b>憲</b> F68A
戈	ほこ・かのほこ・ほこづくり	<b>彘 或</b> ED9D EDAB
戸	とだれ・とかんむり	<b>戸 戾 扇 房 扉 雇</b> F561 F562 F563 F564 F565 F999
手	てへん	<b>柄 捷 搥 撝 擎 揭 捲 撰 抄 摑</b> EDAC EDAD EDAE EDAF EDB0 F57E F580 F581 F582 F583 <b>摺 擢 攢 拐 拓 攄 扞 扌 扌 扌</b> F584 F585 F586 F587 F588 F589 F58A F58B F58C F58D
手	てへん	<b>拮 擴 擷 探 搯 捷 搥 撒 扌 搔</b> F58E F58F F590 F591 F592 F593 F594 F595 F596 F597 <b>揃 操 拳 擊</b> F598 F599 F59A F59B
女	ほくづくり・のぶん	<b>教 敏 敬 敷</b> EDB1 F59C F59D F59E
斤	おのづくり	<b>斝 所</b> F5A0 F5A1
旡	すでのづくり・むによう・なし	<b>旡 旡</b> F5A2 F5A3
日	ひへん・にちへん	<b>昱 昇 昀 昕 昂 昉 昷 昞 昞 昞</b> ED47 ED4A EDB2 EDB3 EDB4 EDB5 EDB6 EDB7 EDB8 EDB9 <b>昞 昞 昞 昞 昞 昞 昞 昞 昞</b> EDBA EDBB EDBC EDBD EDBE EDBF EDC0 EDC1 EDC2 F5AF <b>暑 曙 晦 賊 时 暖 曜 瞪 睽 曜</b> F5B0 F5B1 F5B2 F5B3 F5B4 F5B5 F5B6 F5B7 F5B8 F5B9

※下記の書体はサンプル書体であり標準書体とは異なります。《マックス外字一部首別》

部首	部首名称	下段:シフトJISコード
日	ひへん・にちへん	曠 皓 曝 暘 勗 曾 旺 昴 F5BA F5BB F5BC F5BD F5BE F5BF F5C0 F5C1
月	つきへん・にくづき	脗 朗 膏 肱 騰 腿 朋 望 服 朝 EDC3 EDC4 F457 F458 F5C2 F5C3 F5C4 F5C5 F5C6 F5C7 脗 胞 脫 勝 脇 F5C8 F5C9 F5CA F5CB F5CC
木	きへん	精 杓 柶 乘 椈 柳 枕 椳 榭 楨 ED48 EDC5 EDC6 EDC7 EDC8 EDC9 EDCA EDCB EDCC EDCD 榉 榘 榑 榑 榑 榑 榑 榑 榑 榑 EDCE EDCF EDD0 EDD1 EDD2 EDD3 EDD4 EDD5 EDD6 EDD7 梢 槁 櫛 榭 榭 榭 榭 榭 榭 榭 F5CD F5CE F5CF F5D0 F5D1 F5D2 F5D3 F5D4 F5D5 F5D6 榔 柵 柵 柵 柵 柵 柵 柵 柵 柵 F5D7 F5D8 F5D9 F5DA F5DB F5DC F5DD F5DE F5DF F5E0 查 桉 桉 桉 桉 桉 桉 桉 桉 桉 F5E1 F5E2 F5E3 F5E4 F5E5 F5E6 F5E7 F5E8 F5E9 F5EA 榉 棧 榑 榑 榑 榑 榑 榑 榑 榑 F5EB F5EC F5ED F5EE F5EF F5F0 F5F1 F5F2 F5F3 F5F4 榑 榑 榑 榑 榑 榑 榑 榑 榑 榑 F5F5 F5F6 F5F7 F5F8 F5F9 F5FA F5FB F5FC F640 F641 鬱 鬱 F9CC F9CD
欠	あくび	歎 F642
止	とめへん	步 歲 歷 政 F643 F644 F645 F646

《マックス外字一部首別》 ※下記の書体はサンプル書体であり標準書体とは異なります。

部首	部首名称	下段:シフトJISコード									
歹	がつへん	<b>𠂇</b> F647									
母	なかれ・ほほ	<b>每</b> F648									
比	くらべる・ならびひ・くらべるひ	<b>𠂈</b> EDD8									
氏	うじ	<b>氏</b> F445									
气	きがまえ	<b>𠂉</b> F649									
水	みず・さんずい・したみず	<b>沝</b> EDD9	<b>汜</b> EDDA	<b>沆</b> EDDB	<b>汰</b> EDDC	<b>泚</b> EDDD	<b>洄</b> EDDE	<b>涇</b> EDDF	<b>浯</b> EDE0	<b>泣</b> EDE1	<b>滓</b> EDE2
		<b>湜</b> EDE3	<b>清</b> EDE4	<b>澹</b> EDE5	<b>淼</b> EDE6	<b>洵</b> EDE7	<b>湜</b> EDE8	<b>滹</b> EDE9	<b>漾</b> EDEA	<b>泮</b> EDEB	<b>澈</b> EDEC
		<b>渐</b> EDED	<b>濱</b> EDEE	<b>滢</b> EDEF	<b>瀆</b> EDF0	<b>瀨</b> EDF1	<b>泉</b> F4A8	<b>溢</b> F64A	<b>澗</b> F64B	<b>温</b> F64C	<b>渴</b> F64D
		<b>渚</b> F64E	<b>涉</b> F64F	<b>澗</b> F650	<b>溺</b> F651	<b>灘</b> F652	<b>溝</b> F653	<b>淚</b> F654	<b>漣</b> F655	<b>海</b> F656	<b>灘</b> F657
		<b>浩</b> F658	<b>潑</b> F659	<b>瀕</b> F65A	<b>瀦</b> F65B	<b>濯</b> F65C	<b>瀆</b> F65D	<b>泡</b> F65E	<b>永</b> F65F	<b>氤</b> F660	<b>沉</b> F661
		<b>汧</b> F662	<b>汨</b> F663	<b>浮</b> F664	<b>港</b> F665	<b>湧</b> F666	<b>潮</b> F667	<b>涸</b> F668	<b>浚</b> F669	<b>沈</b> F66A	<b>洧</b> F66B
		<b>淝</b> F66C	<b>沪</b> F66D	<b>涅</b> F66E	<b>渎</b> F66F	<b>溥</b> F670	<b>澗</b> F671	<b>溝</b> F672	<b>湊</b> F673	<b>湊</b> F674	<b>漆</b> F675
		<b>瀉</b> F676	<b>滋</b> F677	<b>瀧</b> F678	<b>濱</b> F679	<b>深</b> F67A	<b>洪</b> F67B	<b>淫</b> F67C	<b>漢</b> F67D	<b>淫</b> F67E	<b>凌</b> F680

※下記の書体はサンプル書体であり標準書体とは異なります。《マックス外字一部首別》

部首	部首名称	下段:シフトJISコード
水	みず・さんずい・したみず	灑 F681
火	ひへん・れつか・れんが	炆 炈 炉 炊 炋 炌 炍 炎 炏 炐 ED46 EDF2 EDF3 EDF4 EDF5 EDF6 EDF7 EDF8 EDF9 EDFA 燾 焰 煽 煉 烁 耀 煮 熙 灑 灑 EDFB F682 F683 F684 F685 F686 F687 F688 F689 F68B
月	しょうへん	將 醬 狀 F68C F68D F68E
片	かたへん	片 F68F
牙	きばへん	牙 F690
牛	うしへん	黎 F9C6
犬	けものへん	犮 状 狻 猪 獷 狷 狷 EDFC EE40 EE41 EE42 EE43 F691 F692
王	たまへん・おうへん	珉 珣 珵 珥 肆 琇 琕 琦 琪 瑁 EE44 EE45 EE46 EE47 EE48 EE49 EE4A EE4B EE4C EE4D
王	たまへん・おうへん	琮 琤 璉 璪 琢 玲 玺 瑛 環 玲 EE4E EE4F EE50 EE51 F693 F694 F695 F696 F697 F698 琿 璦 璫 璣 璋 珊 璋 璐 F699 F69A F69B F69C F69D F69E F69F F6A0
瓦	かわら	瓶 甑 EE52 F6A6
生		産 F6A1



《マックス外字一部首別》 ※下記の書体はサンプル書体であり標準書体とは異なります。

部首	部首名称	下段:シフトJISコード
用	<p><b>甬</b> F449</p>	
田 たへん	<p><b>畷 雷 畔 疇 鳴</b> EE53 F6A2 F6A3 F6A4 F6A5</p>	
疒 やまいだれ	<p><b>疔 疖 疔 瘁 疔 疤 疔 疔 瘰 疔</b> F6A7 F6A8 F6A9 F6AA F6AB F6AC F6AD F6AE F6AF F6B0</p> <p><b>疔 痲 疔 瘰 瘰 痲 瘰 瘰 瘰 瘰</b> F6B1 F6B2 F6B3 F6B4 F6B5 F6B6 F6B7 F6B8 F6B9 F6BA</p> <p><b>瘰 瘰 瘰 瘰 瘰 瘰 瘰 瘰 瘰 瘰</b> F6BB F6BC F6BD F6BE F6BF F6C0 F6C1 F6C2 F6C3 F6C4</p> <p><b>瘰 瘰 瘰 瘰 瘰 瘰 瘰 瘰 瘰 瘰</b> F6C5 F6C6 F6C7 F6C8 F6C9 F6CA F6CB F6CC F6CD F6CE</p> <p><b>瘰 瘰 瘰 瘰 瘰 瘰 瘰 瘰 瘰 瘰</b> F6CF F6D0 F6D1 F6D2 F6D3 F6D4 F6D5 F6D6 F6D7 F6D8</p> <p><b>瘰 瘰 瘰 瘰 瘰 瘰 瘰 瘰 瘰 瘰</b> F6D9 F6DA F6DB F6DC F6DD F6DE F6DF F6E0 F6E1 F6E2</p> <p><b>瘰 瘰 瘰 瘰 瘰 瘰 瘰 瘰 瘰 瘰</b> F6E3 F6E4 F6E5 F6E6 F6E7 F6E8 F6E9 F6EA F6EB F6EC</p> <p><b>瘰 瘰 瘰 瘰</b> F6ED F6EE F6EF F6F0</p>	
白 しろ	<p><b>皀 皀 皀 皀 皀 皀 皀 皀 皀 皀</b> EE54 EE55 EE56 EE57 EE58 F6F1 F6F2 F6F3 F6F4 F6F5</p> <p><b>皀</b> F6F6</p>	
皿 さ	<p><b>益</b> EE59</p>	

※下記の書体はサンプル書体であり標準書体とは異なります。《マックス外字一部首別》

部首	部首名称	下段:シフトJISコード
目 めへん		睨 瞥 看 瞳 瞬 睦 瞋 具 眞 EE5A F6F7 F6F8 F6F9 F6FA F6FB F6FC F740 F741
矢 やへん		炸 F742
石 いしへん		劬 砭 礪 硃 礞 礮 磨 研 砲 EE5B EE5C EE5D EE5E EE5F EE60 F743 F744 F745 F746 硝 磁 碇 碕 磧 F747 F748 F749 F74A F74B
示 しめすへん・ねへん		礼 神 祥 禋 福 禛 禮 禩 禧 裕 EE61 EE62 EE63 EE64 EE65 EE66 F74C F74D F74E F74F 裕 祐 相 祚 祀 初 祺 祺 祠 禪 F750 F751 F752 F753 F754 F755 F756 F757 F758 F759 禱 禔 禍 祈 祇 邗 社 視 社 祝 F75A F75B F75C F75D F75E F75F F760 F761 F762 F763 祖 禎 禱 禰 祐 祿 F764 F765 F766 F767 F768 F769
禾 のぎへん		稅 穫 稔 稈 穠 稔 稿 袖 稊 季 F774 F775 F776 F777 F778 F779 F77A F77B F77C F77D
穴 あなかんむり		竈 竈 穿 窠 突 F77E F780 F781 F782 F783
立 たつへん		竝 身 靖 靖 竊 竊 EE67 EE68 EE69 EE6A F785 F786
竹 たけかんむり		箠 節 箬 箬 箬 笑 筑 節 築 簡 EE6B F787 F788 F789 F78A F78B F78C F78D F78E F78F 筌 箴 箴 箴 箴 箴 F790 F791 F792 F793 F794 F795

《マックス外字一部首別》 ※下記の書体はサンプル書体であり標準書体とは異なります。

部首	部首名称	下段:シフトJISコード
米	こめへん	<b>精 类 粃</b> EE6C F796 F797
糸	いとへん	<b>纒 綵 紉 絜 綠 緒 繒 繁 繫 練</b> ED40 EE6F EE6D EE6E EE70 EE71 EE72 F798 F799 F79A <b>繡 緞 約 納 終 綃 緣 緩 編 縫</b> F79B F79C F79D F79E F840 F841 F842 F843 F844 F845 <b>總 紱 紕 絳 絨 絲 紱</b> F846 F847 F848 F849 F84A F84B F84C
缶	ほとぎへん	<b>罇 罇</b> EE73 F84E
	あみがしら・よんかしら	<b>署</b> F84D
羊	ひつじへん	<b>羨</b> EE74
羽	はねへん	<b>羽 翠 翔 翫 翰 習 翼 翻 耀</b> EE75 F84F F850 F851 F852 F853 F854 F855 F856
老	おいがしら・おいかんむり	<b>耆</b> F59F
耒	らいすき・すきへん	<b>耕</b> F857
耳	みみへん	<b>聃 聖 聃 聃 聃 聃</b> F858 F859 F85A F85B F85C F85D
聿	ふでづくり	<b>肇 肅</b> F85E F85F
自	じ・みずから	<b>臭</b> F860

※下記の書体はサンプル書体であり標準書体とは異なります。《マックス外字一部首別》

部首	部首名称	下段:シフトJISコード									
臼	うす	與									
		F861									
舟	ふねへん	舟									
		F862									
艸	くさかんむり	配	茁	苧	茂	菇	葦	菓	葫	蕓	蕙
		ED44	EE76	EE77	EE78	EE79	EE7A	EE7B	EE7C	EE7D	EE7E
		董	藹	薰	蕪	莫	葛	茨	薩	著	藹
		EE80	EE81	EE82	EE83	F45C	F863	F864	F865	F866	F867
		蔣	蔽	蓬	萱	覓	蘊	蔭	萊	葦	嘉
		F868	F869	F86A	F86B	F86C	F86D	F86E	F86F	F870	F871
		茂	蓮	薯	配	蓀	若	苗	茅	茱	茂
		F872	F873	F874	F875	F876	F877	F878	F879	F87A	F87B
		荒	茜	草	茶	荷	華	莞	莉	菓	菊
		F87C	F87D	F87E	F880	F881	F882	F883	F884	F885	F886
		董	董	菜	苜	著	萌	葵	萩	葬	葉
		F887	F888	F889	F88A	F88B	F88C	F88D	F88E	F88F	F890
		落	時	蒸	蒼	蓄	蓉	蔦	蕉	薰	薪
		F891	F892	F893	F894	F895	F896	F897	F898	F899	F89A
薦	薄	藁	藤	藩	蘭	菘	芳	茂	萩		
F89B	F89C	F89D	F89E	F89F	F8A0	F8A1	F8A2	F8A3	F8A4		
薰	芋	芝	芹	芙	英	英	苑	茄	芽		
F8A5	F8A6	F8A7	F8A8	F8A9	F8AA	F8AB	F8AC	F8AD	F8AE		
		苦	幕								
		F8AF	F8B0								
虍	とらかんむり・とらがしら	虚 虜									
		F8B1 F8B2									

《マックス外字一部首別》 ※下記の書体はサンプル書体であり標準書体とは異なります。

部首	部首名称	下段:シフトJISコード
虫 むしへん	虻 螞 蛸 蟬 蠟 虵 蛇 蝎 蠅	EE84 EE85 F8B3 F8B4 F8B5 F8B6 F8B7 F8B8 F8B9
衣 ころも・ころもへん	襃 褱 禮 襦 祺 禧 綻 祥 禎 襖 祛 祐	ED41 EE86 F76A F76B F76C F76D F76E F76F F770 F771 F772 F773
冫 おおいかんむり	霸	F784
見 けん・みる	睞 魁 覺 覺 觀	F8BA F8BB F8BC F8BD F8BE
角 つの	角	F9C8
言 ごんべん	訶 呻 詹 誦 闇 誑 諸 諶 諛 譏 謁 謹 諺 諺 謎 警 評 誤 說 諛 請 諾 諭 謙 護 詎 訶 詎 諛 諛 謚 讜 諫 讚	EE87 EE88 EE89 EE8A EE8B EE8C EE8D EE8E EE8F EE90 F8BF F8C0 F8C1 F8C2 F8C3 F8C4 F8C5 F8C6 F8C7 F8C8 F8C9 F8CA F8CB F8CC F8CD F8CE F8CF F8D0 F8D1 F8D2 F8D3 F8D4 F8D5 F8D6
貝 かいへん	賸 賴 賢 贈 賭 負 賴 負	EE91 EE92 EE93 F8D7 F8D8 F8D9 F8DA F8DB
走 そうにょう・そうにゆう	赶 赳 起 起 赳	EE94 EE95 F962 F963 F964
足 あしへん	蹺	F8DF

※下記の書体はサンプル書体であり標準書体とは異なります。 《マックス外字一部首別》

部首	部首名称	下段:シフトJISコード
身	みへん	<b>軀</b> F8E0
車	くるまへん	<b>軌 輸 軌 軌</b> EE96 F8E1 F8E2 F8E3
辛	しん	<b>辮</b> F558
辶	しんによろ・しんにゆう	<b>返 逸 遼 遮 遼 迪 逝 逢 逸 迦</b> EE97 EE98 EE99 F8E4 F8E5 F8E6 F8E7 F8E8 F8E9 F8EA <b>迂 逗 遡 遜 辿 辻 遁 這 逼 迤</b> F8EB F8EC F8ED F8EE F8EF F8F0 F8F1 F8F2 F8F3 F8F4 <b>込 迅 近 迎 返 述 迫 逆 送 退</b> F8F5 F8F6 F8F7 F8F8 F8F9 F8FA F8FB F8FC F940 F941 <b>追 逃 迷 造 速 逐 通 途 透</b> . F942 F943 F944 F945 F946 F947 F948 F949 F94A F94B <b>連 週 進 運 過 遇 遂 達 道 遍</b> F94C F94D F94E F94F F950 F951 F952 F953 F954 F955 <b>遊 遠 遣 遭 適 遺 導 選 還 巡</b> F956 F957 F958 F959 F95A F95B F95C F95D F95E F95F <b>迄 邇</b> F960 F961
邑	おおざと	<b>郎 都 鄉 鄧 邑 邦 邦 郚 那 鄭</b> EE9A EE9B EE9C EE9D F4C7 F5A4 F5A5 F5A6 F5A7 F5A8
阝		<b>郎 鄉 邨</b> F5A9 F5AB F5AC
酉	とりへん・ひよみのとり	<b>醜 酌 酌 醜</b> F965 F966 F967 F968

《マックス外字一部首別》 ※下記の書体はサンプル書体であり標準書体とは異なります。

部首	部首名称	下段:シフトJISコード
采	のこめへん	<p><b>番 稗 釋</b></p> <p>F969 F96A F96B</p>
金	かねへん	<p><b>鎡 銈 鋹 釳 釵 釤 釿 釽 釾 釿 釿 釿</b></p> <p>ED42 ED43 ED49 EE9E EE9F EEA0 EEA1 EEA2 EEA3 EEA4</p> <p><b>釿 釿 釿 釿 釿 釿 釿 釿 釿 釿</b></p> <p>EEA5 EEA6 EEA7 EEA8 EEA9 EEAA EEAB EEAC EEAD EEAE</p> <p><b>鋳 鋳 鋳 鋳 鋳 鋳 鋳 鋳 鋳 鋳</b></p> <p>EEAF EEB0 EEB1 EEB2 EEB3 EEB4 EEB5 EEB6 EEB7 EEB8</p> <p><b>鋳 鋳 鋳 鋳 鋳 鋳 鋳 鋳 鋳 鋳</b></p> <p>EEB9 EEBA EEBB EEBE EEBD EEBE EEBF EEC0 EEC1 EEC2</p> <p><b>鋳 鋳 鋳 鋳 鋳 鋳 鋳 鋳 鋳 鋳</b></p> <p>EEC3 EEC4 EEC5 EEC6 EEC7 EEC8 EEC9 EECA EECB F96C</p> <p><b>鋳 鋳 鋳 鋳 鋳 鋳 鋳 鋳 鋳 鋳</b></p> <p>F96D F96E F96F F970 F971 F972 F973 F974 F975 F976</p> <p><b>鋳 鋳 鋳 鋳 鋳 鋳 鋳 鋳 鋳 鋳</b></p> <p>F977 F978 F979 F97A F97B F97C F97D F97E F980 F981</p> <p><b>鋳 鋳 鋳 鋳 鋳 鋳 鋳 鋳 鋳 鋳</b></p> <p>F982 F983 F984 F985 F986 F987 F988 F989 F98A F98B</p> <p><b>鋳 鋳 鋳 鋳 鋳 鋳 鋳 鋳 鋳</b></p> <p>F98C F98D F98E F98F F990 F991 F992 F993 F994</p>
長	ちょう・ながい	<p><b>𠄎</b></p> <p>F995</p>
門	もんがまえ・かどがまえ	<p><b>𠄎 𠄎 𠄎</b></p> <p>EECC F996 F997</p>
阜	こざとへん	<p><b>隆 隴 隴 隴 隴 隴 隴</b></p> <p>EECD EECE EECF EED0 F5AA F5AD F5AE</p>

※下記の書体はサンプル書体であり標準書体とは異なります。

## 《マックス外字一部首

部首	部首名称	下段:シフトJISコード
隹	ふるとり	隹 雄 雅 難 F998 F99A F99B F99C
雨	あめかんむり	霰 靈 霍 靄 靄 雪 零 霖 EED1 EED2 EED3 EED4 EED5 F99D F99E F99F
青	せい・あお	青 靖 靜 靜 EED6 EED7 F9A0 F9A1
革	かわへん	・ 鞞 鞞 ・ F9A2 F9A3 F9A4 F9A5
音	おとへん	響 響 F9A6 F9A7
頁	おおがい	顛 顛 顛 ・ 顛 頰 顛 類 頻 頤 EED8 EED9 F8DC F8DD F8DE F9A8 F9A9 F9AA F9AB F9AC
食	しょくへん	飯 飼 餵 館 餅 飴 餌 蝕 饗 飾 EEDA EEDB EEDC EEDD F9AD F9AE F9AF F9B0 F9B1 F9B2 餽 餽 饗 館 F9B3 F9B4 F9B5 F9C9
香	においこう・かおり	𦰩 EEDE
馬	うまへん	隣 驛 駢 EEDF F9B6 F9B7
高	こう・たかい	高 𨮒 EEE0 EEE1
魚	うおへん・さかなへん	𩺰 𩺱 𩺲 𩺳 𩺴 𩺵 𩺶 𩺷 𩺸 𩺹 EEE2 EEE3 EEE4 EEE5 EEE6 EEE7 F9B9 F9BA F9BB F9BC 𩺺 𩺻 F9BD F9BE



《マックス外字一部首別》 ※下記の書体はサンプル書体であり標準書体とは異なります。

部首	部首名称	下段:シフトJISコード
鳥 とりへん	鵠 鶉 鶴 鷓 鷗 鵬 鵠	EEE8 EEE9 EEEA EEEB F9BF F9C0 F9C1
鹵 ろしお	鹵	F9C2
麥 ばくによ	麴 麵	F9C4 F9C5
麻 あさかんむり	麻	F9C3
黄 き・きいろ	黄	F9CE
黒 くろ	黒 黛	EEEC F9B8
その他	一 二 三 四 五 六 七 八 九 十	F9CF F9D0 F9D1 F9D2 F9D3 F9D4 F9D5 F9D6 F9D7 F9D8
	株式 会社 有限 会社 有限 会社 社団 法人 法社 法人 財団 法人 法財 人団	F9D9 F9DA F9DB F9DC F9DD F9DE F9DF F9E0
	(社) (財) (資) (名)	F9E1 F9E2 F9E3 F9E4

※太枠線で囲んだ文字は標準書体にのみ搭載されています。

《マックス専用熟語》 ※下記の書体はサンプル書体であり標準書体とは異なります。

読み	専 用 熟 語				
う	内祝				
お	御中元 お年玉	御歳暮 御年賀	御礼 御供	御祝	御見舞
か	快気祝				
き	記念品				
ご	御祝儀 御仏前	御饞別 御佛前	御入学祝 御香典	御卒業祝	御霊前
す	寸志				
そ	粗品				

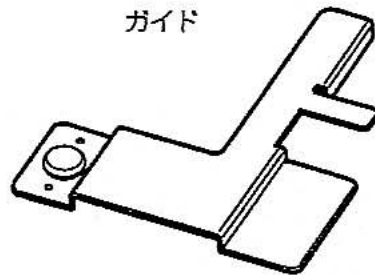
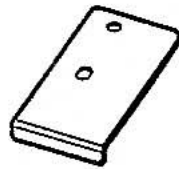
## ■短冊ガイド取扱説明

市販のインクジェットプリンタでは、最小印字用紙が「はがきサイズ」となっています。巾の狭い短冊を使用する場合には短冊専用ガイドを御使用ください。

短冊ガイド

固定板

ガイド



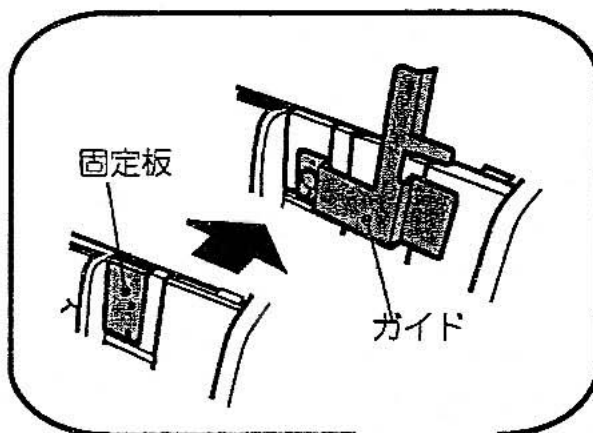
お願い

本製品は、EPSON PM-2000C、PM-3000C、MJ-6000C専用短冊ガイドです。他の機種での御使用で生じた障害については、責任を負いかねますので御了承ください。

取り付け方

- ①プリンタの左側のエッジガイドに、固定版を両面テープ下図の様に貼り付けます。
- ②固定版の位置合わせ穴にガイドの穴突起を合わせる事によりマグネットで固定されます。

PM-2000C・3000C



MJ-6000C

